

オーテピア高知図書館サービス計画進捗状況(R3.10.27 会議資料)

1 地域を支える情報拠点機能の充実

- (1)資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約) … P1
- (2)高知県関係資料の収集・保存・提供 … P12

2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援

- (1)レファレンス・サービス … P15
- (2)課題解決支援サービス
 - ①ビジネス・農業・産業支援サービス … P19
 - ②健康・安心・防災情報サービス … P28
- (3)情報リテラシー向上支援サービス … P38
- (4)行政支援サービス … P39

3 利用者に応じた図書館サービスの充実

- (1)児童サービス … P43
- (2)ティーンズ・サービス … P48
- (3)多文化サービス … P53
- (4)図書館利用に障害のある人へのサービス … P58

4 連携・支援及び図書館の活用

- (1)市町村立図書館等への支援(県立図書館機能) … P64
- (2)高知市全域サービスの拠点(市民図書館機能) … P68
- (3)県立学校図書館等との連携・協力(県立図書館機能) … P70
- (4)中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携 … P73

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△× で			
	令和2年4月1日~令和3年3月31日				令和3年4月以降							
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4~R3.3の実績(数値は3月31日時点)				【これまでの取組状況】(Do) R3.4~R3.8の実績(数値は8月31日時点)							
資料 利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供	一般図書は、国内年間出版点数の5割以上を目指し ○利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 R2資料購入費 182,153千円(県100,002千円、市82,151千円)うちオーテピア高知図書館分135,183千円(県100,002千円、市35,181千円)※県は市町村支援・電子書籍分も含む額	購入	40,915	冊	【成果】○ 全体の出版点数は8万点弱で、複本も購入しているためタイトル数のカバー率は半分までは行かないが、昨年度より向上している。 【課題】市町村立図書館や県立学校図書館が自らの資料費を充実させて、新刊書を購入できるようになれば、タイトル数のカバー率を向上させることができる。それによって、県立図書館は、市町村立図書館や学校図書館で購入できない専門書を揃え、それを市町村・学校に提供できるようになる。これにより、県立では市町村や学校ではできない課題解決支援にふさわしいコレクションに集中できる。	【成果】○ 市町村や県立学校に少なくとも地方交付税措置として財政措置されている分は資料を購入することを働きかける(市町村については、現在、県内4団体しか、交付分以上を図書館の資料費に配分していない)。	購入	17,135	冊	【成果】○ タイトルのカバー率は昨年同様で半分には達していないがおおむね近い。 【課題】市町村立図書館での資料の充実については予算等も増えず同様であるので、当面、県立図書館がその不足分をまかなわざるを得ない。	【成果】○ 今後の取組 ・市町村立図書館に資料収集のアドバイスを行う。 ・市町村に、地方交付税で想定されている需要額や全国と同規模自治体の実績を参考に図書館資料費を充実させるように促す。	【成果】○ 出版点数の5割には達していないが、着実に多様な資料の収集・提供は充実してきている。 【課題】(1)資料費の維持 (2)市町村立図書館の資料費充実を促す
		寄贈等	4,644	冊			寄贈等	1,752	冊			
		全体受入数	45,559	冊(郷土を含む)			全体受入数	18,887	冊(郷土を含む)			
		新聞	購入	109			紙	【成果】○ 高知資料で図書扱いしていた雑誌を雑誌扱いにして、おおむね2000タイトル以上の目標は達成できる。 【課題】雑誌については、課題解決支援のための専門雑誌も多く、個々に契約を行っているものが多数ある。そのため事務が非常に煩瑣になっている。また、一日に整理(データ登録、装備等)しなければならない雑誌の量も多く、負担が非常に大きい。	【成果】○ 利用頻度が少ない雑誌については、装備を簡易なものとする事とした。ただし、事務やデータ登録が煩瑣で量が多くて時間内に処理できないことは解消されていない。			
寄贈等	45	紙	寄贈等	48	紙							
全体受入数	154	紙	全体受入数	152	紙							
雑誌	一般	1,626	タイトル	一般	1,627	タイトル						
	郷土	695	タイトル	郷土	366	タイトル						
	全体受入数	2,321	タイトル(県市重複あり)	全体受入数	1,993	タイトル(県市重複あり)						
開架スペースには、30万冊以上の資料を配置し、提供し、ます	開架冊数	376,996	冊	【成果】○ 必要と判断されるものは、書庫から物理的に許す範囲で開架に出している。抜本的な解決は、他にスペースを確保できる見込みがなければ難しい。 申込み、書庫にも一部は入れることも案内しているが、苦情を言う人には納得いただけていない。 【課題】上に書かれていること一方で、旧来の図書館からの利用者にとっては、従来、開架にあったものが書庫に入り、苦情もある。	開架冊数	388,527	冊	【成果】○ 昨年度同様、新しい資料を受入れているので、利用者の一般的な満足度は高い。 【課題】上に書かれていること一方で、旧来の図書館からの利用者にとっては、従来、開架にあったものが書庫に入り、苦情もあるが、工夫して、開架にも一部出しつつある。	【成果】○ 今後の取組 ・書庫に入っている多巻ものの1巻目だけ開架に出すなどして、書庫にある本がわかるようにするなど、各種の工夫をする。	【成果】○ 約38万冊を開架に配置しており、利用者の満足度も高い。 【課題】全集ものが量が多くなかなか開架に出せない。		
	視聴覚資料含む											
電子書籍サービスは、閉館時でも、来館しなくても、資料を一定期間、閲覧できるなどのメリットがあります。メリットやデメリットを見極めながら導入します。	閲覧回数	14,495	回	【成果】○ GIGAスクールの一環として、高知県電子図書館を利用できるように準備している。ただし、現状でも、個々に登録はできる。また、大人で同一タイトルを同時に使うことはできない(そこまで予算がない)ので、学校現場でも工夫して、一律の教育をやめて、ひとりひとりにあった探究的学習を進める必要がある。 【課題】高知県は情報機器の利用が不活発な県なのでアピールしていく必要がある。また、中高生の情報機器の利用がゲームとSNSに偏っているため電子書籍もよりアピールする必要がある。	閲覧回数	3,106	回	【成果】○ 7月からはKono Librariesという電子雑誌閲覧サービスの試行を声と点字の図書館と共同で始めるなど、新しい取り組みを行った。 【課題】高知県電子図書館の利用は従来比2倍であるが、休館等により爆発的に利用が伸びた昨年の従来比5倍からは半分以下となっており、広報が必要。	【成果】○ 今後の取組 ・Kono Librariesの正式導入に向けて声と点字の図書館と共同で取り組む。 ・高知県電子図書館の資料追加を継続的に行う。 ・高等学校向けのGIGAスクール端末配付に合わせて登録利用者を増やす取り組みを働きかける。	【成果】○ 先駆けてサービスを行った事が、コロナ状況下で役立った。 【課題】(1)語学コンテンツの読上げが悪い。 (2)コンテンツがまだ貧弱である。		
	利用可能タイトル数	5,277	タイトル		利用可能タイトル数	5,355	タイトル					

1 地域を支える情報拠点機能の充実

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

(1)資料・情報の提供（貸出し・閲覧・予約）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）	令和3年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降				
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）		【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)				
資料 利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供	視聴覚	所蔵数	23,276	点	【成果】 ○ ・視聴覚資料については、ウェブ・サイトに公開している資料リストを更新した。（新着、ジャンル別等） ・利用者の要望もあり、寄席や歌舞伎に関する視聴覚資料を購入した。 ・視聴覚資料の所蔵情報をウェブOPAC等で検索しやすいよう、CD・DVDを選択できるようにした。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家庭で過ごす時間が増えている現状を鑑み、娯楽系の資料（映画やアニメなど）も購入を検討している。 ・「望む資料がない」「資料数が少ない」との声が利用者から上がっているが、限られた予算内で選書方針に従って選書している旨を提示する必要がある。	【今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check)	【成果】 ○ ・映画会にも利用できる上映権付のものや、バリアフリー対応のものを中心に、映画やアニメのDVDを購入した。 ・高知県関係のCD等を積極的に探し、購入した。 ・「望む資料がない」「資料数が少ない」との利用者の声に対し、掲示を作成中。 【課題】 ・経年劣化による視聴覚貸出機材の不調が目立つようになっている。	【今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない） ・R4年度予算に計上するもの	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
		利用数	39,372	回							
	データベース	種類	25	種	【成果】 ○ ・マーケットシェア事典オンラインを導入したことで、昨年度まで複写を認められていなかった紙資料の『マーケットシェア事典』が今年度分から著作権の範囲内で複写が可能となり、利用者の利便性が向上した。 ・利用者がデータベースに触れるきっかけづくりや少人数制ミニ講座の試行として、「オーテピア高知図書館ミニ講座 データベースを使ってみよう！医中誌Web基礎編」を健康・安心・防災情報サービスと共同で実施した（2月に同内容で4回）。参加者からは「内容がちょうどよい」「このような講座が他にもあれば参加したい」などの声があり、好評であった。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外から講師を招くことが難しい。 ・未利用者を対象としたミニ講座と、利用経験者を対象とした講座に分けた実施を検討する必要がある。 ・利用頻度の低いデータベースの周知が必要。	各サービス担当等と協力して、次のような取組みを進めていく。 ・県外の講師にオンラインで講師を依頼するなどの、柔軟な講座の開催を検討する。 ・参加者の習得レベルの合わせた講座の実施と、開催頻度と規模について検討する。 ・データベースの周知。	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check)	【成果】 ○ ・「日経BP記事検索サービス」を導入したことにより、『日経マネー』『日経PC21』等ビジネス分野で需要の高い雑誌の最新号の複写が可能となり、利用者の利便性が向上した。 ・R3年度内 データベース講習会「日本農業新聞データベース」 ・R3年度3月 データベース講習会「法情報データベースD1-law」 ・R4年度7～8月 データベース講習会「高校生ビジネスプラン・グランプリ」×「MieNa」を実施。参加者からは概ね好評。「オーテピア外から利用したい。」等の声があった。 【課題】 ・新規導入またはリニューアルしたデータベースや、利用頻度の低いデータベースの周知が必要。	【今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない） ・R4年度予算に計上するもの	
		利用回数	2,431	回							

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和3年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で				
	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度4月以降								
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)						
成果		課題		成果		課題							
デジタル化資料	目録数	33,357	点	(県) 59点のうち、当初予算分が42点。補正予算分が17点。当初予算分は田岡文庫に収蔵されている資料(大型絵図等)を中心にデジタル化を実施した。補正予算分は当館の刊行物「南路志」「憲章簿」をデジタル化し、あわせてテキスト・データを埋め込むことで全文検索も可能にした。非来館型サービスの拡充という意味では大きな成果があったと思われるが、今後は利用増に向けた取り組みを行う必要がある。 (市) 近森文庫、中城文庫など13,260点の資料撮影を行った(そのうち、平尾文庫10,453点は、登録を行い、一部の制限付きの資料は非公開とした)。企画展の準備として、近森文庫11点、横山家資料6点、加賀野井家資料5点の資料撮影を行った。古文書の翻刻文や目次・見出しといった補助的な情報がデータベースに載せきれない。	(県) 利用増に向けてPR等を行う。 (市) 紙ベースしかなく、テキスト化されていない既存の参考資料(土佐群書集成『燧袋』などの翻刻本)をデジタル化することで、データベースに載せきれない情報が検索・利用できるようなくみ作りを検討。撮影と並行して、『燧袋』のテキスト入力を試験的に行う予定。	デジタル化資料	目録数	63,865	点	(市) ○ 燧袋の撮影を行った。また翻刻文の文字起こしを行った。 (県) △ ・2020年度撮影の42点のデジタル化資料について、公開に向けて、メタ・データの作成中。	(市) 引き続き燧袋に関する撮影・文字起こし及び提供に関する検討を行う。 (県) ・メタ・データ完成後、画像公開に移行する。 ・令和4年度以降も引き続き資料のデジタル化を進める。	(県) ○ 利用できるコンテンツは着実に増加している。また2020年度にはデジタル・ギャラリーの改修や南路志等の全文検索も実装したことで、高知資料について調べるうえでの利便性が大きく向上した。 (市) ○ 貴重資料のデジタル化および、登録情報の修正など行えた。	
高知資料の保存数	—	—	点	(成果) 進んでいない。 (課題) まずもって保管場所の問題があり、取組は進んでいない。取組を進めるには当館だけでは難しく、他の行政機関等の協力を得る必要がある。	取組を進めるための体制について検討していく。	高知資料の保存数	—	—	点	(成果) × 収容スペース等の問題があり、市町村図書館からの大量の受け入れをストップしている。 (課題) 収容スペースの確保。	(成果) × スペースがなく、当面、受入れを中止している。 (課題) 収容スペースの確保。		
セルフ貸出機利用率(貸出点数比)	79.83	%		(成果) △ ほぼこの値で止まっている。 (課題) 窓口業務の負担を減らすためには、高いほうがよい。	機会が苦手な利用者も一定数いると思われるが、窓口でも地道にセルフ貸出機の利用案内を継続して行う。	セルフ貸出機利用率(貸出点数比・視聴覚資料除く)	80.20	%		(成果) △ ほぼ横ばいとなっている。 (課題) 今後民間でのセルフレジの普及や、セルフ機器に違和感を持たない世代への交代を待つ必要がある。	・機械が苦手な利用者も一定数いると思われるが、窓口でも地道にセルフ貸出機の利用案内を継続して行う。	(成果) ○ 使い方を画像で示すなど工夫し開館当初は77%で、その後も8割程度の利用者に受け入れられている。 (課題) 今後民間でのセルフレジの普及や、セルフ機器に違和感を持たない世代への交代を待つ必要がある。	
協力貸出	貸出	32,322	点	(成果) ○ R2年度は感染症対策で多くの館が長期休館となったが、貸出冊数は前年度並みを維持できた。(※R1年度実績32,301点) (課題) あまり貸出実績のない図書館等もある。自館資料でまかなえているという理由もあるだろうが、協力貸出のしくみやセット資料のラインナップについてさらに広報が必要と思われる。	・巡回訪問やブログ等を通じて市町村立図書館へ積極的に広報する。 ・貸出傾向やレファレンス内容も参考にしながら、移動図書館、セット貸出用資料の収集・充実を図る。	協力貸出	貸出	14,884	点		(成果) ○ 前年同時期より増加している。 (課題)	・継続してサービスのPRを行う。	(成果) ○ ・広報等により、サービスの認知度は上がっている。 (課題) ・引き続き、巡回訪問や研修を通じて市町村立図書館等の選書支援が必要。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和3年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降		
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	
資料の リク エス ト	資料のリクエストは、収集基準に基づき判断し、地域のニーズを踏まえて、入手可能な資料は積極的に収集します。	【取組】 ・リクエストを受けた資料は積極的に収集した。 ・入手困難なものは相互貸借にて対応した。	【成果】 ○ ・書店で購入できないものは出版社から直接購入をしてリクエストに応えるようにしている。 【課題】 リクエスト受付から購入発注までスムーズに流れているが、個人出版などのリクエストは手に入らないものもある。	手に入らないものは情報を収集し、入手確保に努める。	【取組】	【成果】 ○ ・書店で買えないものも版元から直接買うなど、できるだけ提供できるように努力している。 【課題】 注文したもので届くのにかかる時間がある。	・リクエストにより発注するのは、直接、版元に連絡するなどの工夫をし、スピードアップを図る。	【成果】 ○ ・書店で買えないものも版元から直接買うなど、できるだけ提供できるように努力している。 【課題】 注文したもので届くのにかかる時間がある。	
取り 寄せ (相 互 貸 借)	当館にない資料は、希望の資料を所蔵する図書館等を調べ、取り寄せに時間がかかる場合などもありますが、可能な限り、要望に応じます。	借受業務受付冊数 674冊 ※貸出業務受付冊数 806冊	【成果】 ○ ・当館にない資料でも、他館から取り寄せて、利用者へ提供できている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため学外者入館禁止措置を取っている大学図書館の資料を、相互貸借で提供する機会が増えた。 ・返却時、資料の状態を書いた用紙を利用者が紛失することが続いたため、様式を改訂した。 【課題】 ・一般図書だけでなく、洋書や雑誌、絶版された図書へのリクエストも多く、結果として相互貸借で対応する件数が増加。このため、相互貸借業務に要する時間が増大している。	【借受】 ・受付時のミスを減らし、早く利用者へ資料提供ができるように、リクエスト受付の研修を行い、1件あたりの作業時間を短縮していくようにする。 【貸出】 ・担当分担を見直し、依頼件数の増加への対応策を講じる。	借受業務受付冊数 314冊 ※貸出業務受付冊数 388冊	【成果】 ○ ・当館にない資料でも、他館から取り寄せて、利用者へ提供できている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため学外者入館禁止措置を取っている大学図書館の資料を、相互貸借で提供する機会が増えた。 ・受付から資料提供までの期間短縮を図るには、受付時のミスを減らすことが重要と考え、職員全体にリクエスト受付の研修を行った。(4月) 【課題】	・引き続き、利用者への提供がスムーズにできるように個別研修等の実施を検討する。 ・適宜マニュアルの改訂を進め、新担当への引継ぎができるように準備する。	【成果】 ○ ・研修の実施により、受付から資料提供までの期間が短縮でき、相互貸借件数の増加へ対応できた。 ・利用者貸出連絡票・職員連絡票の改訂を行い、返送作業をよりスムーズに行うことができた。 【課題】 研修を行っているが、人により受付方法(用紙への記入・利用者説明)に差異がある	
リク エス トし やす い環 境の 整備	リクエスト申込書を館内の利用者の目につきやすい場所に設置します。また、リクエストサービスを紹介するチラシなどを作成し、提供します。 より便利な環境を整備するため、図書館ホームページからのリクエスト専用フォームの導入の検討を行います。	リクエスト用紙は館内に設置し、窓口にて受付をしている。また、メールや電話等でも受け付けている。	【成果】 ○ リクエスト件数 3,042件 ※相互貸借件数含む 【課題】 ウェブ・サイトからのリクエスト申込は、本を特定できないあいまいな情報のものも多くなるため、専用フォームの導入には十分な検討が必要。	専用フォームの導入検討を行う。(TRCのものだけ、書誌情報を細かく入力させるなど、システム改修が必要。)	【成果】 ○ 1,487件(相互貸借により取り寄せたものも含む) 【課題】 ウェブ・サイトからリクエストを申し込めない。	・ウェブ・サイトからの申込みを業務量の増加につながらない形でできる方法を検討する。 【課題】 ウェブ・サイトからリクエストを申し込めない。	○ ・県市で柔軟に相互補充している。 【課題】 ・ウェブ・サイトからリクエストを申し込めない。 ・図書館の課題でなく、書店や流通等の課題だが時間が非常にかかるものがある。図書館側でできる対応を考える必要がある。		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で	
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降	令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降				
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check) 成果 冒頭に達成状況を○△×で 課題	【今後の『取組』】(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む) や手法を見直す取組(見直しポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は3月31日時点) ・月/日～月/日 企画展名等	【取組の成果と課題】(Check) 冒頭に達成状況を○△×で 【成果】 【課題】	【今後の『取組』】(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直しポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの				
展示 さまざま なテーマ による 企画展 示の実 施	展示 回数 健康 安心 防災	24 回	<p>【企画展示等実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2/29～4/29 脳の探求、最前線 3/30～4/30 感染症の対策あれこれ 4/1～4/30 発達障害の理解を深める 5/12～6/30 からだをつくる・とのえる 5/12～5/31 五月病かなと思ったら 6/1～6/30 いきいき健康チャレンジ 6/20～7/12 一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展 6/20～7/12 男女共同参画連携展示 7/1～8/8 いただきます！8月4日は栄養の日 7/1～8/30 免疫力を高める 8/10～8/30 いのちを、守る 9月1日は防災の日 9/1～10/31 知ろう 考えよう 認知症—いま知りたい、認知症のこと— 9/1～9/30 土佐リハ教員オスス×100冊 9/1～9/30 働くがん患者さんへのサポート～がん治療と仕事の両立支援～ 10/1～10/30 知ってほしいがんのこと～がん検診・がん生殖医療～ 11/1～12/27 当世婚活・婚活事情 12/1～12/27 ちょっと休憩してみませんか？～高知県心の教育センター連携展示～ 1/5～2/5 早寝早起き朝ごはん運動 1/5～2/27 医療等従事者応援フェア 1/12～2/5 社会に踏み出すことに不安を抱える方へ～ひきこもりに悩んでいませんか？～ 2/2～2/28 東京2020オリンピック・パラリンピック 3/9～3/31 備えよう、地震。～東日本大震災から10年～ 3/9～4/30 いつでも どこでも アウトドア 3/31～終了日未定 感染症とともに生きる 	<p>【成果】○</p> <ul style="list-style-type: none"> 時事や季節に合わせて実施することで、関心を持ってもらえた。(24回実施) 「一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展」など、普段貸出のない資料も展示をとおして貸出回数が増えている。 関係機関との連携展示の際、資料集めを依頼し関係機関のニーズを知ることができた。 「社会に踏み出すことに不安を抱える方へ～ひきこもりに悩んでいませんか？～」の展示では、展示図書がすぐに少なくなり、期間中に3回補充した。また、関係機関のチラシ・パンフレットも展示終了時には数部しか残っていない状態であった。このことから、ひきこもりというテーマについて県民・市民が高い関心を寄せているということが分かった。 新型コロナウイルスに関する展示を行い、図書やチラシでニーズにあった情報提供が行えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民・市民の関心度が特に高いテーマについては、短期間の展示だけでなく、長期間での展示を検討する必要がある。 	展示 回数 健康 安心 防災	16 回	<p>【企画展示等実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> (期間展示：14、常設展示：2) 【期間展示】 3/9～4/30 「いつでも どこでも アウトドア」 4/17～4/29 「発達障害の理解を深める」 5/1～5/30 「リアルスポーツ×eスポーツ」 5/1～5/30 【連携】高知県労働委員会事務局「アンガーマネジメント(人間関係から生じる怒りを上手にコントロールする)」 5/1～5/30 【連携】高知県難病団体連絡協議会「難病の日」 5/1～6/30 「自分らしく生きる-LGBTQを知る」 6/1～6/30 【連携】高知市健康増進課「健康づくりお役立ち情報コーナー」 6/2～6/16 【連携】高知男女共同参画センター「ソーレ」「ジェンダーカフェ(こうち男女共同参画センターソーレからイベントのお知らせ)」 6/1～6/30 「ニッチで専門的だけど意外と面白いオーテピア高知図書館3階の雑誌」 7/1～8/9 【連携】土佐リハビリテーションカレッジ「土佐リハ教員オスス×100冊」 7/1～9/5 「読んで満足！観て応援！スポーツを楽しもう♪」 7/1～7/31 「声に出して読んでみたら、すごいことになった。脳が活性！ストレス解消！」 7/20～8/9 【連携】高知市人権同和・男女共同参画課「ジェンダー平等社会図書企画展」 8/1～9/30 「ごはんでいきいき生活」 【常設展示】 3/31～終了日未定 「感染症とともに生きる」 5/1～終了日未定 「知ることであなたもわたしも楽にする～大人の発達障害～」 	<p>【成果】○</p> <ul style="list-style-type: none"> 時事や季節に合わせて実施することで、来館者に関心を持ってもらえた。 現在実施中の常設展示はテーマや資料の入替えを実施する必要がある。 より一層の利用を促すため、常設展示の広報が必要である。 企画展示「ニッチで専門的だけど意外と面白いオーテピア高知図書館3階の雑誌」で展示した雑誌は利用者のニーズに応えられる資料ではなかったため、前年度実施時に比べると貸出回数が増加しなかった。(37冊中6回貸出) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の新鮮さを保ち、利用者のニーズに応えるため、現在実施中の常設展示はテーマや資料の入替えを実施する必要がある。 より一層の利用を促すため、常設展示の広報が必要である。 企画展示「ニッチで専門的だけど意外と面白いオーテピア高知図書館3階の雑誌」で展示した雑誌は利用者のニーズに応えられる資料ではなかったため、前年度実施時に比べると貸出回数が増加しなかった。(37冊中6回貸出) 	<p>【今後の『取組』】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民・市民の関心度が高いテーマの資料や情報を恒常的に情報提供するため、終了日を設定しない常設展示を実施する。 常設展示のテーマ選定においては、県民・市民の関心やニーズ、資料の貸出動向などを踏まえて検討する。 行政掲示板等に展示情報を掲載する際、常設展示についても紹介する等して広報を強化する。 展示資料は「利用者のニーズに応える資料」と「利用者のニーズを振り起こす資料」の面から選定する。 	<p>【成果】○</p> <ul style="list-style-type: none"> 時事や季節に合わせて実施することで、関心を持ってもらえた。 これまで貸出しのなかった資料を展示することで貸出回数を伸ばすことができた。 関係機関との連携展示を通して関係機関のニーズを知ることができた。 展示をとおして利用者のニーズにあった情報提供ができた。 県市庁内に向けて広報することで、期間展示を行政職員に周知できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、県民・市民の関心度が特に高いテーマについて、長期間での展示を検討する必要がある。 常設展示については展示場所や展示動向を鑑み、テーマの入替えについて検討する必要がある。 常設展示の広報が不十分である。
	児童	16 回	<p>4/24～6/30物語の旅へ</p> <p>4/24～8/31青少年読書感想文全国コンクール課題図書(小学生)</p> <p>7/1～8/31なつやすみのヒント</p> <p>8/9～31戦争と平和に関する本</p> <p>9/1～30おなかいっぱい</p> <p>10/1～31もみじがり</p> <p>10/1～31ハッピーハロウィン</p> <p>11/1～30おなかいっぱい</p> <p>11/1～12/25メリークリスマス！</p> <p>12/1～27大人からこどもたちへ こどものころに読んだ本</p> <p>12/26～1/10グッバイ2020！ハロー2021！～楽しい年末年始を過ごすために～</p> <p>1/5～31凧つきをつくろう！</p> <p>1/21～2/18追悼 安野光雅さん</p> <p>2/2～28ねこの本</p> <p>3/1～31SDGsってなあに？</p> <p>常設読み継がれた本</p>	<p>【成果】○</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示に関連したイベント(読書ラリー)が利用者から好評。 おはなし会の会場に子育て世代向けの本を展示したことで、開始までの待ち時間にコーナーのPRや、資料提供を行うことができた。 	児童	11 回	<p>【企画展示等実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018/7/24～常設 4/1～4/30のりもの 4/1～4/30しかけ絵本の世界 4/9～8/31第67回青少年読書感想文全国コンクール課題図書(小学校の部) 5/1～5/30みどりがいっぱい 5/28～6/17ありがとう、エリック・カールさん 6/1～6/30 RAIN～たのしいあめのひ～ 7/1～8/8土佐リハ教員オスス×100冊 7/1～8/31なつやすみのヒント 8/1～8/31戦争の本から平和を考える 8/14～8/31高知県立美術館「いきものたちはわたしのかがみ」展関連企画 ミロコマチコ特設コーナー 	<p>【成果】○</p> <ul style="list-style-type: none"> おはなし会の会場に子育て世代向けの本を展示したことで、開始までの待ち時間にコーナーのPRや、資料提供を行うことができた。 	<p>【今後の『取組』】</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示に関連したブックリストを作成する。 	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で							
	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年4月1日～令和3年8月31日											
	【取組の成果と課題】(Check)		課題	【今後の『取組』】(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) ・手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例：ニーズがない)	【取組の成果と課題】(Check)		【課題】	【今後の『取組』】(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) や手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例：ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの								
【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績 (数値は3月31日時点)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績 (数値は3月31日時点) ・月/日～月/日 企画展名等														
ティーンズ	15	回	<p>【企画展示等実績】</p> <p>3/1-4/30 新生活 5/7-6/30 にじいろの本棚 7/1-8/30 謎解き図書館 7/14-8/12 部活本! 8/13-9/13 なやみに効く本 9/1-10/31 読んでみないか?わたしの推し本 9/14-9/30 アイドルを読む! 10/1-10/31 ヒプリオバトル 11/1-12/27 高知農業高校図書部の本棚 1/5-1/31 ブラインドブック 1/8-2/28 告白展 2/2-2/28 2021若い人に贈る読書のすすめ 3/9-3/31 鬼と刀と大正時代 3/9-4/30 未成年の主張 この本読んで! 3/9-4/30 新生活</p>	ティーンズ	<p>【成果】○ ティーンズ世代に伝えたいテーマや魅力のあるテーマを検討し、ティーンズ世代の意見を反映させたり、展示内容に「お楽しみ」要素を取り入れることで、多くの中高生に本を手にとってもらうことができた。</p>	<p>【課題】 更なる利用促進のため、ティーンズ世代が直接携わる事ができるような展示方法を模索中。</p>	<p>【今後の『取組』】 引き続き、ティーンズ世代に伝えたいテーマ、魅力のあるテーマについて情報を収集し展示計画を行う。 ティーンズ部員や学校に協力を呼び掛けるなど、ティーンズ世代が直接展示に携わることができる方策を検討する。</p>	ティーンズ	7	回	<p>【企画展示等実績】</p> <p>3/9-4/30 未成年の主張 この本読んで! 3/9-4/30 新生活 5/1-5/30 世界のおひめさま展 5/1-6/30 はじめよう!ティーンズ部 7/1-8/31 悩みと迷いに効く本 8/1-8/31 戦争と平和 8/1-9/12 岩波ブックレット</p>	ティーンズ	<p>【成果】○ 文章やイラストなどの創作活動に役立つ本を集めた展示「はじめよう!ティーンズ部」をティーンズコーナーにて実施。ブックリストとチラシも配布し、新規メンバー獲得につなげることができた。 夏休み期間中に岩波ブックレットの図書展示を実施。小論文の練習や読書感想文のための本を探すティーンズのニーズを満たすことができた。</p>	<p>【課題】 更なる利用促進のため、ティーンズ世代が直接携わる事ができる展示方法の検討が必要。</p>	<p>【今後の『取組』】 引き続き、ティーンズ世代に伝えたいテーマ、魅力のあるテーマについて情報を収集し展示計画に反映させる。 県内の学校との連携展示を実施予定。</p>	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
多文化	11	回	<p>常設：姉妹都市展示 常設：高知を旅する。Kochi Travel Guide 6/19-7/12:一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展 (ビジネス・健康・多文化合同) 6/25-7/22: JICA事業紹介写真展～高知発信・JICAボランティアの活動紹介～ 8/9-8/30: ことは学び、世界をひろげる。日本での暮らしに困ったら編/あなたのすぐそばに、多文化。編 この他6/1-30「県立大学コラボ展示」(主担当高知資料)に多読資料手配。 9/1-9/30: 四国のスポーツ隊員紹介パネル展～オリパラ応援～ 10/1-10/18: 国際ふれあい広場2020 10/20-11/11: 田内千鶴子さんと高知～高知・全羅南道 姉妹都市提携4周年～ 11/13-11/30: チェコも日本も盛りあがろう!オリンピック・パラリンピック～チェコ共和国と日本 外交・経済・文化交流の100年～ 1/18国際ふれあい広場2020関連展示</p>	多文化	<p>【成果】 利用者が国際交流に関心を持つきっかけとなる展示活動を行い、好評を得た。</p>	<p>【課題】 利用者が国際交流に関心を持つきっかけとなる展示活動を行い、好評を得</p>	<p>【今後の『取組』】 引き続き多文化理解に役立つ展示を行う。</p>	多文化	5	回	<p>【企画展示等実績】</p> <p>常設姉妹都市展示を適宜更新。 常設：高知を旅する。Kochi Travel ・6/1-6/30: ニッチで専門的だけど意外と面白いオーテピア高知図書館3階の雑誌 (ビジネス・健康・多文化合同) ・8/14-9/1: SDGsってなんだらう①</p>	<p>【成果】 利用者が国際交流に関心を持つきっかけとなる展示活動を行い、好評を得た。</p>	<p>【課題】 ・利用の少ない資料の認知度向上</p>	<p>【今後の『取組』】 引き続き多文化理解に役立つ展示を行う。</p>		
高知資料	20	回	<p>企画展5 展示15 3/26～5/24別役実さん逝去 3/26～5/24デビュー25周年西澤保彦 4/1～4/10『昭和の博覧会と肖像写真 - オーテピア高知図書館お宝紹介その1 -』 4/1～4/10春遍路～礼所巡り～ 5/12～7/15『濱口雄幸と野村茂久馬 - オーテピア高知図書館お宝紹介その2 -』 5/12～6/28四国遍路「修行の道場」土佐の礼所巡り 6/2～6/30高知県立大学連携展示「本で旅する高知ガイド」 7/14～8/8よさこい図書展示 7/18～8/30よさこい ポスター展示 7/21～9/22『中城文庫展』 7/25～8/30高知について調べてみよう 8/1-9/22高知県立大学連携展示「英語を学ぶための30冊」 9/29～12/27『三丁目の夕日の高知 - 清岡義道写真文庫展 -』 10/1～12/27写真の中の高知 11/12～12/28高知県立大学連携展示「三島由紀夫を読む・知るための30冊」 1/8～3/14写真家・石元泰博生誕100年展 1/9～4/18『装いと粧い - 眠りから覚めた愛おしきものたち -』 1/10～2/10龍馬研究会連携展示 2/17～4/3高知県立大学連携展示「医療衛生と地域・身体を知るための50冊」 3/16～4/18令和2年度高知県出版3賞受賞作品</p>	高知資料	<p>【成果】○ 展示によって両図書館の貴重かつ多彩な資料の保存活動の啓発にもなった。 (入室者数) ①昭和の博覧会と肖像写真 942人 (会期60日) ②濱口雄幸と野村茂久馬 617人 (会期54日) ③中城文庫展 753人 (会期56日) ④三丁目の夕日の頃の高知 - 清岡義道写真文庫展 - 2,463人 (会期76日) ⑤装いと粧い - 眠りから覚めた愛おしきものたち - 2,037人 (会期59日) ※会期は3/31までの日数による</p>	<p>【課題】 コロナ禍の影響などにより、利用者数が減少傾向 企画展開催により、労力が大幅に割かれる</p>	<p>【今後の『取組』】 常設展を検討する。 ウェブサイトの収蔵品検索データベースへの画像登録を進めるとともに、図書館のおすすめコーナーを積極活用する。</p>	高知資料		回	<p>企画展3 1/9-4/18『装いと粧い - 眠りから覚めた愛おしきものたち -』 4/27-7/18『高知県神社明細帳と土佐の式内社』 7/31-9/30『ようこそ!貴重資料の世界へ』</p>	高知資料	<p>【成果】○ 多数のマスクミからの取材もあり、多くの方に貴重資料のことを知っていただいた。 (入室者数) ①装いと粧い-眠りから覚めた愛おしきものたち- 2380人 (会期77日) ②高知県神社明細帳と土佐の式内社 1114人 (会期72日) ③ようこそ!貴重資料の世界へ 509人 (会期24日)</p>		<p>【今後の『取組』】 引き続き多文化理解に役立つ展示を行う。</p>	【成果】○ 連携展示を含め、数多くの展示が出来た

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で			
	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年4月1日～令和3年8月31日							
	【取組の成果と課題】(Check)		課題	【今後の『取組』】(Action)		【取組の成果と課題】(Check)		【今後の『取組』】(Action)				
	成果 冒頭に達成状況を○△×で			【これまでの取組状況】(Do) R3. 4～R3. 8の実績(数値は3月31日時点) ・月/日～月/日 企画展名等		冒頭に達成状況を○△×で 【成果】		【課題】				
課題		【今後の『取組』】(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)		【課題】(Check) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの		○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった						
ビジネス	18	回	<p>【企画展示等実績】</p> <p>4/1～5/31第14回まちゼミ関連展示 うちゼミ</p> <p>5/12～31在宅勤務他 ー新型コロナで変わる仕事ー</p> <p>6/20～7/12一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展</p> <p>6/26～11/25こちらのohana満開プロジェクト</p> <p>7/1～8/8放送大学で人生を愉しむ力を</p> <p>8/13～9/30男女共同参画図書企画展</p> <p>10/1～31地場産業大賞募集展示</p> <p>10/17～10/30高知 路面電車 写真展</p> <p>10/31～12/15高知国際版画トリエンナーレ展 関連展示</p> <p>12/1～27四国でも発生中!?ご存知ですか 鳥インフルエンザ2020関連展示</p> <p>12/15～1/31アートアクアリウム展～高知・金魚の海～</p> <p>12/19～1/14ぶっとんでるいきもの展</p> <p>1/5～31放送大学で人生を愉しむ力を</p> <p>1/9～3/28高知の花の展示</p> <p>2/2～28アフターコロナの世界で生きる</p> <p>常設 「移住×地域」展</p> <p>常設 科学道100の本 2020</p> <p>常設 アフターコロナの働き方</p>	<p>○</p> <p>・関係機関と連携することで、双方にとってメリットのある展示となった。</p> <p>・「高知の企業が続々開発！新型コロナウィルス対策グッズ展」では、当館初の試みとなる製品展示を実施し、県内企業のPRができた。メディアからの関心も高く、展示を通じ、販路拡大に繋がった製品もあった。</p> <p>・「こちらのohana満開プロジェクト」や「高知の花の展示」は、特に、利用者に好評だった。</p> <p>・「アフターコロナの働き方」や「鳥インフルエンザ」等の時事に関するテーマ展示を実施することで、利用者にとって関心の高い情報を提供することができた。</p>	<p>【課題】</p> <p>・常設「移住×地域」展で展示している本の入替えが十分にはできていない。</p> <p>・常設「アフターコロナの働き方」で展示している本の貸出が少ない。</p>	<p>【今後の『取組』】</p> <p>・より魅力的な常設展示となるように、継続的な本の入替えや、レイアウトの変更を検討する。</p>	<p>ビジネス</p> <p>9 (期間) 展示: 6回、常設展示: 3回</p>	<p>【企画展示等実績】</p> <p>4/1～4/30 「ビジネス書大賞展示2021」</p> <p>5/1～5/30 「土佐まるごとビジネスアカデミー2021」(連携: 高知県産学官民連携センター)</p> <p>6/1～6/30 「きみのプランを描こう～高校生ビジネスプラン・グランプリ～」(協力: 日本政策金融公庫高知支店)</p> <p>6/1～6/30 「ニッチで専門的だけど意外と面白いオーデビア高知図書館3階の雑誌」</p> <p>7/1～7/31 「高知のいいもの再(?)発見」(連携: 高知県工業振興課)</p> <p>7/2～8/9 「放送大学で人生を愉しむ力を」(連携: 放送大学高知学習センター)</p> <p>【常設展示実績】</p> <p>「移住×地域」展</p> <p>「科学道100の本 2020」</p> <p>「アフターコロナの働き方」</p>	<p>【成果】</p> <p>○</p> <p>・関係機関と連携することで、双方にとってメリットのある展示となった。</p> <p>・「土佐まるごとビジネスアカデミー2021」連携展示では、展示本の貸出しは多くあり配布物もはげがよく、連携することで広報面で貢献することにも、利用者のニーズに応えることができた。</p> <p>・3階ビジネス展示A「移住・地域展」にて、「竜とそばかすの姫」に関連したコンテンツ・ツアー等の本や新聞記事を展示することで、利用者にとって関心の高い情報を提供することができた。</p>	<p>【課題】</p> <p>・常設展の本の入れ替えが十分できていない。</p>	<p>【今後の『取組』】</p> <p>・より魅力的な常設展示となるように、継続的な本の入替えや、レイアウトの変更を検討する。</p>	<p>成果】</p> <p>○</p> <p>・関係機関と連携することで、双方にとってメリットのある展示となった。</p> <p>・「高知の企業が続々開発！新型コロナウィルス対策グッズ展」では、メディアからの関心も高く、展示を通じ、販路拡大に繋がった製品もあった。</p> <p>・「こちらのohana満開プロジェクト」や「高知の花の展示」は、特に利用者に好評だった。</p> <p>・時事に関するテーマ展示を実施することで、利用者にとって関心の高い情報を提供することができた。</p>
バリアフリー	5	回	<p>【企画展示等実績】</p> <p>3/20～4/30春野高校生作布絵本～だれでも楽しめるバリアフリー図書～</p> <p>8/1～9/30 3/2～ 常設布絵本コーナー</p> <p>12/1～27こんな本、知っちゃう？12月3日～9日は障害者週間です</p> <p>12/1～1/14県立春野高等学校で布絵本作成中～作成中の写真と布絵本の展示～</p> <p>常設バリアフリー機器展示</p>	<p>【成果】○</p> <p>・2Fゲート入口すぐの場所に布絵本の常設展示をすることにより、貸出点数が増加した。</p> <p>・企画展示をすることで、資料を知ってもらうことができ、貸出しにもつながった。</p>	<p>【課題】</p> <p>・布絵本や大活字本など特殊な形態の資料を中心に展示したが、そのほかの障害者に役立つ資料の展示も取り組む必要がある。</p>	<p>【今後の『取組』】</p> <p>・特殊な形態の資料に限らず障害者に役立つ資料等を展示し、資料の周知や情報の提供に努める。</p>	<p>バリアフリー</p> <p>3 回</p>	<p>企画展示1回</p> <p>常設展示2回実施した。</p> <p>【企画展示等実績】</p> <p>4/10～5/5春野高校生 手作りの布絵本～だれでも楽しめるバリアフリー図書～</p> <p>【常設展示】</p> <p>布絵本コーナー</p> <p>バリアフリー機器展示</p>	<p>【成果】○</p> <p>・2Fゲート入口すぐの場所に布絵本の常設展示をすることにより、貸出回数が増加している。</p> <p>・企画展示をすることで、資料を知ってもらうことができ、貸出しにもつながった。</p>	<p>【課題】</p> <p>・布絵本については利用が伸びてきたが、そのほかの障害者に役立つ資料等については利用者への周知ができていない。</p>	<p>【今後の『取組』】</p> <p>・特殊な形態の資料に限らず障害者に役立つ資料等を展示し、資料の周知や情報の提供に努める。</p>	<p>【成果】</p> <p>○</p> <p>・2Fゲート入口すぐの場所に布絵本の常設展示をすることにより、貸出回数が増加している。</p> <p>・企画展示をすることで、資料を知ってもらうことができ、貸出しにもつながった。</p>

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で					
	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度4月以降									
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)				【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は3月31日時点)									
		成果		課題		【取組の成果と課題】(Check)		【今後の『取組』】(Action)						
		成果		課題		成果 冒頭に達成状況を○△×で		【今後の『取組』】(Action)						
利用ガイド	ティーンズ	1	種	既存4(今回改訂0)+今回新規7	ティーンズ	【成果】 テーマ展示と併せてブックリストを配布することで、多くのブックリストを配布することができた。 【課題】	ティーンズ	1	種	既存11+今回改訂0+今回新規1	【成果】 ○ 産業教育のPRイベントにて、テーマに合わせた本の展示とブックリストの配布を実施。参加した生徒や保護者などにも目を通していただくことができた。 【課題】	【今後の『取組』】 ・各サービス担当と協力し、今後も配布の機会を増やす ・内容の更新が必要なブックリストは、随時更新する	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった	
	多文化	1	種	既存4(今回改訂0)+今回新規6	多文化	【成果】 やさしい日本語館内ツアーの中で日本語学習資料についてPRし、利用登録や貸出、サービスの認知など利用促進に繋がった。 【課題】 資料があることの認知度が低い。	多文化	1	種	既存10(今回改訂0)+今回新規1	【成果】 やさしい日本語館内ツアーの中で日本語学習資料についてPRし、利用登録や貸出、サービスの認知など利用促進に繋がった。 【課題】 資料があることの認知度が低い。	【今後の『取組』】		
	高知資料	1	種	既存1(今回改訂0)+今回新規0	高知資料	【成果】 × 【課題】 作成したが、提供にいたっていないリストがある。	高知資料		種		【成果】 【課題】	【今後の『取組』】		【成果】 × 作成できていない。 【課題】
	ビジネス	2	種	既存11(今回改訂1)+今回新規15	ビジネス	【成果】 ○ ・他サービス担当とも情報共有しながら効率的に作成を進めており、よりニーズに沿った内容となった。 【課題】 特になし	ビジネス	3	種	既存26(今回改訂0)+今回新規4	【成果】 ○ 他サービス担当とも情報共有しながら効率的に作成を進めており、より利用者のニーズに沿った内容のリストを作成することができた。 【課題】 作成に時間がかかる。	【今後の『取組』】 利用者からのニーズが高い内容を優先し、また、特定の分野に偏りすぎないように考慮しつつ、連携機関の協力を得て長期的に作成に取り組む。		【成果】 ○ 他サービス担当とも情報共有しながら効率的に作成を進めており、より利用者のニーズに沿った内容のリストを作成することができた。 【課題】 作成に時間がかかるため、利用者からのニーズが高い内容を優先し、また、特定の分野に偏りすぎないように考慮しつつ、連携機関の協力を得て長期的に作成に取り組む。
	健康安心防災	4	種	既存4(今回改訂1)+今回新規0	健康安心防災	【成果】 ○ 実際にパスファインダーを参考にされる利用者に対応する機会あり。 【課題】 提供中のパスファインダーの様式がわかりにくい。様式の修正が必要。様式改訂および新規作成作業が進んでいない。	健康安心防災		種	(既存4(改訂0)+新規0)	【成果】 × 【課題】 ・利用者のニーズに応えるため、パスファインダーの新規作成が必要である。 ・新鮮な情報を提供するため、作成済みパスファインダーの内容更新が必要である。 ・より使いやすくなるため、パスファインダーの様式改訂が必要である。	【今後の『取組』】 ・社会情勢の変化に留意し、利用者の関心が高いテーマやニーズに沿ったパスファインダーを関係機関と連携しながら作成・提供する。 ・パスファインダーの様式を変更する。 ・提供にあたっては、関係機関への配布等も視野にいれて実施する。		【成果】 ○ ・専門機関や各種団体と連携し、健康・医療・福祉・防災等に関連した課題解決に役立つパスファインダーの作成・提供ができた。 【課題】 ・パスファインダーについて、より使いやすくなるため、様式の変更が必要。 ・パスファインダーについて、改訂および新規作成作業が進んでいない。
	パスファイン	0	種	既存0(今回改訂0)+今回新規0	児童	【成果】 × 【課題】 パスファインダーを作成できていない	児童		種	既存0(今回改訂0)+今回新規1	【成果】 ○ 【課題】 夏休みの宿題のパスファインダーは、利用者が多い7月～8月上旬に配布できたらよかった。	【今後の『取組』】 ・子育て応援に関するパスファインダーも作成する。		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で										
	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年4月以降														
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)				【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は3月31日時点)														
成果				【取組の成果と課題】(Check)				○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった											
課題				成果 冒頭に達成状況を○△×で															
【今後の『取組』】 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)				【今後の『取組』】 【課題】															
ター(開館以降延べ数)	ティーンズ	4	種	既存0(今回改訂0)+今回新規4	ティーンズ	【成果】 ○展示と連動させ作成・提供することで利用促進の相乗効果が得られた。 【課題】	【今後の『取組』】 今後も引き続き、種類を増やしていく。	ター(開館以降延べ数)	ティーンズ	6	種	既存4+今回改訂2+今回新規2	【成果】○ イベント会場にてばげばすやブックリストを希望する学校関係者に配布することができた。 【課題】 ピンポイントで役立つテーマを探り、種類を増やす必要がある。	【今後の『取組』】 継続して作成し、利用促進を図る。					
	多文化	3	種	既存2(今回改訂0)+今回新規1	多文化	【成果】○ 【課題】	【今後の『取組』】		多文化	3	種	既存3(今回改訂0)+今回新規0	【成果】○ 【課題】 やさしい日本語を使用したものを作成できなかった。	【今後の『取組』】 やさしい日本語を使用したものの作成を検討する。					
	ビジネス	4	種	既存2(改訂2)+今回新規2	ビジネス	【成果】○ 【課題】	【今後の『取組』】		ビジネス	4	種	既存4(改訂1)+今回新規0	【成果】△ 【課題】 パスファインダーは作成に時間がかかるため種類が少ない。	【今後の『取組』】 ・作成内容を検討していく。	【成果】○ 主要なパスファインダーは作成することができ、利用者からの問い合わせ等に活用することができている。 【課題】 パスファインダーは作成に時間がかかるため種類が少ない。				
利用マニュアルの作成・提供	コンピュータによる図書館の蔵書目録(OPAC)やデータベース、インターネットの基本的な使い方について、目的や年代など、利用者をイメージしたマニュアルを作成し、提供します。				△ ・左のティーンズ向けのものは、2Fに設置している最も稼働率が高いと思われるOPACの横に掲示していることもあるのか、「検索方法がわからない」という意見は「利用者の声」ではほとんどあがっていない。 【課題】 ・データベースの利用者は、使用方法をよく理解しているリピーターの方、パソコンが使えないため職員の補助が必要な方という二極化の状態にあり、どの程度の利用者がマニュアルを必要としているのか不明。	【今後の『取組』】 ・今後も各機器の利用者の意見を聞くなどして、作成について検討していく。	・OPACの検索方法について、ティーンズ向けのものをウェブ・サイトにアップすると同時に、ティーンズコーナー近くのOPACに掲示している。 ・データベースの使用法については、現在はそれぞれデータベースの会社のものを使用している。						【今後の『取組』】						
図書館案内会等の開催	多くの方に図書館を知ってもらいたい利用していただくため、案内会や利用方法の説明会等を行います。	開催回数	10	回	○ ・館内ツアー・図書館活用ミニ講座ともにアンケート結果が好評。ほとんどの方から「良い」と評価をいただき、低評価は0件だった。 ・10回以上図書館を利用している方からも、「便利で驚いた」との感想をいただいている。 ・「新しい発見があった」「県外の図書館の本を取り寄せられることが知れてよかった」という声もあり、図書館を普段利用している方にも更なる活用方法を提供できた。 【課題】	【今後の『取組』】 引き続き、館内ツアー・図書館活用ミニ講座を開催する。	開催回数	5	回	○ 館内ツアーに参加する方は図書館活用ミニ講座にも参加される。アンケート結果も好評。ほとんどの方から「良い」と評価をいただき、低評価は0件だった。 ・「今まで利用していなかったサービスを活用してみたいと思った」「知らなかったことがたくさん知れて良かった」という声もあり、図書館サービスの利用に繋げることができた。 【課題】 ・オーティビアンズの活動の一つとして想定している館内ツアーの案内役は、R2年度以降、職員が行っている。	参加者数	27	人	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら館内ツアー・図書館活用ミニ講座を開催した。	参加者数	15	人	【今後の『取組』】 ・引き続き、館内ツアー・図書館活用ミニ講座を開催する。12月は冬休み特別企画として、小学生を対象にした館内ツアーを実施予定。 ・[R4年度]館内ツアーボランティア(10名程度)を養成する。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で	
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降	令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	成果	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの
接遇研修 職員研修	利用者の方に満足していただけるよう、誠意のある心のもった窓口対応を行うため継続的に接遇研修を実施します。	実施日 4月24日	【今後の『取組』】 サービス向上のため、今後も接遇だけでなく、話し方・伝え方・傾聴などに関する研修も織り交ぜて行っていく。	実施日 5月21日	【今後の『取組』】 基本的な接遇の知識はあっても、現場で実践されないと意味がないので、定期的に周知を図る。	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
	通常は第3金曜日に実施しているが、本年度は新型コロナウイルス感染対策のため休館していた期間中に実施した。感染対策に念を入れ、2組に分けて実施した。	【成果】 ○ 開館以来毎年1回は研修を実施している。お辞儀や名刺受け渡しなどの基本的な所作は身に付いている。 【課題】 開館以来毎年1回は研修を実施しているが、日々多数の利用者等と接するため、どうしても接遇面に係る利用者の声は出てくる。		【成果】 ○ 開館以来毎年1回は研修を実施している。重複する内容も多いが、繰り返し学ぶことにより、着実に身につけている。 【課題】 「開館時から比較して接遇がよくなった」という声もいただく一方で、接遇面で注意してほしいとの声もいただいている。		【成果】 ○ 開館以来毎年1回は研修を実施している。重複する内容も多いが、繰り返し学ぶことにより、着実に身につけている。 【課題】 「開館時から比較して接遇がよくなった」という声もいただく一方で、接遇面で注意してほしいとの声もいただいている。

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
多種多様な資料の収集・提供を充実することができた。 テーマ展示、ブックリスト、パスファインダーなど、利用者が資料にアクセスしやすい手法を積極的に実施して、利用促進につなげることができた。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）	令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和2年4月1日～令和3年8月31日				
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)			
図書以外の資料の収集	現在、収集が十分でない図書以外の資料(地図、パンフレット、DVD等)について、収集や整理、提供の方法を検討したうえで、収集します。	【取組】 チラシ・ポスターやパンフレット類等も収集を増やしている。県市担当で協議しながら書誌の作成を行っている。	【成果】 収集したものを整理し、図書館資料として利用者に提供することができた。特に市町村作成の広報チラシや観光パンフレット、県内文化施設のイベントチラシなどは、各自自治体・施設ごとのファイルを作成して閲覧を容易にした。 【課題】 送付されてくるパンフレット類については収集できるが、それ以外のものを収集するのが困難	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	行政機関を含め民間団体等にも連絡をし、高知関係資料の収集につとめる。	【取組】 チラシ・ポスターやパンフレット類等も収集を増やしている。県市担当で協議しながら書誌の作成を行っている。	【成果】 ○ 観光パンフレットなどを中心に市町村の刊行物が継続して寄贈されている。館内配布分補充を依頼する際に、改訂や新規作成についても確認することができ、新たな収集につながっている。 【課題】 市町村の刊行物に関するよりきめ細かな情報収集と、デジタルのみの情報の収集・保存の方法	今後の取組 ・市町村への寄贈依頼の機会を増やす。 ・デジタル情報の収集・保存の先行事例等についての情報収集。	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
「高知ならではの資料の収集	「よさこい祭り」など、高知に深く関わるテーマを、重点的に収集します。	【取組】 関係者の協力をいただきながら、継続して県外よさこい資料の収集を進めている。あわせて高知新聞掲載の「よさこい」関係記事のスクラップもおこなっている。	【成果】 少しずつではあるが、よさこい関係資料（特に県外のよさこい系イベントに関する資料）が増えている。また、収集に協力いただいた方々を中心に、オーテピアでよさこい関係資料を集めていることが認知されつつある。11月のお城下文化の日に「よさこい」関連の講演会をおこない、図書館で「よさこい」関係資料を収集していることをPRできた。 【課題】 紙資料でない物の寄贈申し出等があった場合、収集するかどうか、また、収集した場合どのように整理・保存していくのが課題。よさこい関係資料を収集していることがまだまだ知られていない。	紙資料以外の収集・整理基準を決める必要がある。 よさこい関係資料を収集していることをアピールする。（チラシの作成、ウェブサイトでのお知らせ等）	【取組】 関係者の協力をいただきながら、継続して県外よさこい資料の収集を進めている。あわせて高知新聞掲載の「よさこい」関係記事のスクラップもおこなっている。	【成果】 △ 引き続きよさこい資料の収集をおこなっているが、新型コロナ感染拡大により、県内外のよさこいイベントが中止となったため、チラシ等の新たに作られる資料そのものの数が激減。よさこいポスター展示等でよさこい関係資料を収集していることのPRをおこなった。 ○ 例年通り7月から8月にかけて、1階休憩コーナー及び3階南通路を会場によさこい祭関連展示を実施した。 【課題】 紙資料でない物への対応について未検討。よさこい関係資料収集についてさらに認知度を高める。 展示のマンネリ化を防ぐためにも、新しい連携先などを開拓する必要がある。	今後の取組 ・紙以外のよさこい資料への対応について早期に結論を出す。 ・連携展示を行うためのパートナーの開拓。 ・昨年、今年のようによさこい祭りが通常開催されない場合の対応策の検討。	○ 開館以来毎年、夏のよさこい祭り開催時期に合わせ、各方面との連携で関連展示を実施した。 【課題】 コロナ禍によるよさこい祭自体の2年連続中止もあり展示の盛り上げには苦慮した。今後は新しい発想も取り入れていく必要がある。	
高知県にとって必要な資料の収集	高知県にとって必要な資料が散逸しないよう関係機関とつながりを持つなどして、貴重な資料を収集します。	【取組】 こうちミュージアムネットワーク会員館として、同ネットワークが取り組んでいる県内資料の散逸を防ぐ取り組みに参加し、県内資料の状況について情報共有している。	【成果】 こうちミュージアムネットワーク事務局である高知城歴史博物館を中心に、県内の個人所有の資料について、その管理に苦慮していることや散逸しかねない状況にあることも含め情報共有できた。 【課題】 資料の散逸を懸念する個人の方からの寄贈の申し出に対して、スペースや人員体制など、単館では対応することが難しい。	収集したものは適宜整理していくようにする。 資料の保管場所の問題は、当館だけの問題ではない。こうちミュージアムネットワークでは、廃校等の利活用についても課題として検討しており、会員館として積極的に議論に参加し、情報収集と共有に努める。	【取組】 こうちミュージアムネットワーク会員館として、同ネットワークが取り組んでいる県内資料の散逸を防ぐ取り組みに参加し、県内資料の状況について情報共有している。	【成果】 ○ 図書館に問い合わせのあった、個人の方の所蔵する戦争関係資料（軍事郵便、勲章、写真等）について、こうちミュージアムネットワーク会員間で情報共有し、資料リストの作成や適切な保存方法などの助言に橋渡しすることができた。 【課題】 資料の散逸を懸念する個人の方からの寄贈の申し出に対して、スペースや人員体制など、単館では対応することが難しい。	今後の取組 ・こうちミュージアムネットワーク内でのさらなる情報共有と連携強化。	【成果】 △ こうちミュージアムネットワーク等、他館との連携による資料散逸防止の取り組みができた。 【課題】 県内文化施設のほとんどが収蔵庫狭小化の問題を抱えている。	
行政資料の収集	県庁や高知市役所をはじめとして、他の県内各市町村に対しては図書館への行政資料提供の徹底を働きかけて、収集します。	【取組】 （県）年度初めと8月の県庁執務環境整理月間に合わせての2度、全庁メールによる県庁各課および出先機関への行政資料寄贈の呼びかけをおこなった。また、県内市町村総務課および県内私立学校・大学に対して資料寄贈依頼をFAXでおこなった。 （市）年度初めに全庁掲示板で各課へ寄贈依頼を発信した。	【成果】 （県）県庁各課については確実に図書館で資料収集していることの認知度が上がっており、行政資料の充実につながった。また利用者からの問い合わせも増えており、収集した資料が活用されている手応えを感じた。 （市）市も同様に、全庁掲示板を見ての寄贈及び寄贈の問い合わせが年々増加している。 【課題】 （県）各市町村から、継続して寄贈されない（担当者が代わり引き継がれていない）こともある。県・市町村ともに、ウェブサイトでの公開のみで紙資料を作成しない行政資料が増えつつある。このようなデジタル資料への対応を検討する必要がある。	引き続き年に1～2度、寄贈依頼を発信する。	【取組】 （県）年度初めと8月の県庁執務環境整理月間に合わせての2度、全庁メールによる県庁各課および出先機関への行政資料寄贈の呼びかけをおこなった。また、県内市町村総務課および県内私立学校・大学に対して資料寄贈依頼をFAXでおこなった。 （市）年度初めに全庁掲示板で各課へ寄贈依頼を発信した。	【成果】 ○ （県）県庁各課、市町村とも継続して行政資料が寄贈され、所蔵資料がより充実しつつある。（市）庁内外各課からの行政資料の寄贈が定着してきている。 【課題】 （県）市町村により寄贈に濃淡がある。また、新規作成資料等の把握が十分できていない。あわせて、これまで課題となっているデジタルでのみ作成される資料への対応の検討が進んでいない。	今後の取組 ・引き続き寄贈依頼を行う。 ・デジタル情報の収集・保存の先行事例等についての情報収集。	○ 図書館の取り組みについて県や市町村等にも一定認知された結果、県、市町村とも行政資料の所蔵数、種類ともに確実に充実してきている。 【課題】 行政資料収集についてのさらなるPR。 デジタル資料の収集と保存方法の検討。	
貴重資料の保存環境の向上	貴重資料を貴重書庫で保存し、保存環境の向上を図ります。	【取組】 前年度同様、定期的な貴重書庫の清掃と害虫トラップ設置、温湿度計測器の設置をおこない、貴重書庫内の適切な資料保管環境の維持につとめている。 （市）出納作業をより円滑に行うために、貴重書庫内の文庫（資料群）を50音順に並べ替える作業を行った。	【成果】 （市）貴重書庫内の文庫（資料群）を50音順に並べ替えることで、出納作業をより円滑に行うことができるようになった。光に弱い錦絵を専用のタンスへ入れ替えたことで保存環境が改善した。 【課題】 特に問題は発生していない。	引き続き貴重書庫の環境管理を行い、県市で情報共有を行う。	【取組】 前年度同様、定期的な貴重書庫の清掃と害虫トラップ設置、温湿度計測器の設置をおこない、貴重書庫内の適切な資料保管環境の維持につとめている。 （市）出納作業をより円滑に行うために、貴重書庫内の文庫（資料群）を50音順に並べ替える作業を行った。	【成果】 ○ 温湿度も安定しており、害虫トラップにも異常は見られない。 【課題】 特に問題は発生していない。	今後の取組 ・引き続き貴重書庫の環境管理を行い、県市で情報共有を行う。 ・県の資料については、防虫剤の入れ替え時期に来ているため、年度内に入れ替え作業を行う。	○ 貴重書庫の環境を管理できている。 【課題】 特に問題は発生していない。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度 令和3年度4月以降			令和3年度 令和2年4月1日～令和3年8月31日			令和3年度 令和3年度9月以降			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で																		
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)			【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)			【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)																					
		成果	課題			成果	課題				成果	課題																			
保存	<p>優先度に従って、順次、歴史的資料のデジタル化を行い、原資料の良好な保存と手軽に利用ができるようにします。</p> <p>【取組】 (市) 職員による資料撮影を計画的に進めている。 (県) ・田岡文庫に所蔵されているものを中心に42点の資料のデジタル画像を作成した。 ・上記とは別に、補正予算(新型コロナウイルス対策交付金)を活用し、『南路志』(全10巻)と『憲章簿』(全7巻)のデジタル画像とテキスト・データを作成し、Webサイトにおいて公開した。</p>	<p>【成果】 (市) 近森文庫、中城文庫など13,260点の資料撮影を行った(そのうち、平尾文庫10,453点は、登録を行い、一部の制限付きの資料は非公開とした)。 企画展の準備として、近森文庫11点、横山家資料6点、加賀野井家資料5点の資料撮影を行った。 (県) ・利用者が閲覧できるデジタル画像が増えた。 ・特に『南路志』『憲章簿』は高知関係の調べものをする際に頻りに使用する基本的な資料であり、今回テキスト・データを埋め込むことで全文検索も可能になったので、図書館職員・利用者双方にとって利用しやすくなった。</p>	<p>【課題】 (市) 紙ベースしかなく、テキスト化されていない既存の参考資料(土佐群書集成『燧袋』などの翻刻本)をデジタル化することで、データベースに載せられない情報が検索・利用できるようなしくみ作りを検討。撮影と並行して、『燧袋』のテキスト入力を試験的に行う予定。 (県) ・プライバシー侵害に関わる資料の提供方法についてはオーディオ高知図書館全体に関する問題なので、県・市両館で方針を考えていく。 ・全文検索については、より使いやすい形で提供できるように今後も見直していく。</p>	<p>【取組】 (市) 職員による資料のデジタル撮影の実施。 ・燧袋については、撮影と共に翻刻文の文字起こしなどを実施。 (県) ・田岡文庫に所蔵されているものを中心に42点の資料のデジタル画像を作成した。 ・上記とは別に、補正予算(新型コロナウイルス対策交付金)を活用し、『南路志』(全10巻)と『憲章簿』(全7巻)のデジタル画像とテキスト・データを作成し、Webサイトにおいて公開した。 令和3年5月より、デジタル化した「才谷屋文書」中の「順水日記」をテキストとし、一般を対象としたくずし字講座をスタートした。高知県立歴史民俗資料館学芸員に講師をお願いし、定員30名で月2回(1回90分)実施。</p>	<p>【成果】 (市) △ 楠瀬家資料『燧袋』289点の資料撮影を行った(撮影は継続中。未登録)。 企画展の準備として、安芸文庫16点、貴重書311点の資料撮影を行った。 デジタル撮影については、貴重資料の閲覧対応によって時間を取られ遅れている。 燧袋の文字起こしについては順調に行えている。 (県) 【2021年度のデジタル化の計画】:○ 8月末時点では特になし。 【くずし字講座】:○ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催の順延などもあったが、順調にテキストの解説が進んでおり、参加者にも好評である。</p>	<p>【課題】 (市) 貴重資料の閲覧対応が多いことと、業務配置転換によりまだ慣れていない職員がいるため、時間を取られている。 燧袋の最終的な仕上がりが定まっていない。 (県) 【2021年度のデジタル化の計画】 県内で撮影できる業者がいいため、委託先は県外になる。スケジュールに沿って作業が進められるように、新型コロナウイルス感染症の動向には注意する必要がある。 【くずし字講座】 テキストの画像および講座で解説した翻刻文のデジタルギャラリーでの公開。</p>	<p>【成果】 (市) ○ 引き続き貴重資料のデジタル撮影の実施。 ・燧袋の文字起こし等の実施。 (県) 【2021年度のデジタル化の計画】 9月初旬に入札と契約を行い、撮影作業に移る。 【くずし字講座】 引き続き講座をおこない、参加者の興味関心に応えると同時に、デジタル化した貴重資料の翻刻文作成にもつなげていく。</p>	<p>【成果】 (市) ○ 優先順位に従って、資料のデジタル化を行えた。 (県) ○ 資料の希少性や劣化具合等を考慮しながら、着実にデジタル化を進めることができた。</p>																							
資料の提供	<p>高知県関係資料コーナー及び専用カウンターにおいて、資料を提供するとともに、司書がレファレンスに対応します。</p>	<table border="1"> <tr> <td>受付</td> <td>事項</td> <td>1,019件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>所蔵</td> <td>2,711件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>郵送複写</td> <td>88件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,218枚</td> </tr> </table>	受付	事項	1,019件		所蔵	2,711件		郵送複写	88件			2,218枚	<p>【成果】 ○ 行政支援のレファレンスや番組制作に係るレファレンスなど、多岐にわたる依頼あり。当館のレファレンス・サービスの浸透を感じる。</p>	<table border="1"> <tr> <td>受付</td> <td>事項</td> <td>526件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>所蔵</td> <td>1,116件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>郵送複写</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>907枚</td> </tr> </table>	受付	事項	526件		所蔵	1,116件		郵送複写	25件			907枚	<p>【成果】 ○ レファレンス件数が増加してきており、サービスの浸透を感じる。 ・担当職員に一定のスキルがついてきた。</p>	<p>【課題】 レファレンス内容の細分化および多様化により、回答にいたらない事例が増えている。</p>	<p>【成果】 ○ 高知の図書館として、高知に関するレファレンスに多数対応することで、県内外に当館のことをPRできた。また、当館が標榜する課題解決型図書館としての役割の一部を、多くのレファレンス対応によって果たした。 【課題】 ・職員のさらなるスキルアップ ・他サービス担当ほか、職員間の協力・支援体制の充実</p>
受付	事項	1,019件																													
	所蔵	2,711件																													
	郵送複写	88件																													
		2,218枚																													
受付	事項	526件																													
	所蔵	1,116件																													
	郵送複写	25件																													
		907枚																													
デジタル化された歴史的資料の提供	<p>商品のパッケージ・デザインといった活用等の要望があった場合、データを提供します。</p>	<p>・画像データの利用申請があった場合は、随時提供した。 ・デジタル・ギャラリーの改修に伴い、二次利用の条件等を明記した。</p>	<p>【成果】 (市) 閲覧34件、撮影52件、掲載43件(うち商用利用1件)、放映13件、貸出11件 掲載された資料を見て、閲覧等の問い合わせもあった。 〈利用例〉掲載 ・読売新聞高知県版7月11日「ニュースの門@高知 スイーツのヒミツ・夏編」で寺田正写真文庫51A-5-1「アイスクリーム屋(桂浜)」が掲載された。 ・高知市立自由民権記念館開館30周年記念として制作・販売されるクリアファイルに、近森文庫180「湘烟日記」(岸田俊子肖像)が採用された。 放映 ・NHK BSプレミアム「英雄たちの選択 板垣退助」放映のため、松野尾家資料 追加81「(仮)影神帖 二編」所載の「立志社風景写真」が使用された。 (県) ・出版物への掲載をはじめ、Youtube動画での使用などの事例があった。</p>	<p>【成果】 (市) 閲覧15件、撮影25件、掲載25件、放映3件、貸出8件を行った。 〈利用例〉 『前園真聖しこく絶景たび』において魚梁瀬森林鉄道の歴史がわかる寺田正写真文庫の資料を提供。 NHK高知放送局の「こうちいちばん」へ鏡川でのアユ釣りの様子がわかる寺田正写真文庫の資料を提供。 番組「開運!なんでも鑑定団」へ「土佐名勝」のうち「土佐珊瑚採取の実況」を提供。 (県) ・デジタル・ギャラリーの改修に伴い、報道機関への投げ込み等を行う予定。 ・図書館側から積極的にPRする方法を考えていく。</p>	<p>【成果】 (市) ○ 閲覧15件、撮影25件、掲載25件、放映3件、貸出8件を行った。 〈利用例〉 『前園真聖しこく絶景たび』において魚梁瀬森林鉄道の歴史がわかる寺田正写真文庫の資料を提供。 NHK高知放送局の「こうちいちばん」へ鏡川でのアユ釣りの様子がわかる寺田正写真文庫の資料を提供。 番組「開運!なんでも鑑定団」へ「土佐名勝」のうち「土佐珊瑚採取の実況」を提供。 (県) ・デジタルの動画において、デジタル化した資料の画像データが使用された。</p>	<p>【課題】 (市) 貴重資料の商用利用への展開や、地域振興への寄与。</p>	<p>【成果】 (市) ○ 利用者へ利用提供を数多く行えた。 (県) ○ 出版物やテレビ放送をはじめ、食材フェアでの使用など、いろいろな活用があった。また、レファレンスで活用することも多々あり、より多様な情報提供につなげることができたのではないかとと思われる。 【課題】 (市) デジタル化資料のグッズ展開。 (県) 活用されるケースを増やすために、PR等は今後も継続して行っていく必要がある。</p>																								

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和2年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		
		成果	課題		成果	課題	
デジタル化資料のウェブ・サイトでの公開	利用の要望が多い歴史的資料については、ウェブ・サイトでの公開を進めます。	【取組】 (市) 公開した内容のブラッシュアップを実施。各文庫の図書類17,573点、寺田正写真文庫の写真4,024点、中城文庫8,068点の項目「分類1～4」の更新を実施。一宮村資料22点、若尾文庫787点の目録情報の修正を実施。 (市) 収蔵品検索データベース「図書館のおすすめ」の定期更新を実施。 (県) ・デジタル・ギャラリーの改修を行い、資料種別等の分類からも画像を検索できるように改善した。 ・メタ・データを充実させることで資料情報をより詳細なものにする。また、資料種別等の分類から階層的に画像を探せるようにした。また、翻刻文をテキスト検索できるようにした。 Musethequeの田岡典夫文庫目録については、3月末時点で総数4693点のうち3576点の目録を作成した(総数については今後の作業の中で増える可能性あり)。	【成果】 (市) 分類項目の更新により、資料の抽出がしやすくなった。 各文庫の図書類17,573点、寺田正写真文庫の写真4,024点、中城文庫8,068点の項目「分類1～4」の更新を実施。一宮村資料22点、若尾文庫787点の目録情報の修正を実施。提供点数が増え、利用者への提供内容が充実した。 (市) 収蔵品検索データベース「図書館のおすすめ」の定期更新を実施。 ・【おうちで四季めぐりー秋の夜長にー】美術工芸25点を公開。 ・【おうちで四季めぐりー雪やこんこん冬景色ー】美術工芸17点を公開。 ・【企画展『装いと粧いー眠りから覚めた愛おしきものたちー』】歴史資料や美術工芸など39点を公開。 (県) ・これまではデジタル・ギャラリーで画像を探 【課題】 (市) 資料分類をできるだけの知識が職員によってまちまちなため、作業が偏りがちである。 (県) ・メタ・データ項目がこれで十分かどうかは今後も検討が必要。 ・R2年度末にMusethequeで公開する予定であった田岡典夫文庫の目録公開ができていない。	【取組】 (市) 公開した内容のブラッシュアップを実施。 収蔵品検索データベース「図書館のおすすめ」の定期更新を実施。 (県) ・デジタル・ギャラリーの改修を行い、資料種別等の分類からも画像を検索できるように改善した。 メタ・データを充実させることで資料情報をより詳細なものにする。また、資料種別等の分類から階層的に画像を探せるようにした。また、翻刻文をテキスト検索できるようにした。 Musethequeの田岡典夫文庫目録については、3月末時点で総数4693点のうち3576点の目録を作成した(総数については今後の作業の中で増える可能性あり)。	【成果】 (市) ○ ・寺田正写真文庫の被写体内容や地域などを入力し、検索をやすくなった。 ・収蔵品検索データベース「図書館のおすすめ」を更新。 「ようこそ！貴重資料の世界へ」 43点 (県) 【デジタル・ギャラリーの改修】：○ ページビュー数は前年同期と比較しても大きく伸びている。 <2020年4月～7月のデジタル・ギャラリーのページビュー数> 4月：1633、5月：4330、6月：2079、7月：1568 <2021年4月～7月のデジタル・ギャラリーのページビュー数> 4月：6483、5月：2800、6月：5932、7月：5682 【貴重資料の目録整備】：○ 田岡典夫文庫の目録作成は終了し、Musetheque公開に向けて準備中である。目録作成終了時の 【課題】 (県) 【貴重資料の目録整備】 未整理資料中に田岡典夫文庫資料の一部が混在していることがわかった。	【成果】 (市) ○ 未整理資料の登録。 (県) 【南路志・憲章簿のデジタル公開】 賤称語を含むデジタル化資料の取り扱いについて、有識者等もまじえて協議を行う。 【貴重資料の目録整備】 田岡典夫文庫の目録公開。 田中貢太郎文庫目録作成完了後の計画策定。 新たに確認された田岡典夫文庫資料の一部について、燻蒸等の処理をおこない、作成済みの目録に追加する。	【成果】 (県) ○ デジタル・ギャラリーに関しては、徐々に利用される件数も増加してきており、コンテナの充実や利用しやすい環境の整備という点では一定の成果を上げられたのではないかと思われる。 【課題】 (県) 歴史的資料には差別的な表現を含む資料が多数あり、デジタル化を推し進めるほどにこうした資料の取り扱いが大きな問題となって浮上する。また被差別部落をめぐる問題はその地域ごとに様相が異なるものであり、一筋縄に対応できるものでもない。他県において何度も議論が重ねたうえで慎重に公開を決定したところがあるように、当県においてもそうした姿勢が今後必要になると思われる。
資料の展示	実物資料や解説パネルを中心に資料展示室で展示を行い、貴重な資料を閲覧できるようにします。	【取組】 ①昭和の博覧会と肖像写真 (1/11～4/17) ②濱口雄幸と野村茂久馬 (5/12～7/15) ※展示解説…6/6 (1名) ・6/20 (4名) ・7/4 (5名) ③中城文庫展 (7/21～9/22) ※展示解説…8/2 (5名) ・8/9 (5名) ・8/16 (4名) ・8/30 (6名) ④三丁目の夕日の頃の高知 - 清岡義道写真文庫展 - (9/29～12/27) ※展示解説…10/3(19名) ・10/11(6名) ・10/31(9名) ・11/8(6名) ・11/21(3名) ・12/19(3名) ⑤「装いと粧いー眠りから覚めた愛おしきものたちー」 (1/9～4/18) ※展示解説…2/21 (5名) ・3/14 (5名)	【成果】 ○ 展示によって両図書館の貴重かつ多彩な資料の保存活動の啓発にもなった。 (入室者数) ①昭和の博覧会と肖像写真 942人(会期60日) ②濱口雄幸と野村茂久馬 617人(会期54日) ③中城文庫展 755人(会期56日) ④三丁目の夕日の頃の高知 - 清岡義道写真文庫展 - 2,463人(会期76日) ⑤装いと粧いー眠りから覚めた愛おしきものたち - 2,037人(会期59日) ※会期は3/31までの日数による 【課題】 コロナ禍の影響などにより、利用者数が減少傾向 企画展開催により、労力が大幅に割かれる	常設展を検討する。 ウェブサイトの収蔵品検索データベースへの画像登録を進めるとともに、図書館のおすすめコーナーを積極活用する。	【取組】 ①「装いと粧いー眠りから覚めた愛おしきものたちー」 (1/9～4/18) ※展示解説…2/21 (5名) ・3/14 (5名) ②「高知県神社明細帳と土佐の式内社」 (4/27～7/18) ※展示解説…4/29・5/5・5/22・6/5・6/20・7/3・7/18 (計48名) ③「ようこそ！貴重資料の世界へ」 (7/31～9/30) 内容は、常設展を視野に入れたパネル展示 ※展示解説…8/6 (3名)	【成果】 ○ (入室者数) ①「装いと粧いー眠りから覚めた愛おしきものたちー」 2380人(会期77日) ②「高知県神社明細帳と土佐の式内社」 1114人(会期72日) ③ようこそ！貴重資料の世界へ 509人(会期24日) ①は、読売新聞・毎日新聞・テレビ高知・NHK高知放送局(テレビ)・NHK高知放送局より取材があった。 ②は、高知新聞・毎日新聞・中外日報より取材があった。 【課題】 展示室の展示ケース内において、有機物質が発生している可能性があり資料に対して悪影響を与えているかもしれない。また、展示ケース内には調湿材が設置されていないことがわかり、資料に対して好ましくない環境である。	【成果】 ○ 多くのの方に展示を見ていただき、またレファレンスや自己学習に繋がったものもあった。 【課題】 企画展に労力がかなり過ぎていたので、これまで年4回展示をおこなっていたものを年3回の展示とする。そのうちの1回は県市所蔵の貴重資料のパネルを展示する常設展示とし、あとの2回を県市それぞれが担当する企画展としたい。
レファレンス回答結果の提供	高知県に関する質問への回答(図書等を使って行った回答)を当館のホームページやレファレンス協同データベース」に登録し、閲覧できるようにします。	公開のための書式を各サービスで統一し、高知資料では自館登録分に対してその書式に即した修正を行った。 【課題】 ・自館登録から一般公開にいたるまでの内部決裁のスピード化	書式の修正が追いつかず一般公開までいたらなかったが、今後は過去分について一般公開を進めていくとともに、新規分の自館登録も蓄積していく。	公開のための書式を各サービスで統一し、高知資料では自館登録分に対してその書式に即した修正を行った。	【成果】 × 一般公開にいたっていない。内部決裁が滞っている。 【課題】 ・自館登録から一般公開にいたるまでの内部決裁のスピード化	【成果】 △ 一般公開となっているものは限られている。 【課題】 公開に向けての準備は進んでいる。今後はコンスタントに公開できるようになるとみられる。	

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
県や市町村等の情報発信にも寄与できた。 図書館の取り組みについて県や市町村等にも一定認知された結果、行政資料の所蔵数、種類とも確実に充実してきている。 高知に関するレファレンスに多数対応することで、当館が標榜する課題解決型図書館としての役割の一部を果たした。	

(1)レファレンス・サービス

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）		【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）		【取組の成果と課題】(Check)	
	成果	冒頭に達成状況を○△×で	課題	成果	冒頭に達成状況を○△×で	課題	
資料 利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供	調べものにも対応できるように、一般図書は国内年間出版点数の5割以上を目指して収集します(再掲)。		1 地域を支える情報拠点 (1) 資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)のサービス取組内容 「資料」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「資料」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービスのサービス取組内容等 「資料」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (1) 児童サービスのサービス取組内容等 「資料」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (2) ティーンズ・サービスのサービス取組内容等 「資料」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (3) 多文化サービスのサービス取組内容等 「資料」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (4) 図書館利用に障害のある人へのサービスのサービス取組内容等 「資料」を参照				
ブックリストやパスファインダーの作成・提供	資料を探す際に役立つブックリストやパスファインダーを作成し、館内や図書館ホームページ上で提供します(再掲)。		2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービスのサービス取組内容等 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (2) ティーンズ・サービスのサービス取組内容等 「利用ガイド → パスファインダーの作成・提供」を参照 4 連携・支援及び図書館の活用 (3) 県立学校図書館等との連携・協力(県立図書館機能)のサービス取組内容等 「協力 → ブックリストやパスファインダーの作成・提供」を参照				【成果】 【課題】
レファレンス事例の公開	図書館に来館しなくても、インターネットを通じて課題を解決できるように当館のホームページや「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例を登録します。特に、高知県関係については積極的に公開します。		1 地域を支える情報拠点 (2) 高知県関係資料の収集・保存・提供のサービス取組内容等 「提供→レファレンス回答結果の提供」を参照		※以下に再掲		【成果】 【課題】
	2) 高知県関係資料の収集・保存・提供	公開のための書式を各サービスで統一し、高知資料では自館登録分に対してその書式に即した修正を行った。	【成果】 △ 公開に向けて準備中である。 【課題】 公開にまだ取り付けていない。	書式の修正が追いつかず一般公開までいかなかったが、今後は過去分について一般公開を進めていくとともに、新規分の自館登録も蓄積していく。	公開のための書式を各サービスで統一し、高知資料では自館登録分に対してその書式に即した修正を行った。	【成果】 △ 公開に向けて準備中である。 【課題】 公開にまだ取り付けていない。	今後の取組 ・データベースへの登録を進める ・公開に向けての準備 【成果】 △ 一般公開となっているものは限られている。 【課題】 公開に向けての準備は進んでいる。今後はコンスタントに公開できるようになるとみられる。
ホームページ等によるレファレンスの受付	より気軽に質問等していただけるように、来館や電話、FAX、メール、郵便での受付に加え、当館のホームページにレファレンス専用フォームを設け、受け付けます。		1 地域を支える情報拠点 (2) 高知県関係資料の収集・保存・提供のサービス取組内容等 「提供→資料の提供」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「レファレンス→レファレンス・サービス」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービスのサービス取組内容等 「レファレンス→レファレンス・サービス」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (4) 行政支援サービスのサービス取組内容等 「資料」を参照		※以下に再掲		【成果】 【課題】
利用ガイド	高知県関係資料		【成果】 ○ 行政支援のレファレンスや番組制作に係るレファレンスなど、多岐にわたる依頼あり。当館のレファレンス・サービスの浸透を感じる。 【課題】 レファレンス対応における職員のスキルが不足している。	・スキルアップ資料の作成を引き続き行うとともに、定期的に職員に対する研修を実施する。 ・レファレンス協同データベースへの事例登録を進め、情報の蓄積を行うとともに、調査時間の短縮を図る。	【成果】 ○ レファレンス件数が増加してきており、サービスの浸透を感じる。 ・担当職員に一定のスキルがついてきた。 【課題】 ・レファレンス内容の細分化および多様化により、回答にいたらない事例が増えている。	今後の取組 ・スキルアップ資料の作成を引き続き行うとともに、定期的に職員に対する研修を実施する。 ・レファレンス協同データベースへの事例登録を進め、情報の蓄積を行うとともに、調査時間の短縮を図る。 【成果】 ○ 高知の図書館として、高知に関するレファレンスに多数対応することで、県内外に当館のことをPRできた。また、当館が標榜する課題解決型図書館としての役割の一部を、多くのレファレンス対応によって果たした。 【課題】 ・職員のさらなるスキルアップ ・他のサービス担当との協力・支援体制の充実	
		事項	1,019 件		事項	526 件	
		所蔵	2,711 件		所蔵	1,116 件	
		郵送複写	88 件		郵送複写	25 件	
			2,218 枚			907 枚	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度 令和3年度4月以降				令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日				令和3年度 令和3年度9月以降				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check)				【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check)				
	成果	冒頭に達成状況を○△×で			課題	成果	冒頭に達成状況を○△×で			課題	成果	冒頭に達成状況を○△×で			課題		
利用ガイド	ビジネス・農業・産業支援	受付	事項	548件	【成果】 ○ グループウェアを活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。その結果、一定水準の回答を利用者に提供することができている。 ・土佐MBA専科に参加された方が後日レファレンスサービスを利用した。	【課題】 ・レファレンス協同データベースへの登録について、記載ルールが整理されたが、(レファレンス担当)まだ公開できていない。 ・レファレンスの回答を早められないかという要望がきている。 ・昨年度よりもレファレンス数が減少している。	【成果】 ・速やかにレファレンス事例を登録・公開していく。 ・レファレンス統計を抜かなく記録し、数だけでなく回答の精度やスピードを向上させていく。	【課題】 ・図書館PRを実施した連携団体や参加者、またその団体間で紹介を受けた利用者からのレファレンスがあり、随時対応している。	【成果】 ○ グループウェアを活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。その結果、一定水準の回答を利用者に提供することができている。	【課題】 ・レファレンス協同データベースへの登録について、登録は進んでいるが、まだ公開できていない。 ・レファレンスの回答を早められないかという要望がきている。 ・昨年度よりもレファレンス数が減少している。	【成果】 ○ グループウェアを活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。その結果、一定水準の回答を利用者に提供することができている。	【課題】 ・レファレンス協同データベースへの登録について、登録は進んでいるが、まだ公開できていない。 ・レファレンスの回答を早められないかという要望がきている。 ・昨年度よりもレファレンス数が減少している。	【成果】 ○ グループウェアを活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査し、一定水準の回答を利用者に提供することができる。	【課題】 ・レファレンス協同データベースへの登録について、登録は進んでいるが、まだ公開できていない。 ・レファレンスの回答を早められるように、決裁方法の見直し等を図る必要がある。			
	健康・安心・防災	受付	事項	554件	【成果】 ○ 3階総合窓口で所蔵検索や書架の案内等、クイックレファレンスへの対応を行った。 ・グループウェア(ガルーン)を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。	【課題】 ・レファレンス協同データベースへの事例登録・公開が遅れている。	【成果】 ・マニュアルに沿って、速やかに事例を登録・公開していく。	【課題】 ・図書館PRを実施した連携団体や参加者、またその団体間で紹介を受けた利用者からのレファレンスがあり、随時対応している。 ・レファレンス協同データベースへ、事例の登録作業を進めている。	【成果】 ○ 行政機関からのレファレンス依頼が増えた。 ・3階総合窓口で所蔵検索や書架の案内等、クイックレファレンスへの対応を行った。 ・グループウェア(ガルーン)を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査できた。 ・複数の司書の検索ツール・検索方法が共有され、他の司書は回答と合わせて検索方法を知ることができた。	【課題】 ・図書館同士の事例共有のため、レファレンス協同データベースへの事例登録・公開が必要である。 ・レファレンス・サービスの認知度が低く、利用促進のための広報が必要である。	【成果】 ○ 行政機関からのレファレンス依頼が増えた。 ・3階総合窓口で所蔵検索や書架の案内等、クイックレファレンスへの対応を行った。 ・グループウェア(ガルーン)を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査できた。 ・複数の司書の検索ツール・検索方法が共有され、他の司書は回答と合わせて検索方法を知ることができた。	【課題】 ・図書館同士の事例共有のため、レファレンス協同データベースへの事例登録・公開が必要である。 ・レファレンス・サービスの認知度が低く、利用促進のための広報が必要である。					
	行政支援	【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの機会を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメインの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・サービスの具体例を紹介。 ・高知県移行促進課の協力を得て、オーテピア高知図書館活用事例まんがを制作。	【成果】 ○ 月に数回程度、行政職員によるレファレンス依頼がある。回答後、お礼メール等の返信がある場合もある。 ・県移行促進課と連携して図書館活用事例まんがを制作することで、効果的にレファレンスサービスをPRすることができた。	【課題】 ・今後も継続してレファレンス・サービスの周知や情報発信を行っていく必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員からのレファレンスに特化したメールアドレス開設などを検討する必要がある。	【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの機会を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメインの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・サービスの具体例を紹介。 ・高知県移行促進課の協力を得て制作したオーテピア高知図書館活用事例まんがを活用してのレファレンス・サービス紹介	【成果】 ○ 月に数回程度、行政職員によるレファレンス依頼がある。回答後、初めて使った方からも「大変実用的でまた活用したい」等の声もあり、各課の業務遂行に寄与できている。 ・県移行促進課と連携して図書館活用事例まんがを制作することで、効果的にレファレンスサービスをPRすることができた。	【課題】 ・今後も継続してレファレンス・サービスの周知や情報発信を行っていく必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員からのレファレンスに特化したメールアドレス開設などを検討する必要がある。	【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの機会を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメインの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・サービスの具体例を紹介。 ・高知県移行促進課の協力を得て制作したオーテピア高知図書館活用事例まんがを活用してのレファレンス・サービス紹介	【成果】 ○ 月に数回程度、行政職員によるレファレンス依頼がある。回答後、お礼メール等の返信があり、各課の業務遂行に寄与できている。 ・県移行促進課と連携して図書館活用事例まんがを制作することで、効果的にレファレンスサービスをPRすることができた。	【課題】 ・今後も継続してレファレンス・サービスの周知や情報発信を行っていく必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員からのレファレンスに特化したメールアドレス開設などを検討する必要がある。							

		令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
		令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日				
サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)		○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった		
		成果 冒頭に達成状況を○△×で		【今後の『取組』】(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)		【取組の成果と課題】(Check)				
		課題				【今後の『取組』】(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの				
P R	レファレンス・サービスのPR	当館のホームページ、ブログやフェイスブックなどのSNS、チラシ配布、ポスター掲示、出前図書館等により、積極的にPRします。		3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (2) ティーンズ・サービス 「PR → ブログ、SNSの活用」を参照		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)		【成果】 ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった		
	ティーンズ・サービス ブログ、SNSの活用	PR誌とあわせ、SNSの特徴をいかしたPRを行います。図書館利用者から委員を公募したり、協力者を募るなど、工夫しながら行います。	ブログ 2回掲載	Facebook 37回掲載	【成果】 ○ オーテピアティーンズ部では、図書館からの情報発信にティーンズ世代が参加することで、同世代からの共感や本への興味・関心が高まることが期待できる。部員から投稿された本の紹介を都度Facebookで発信した。(15件) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館中も、自宅で有効に活用できるような情報の発信(学生応援リンク集、青空文庫、レファレンス共同データベース、ボードゲームアリーナ(BGA))を積極的に行った。 【課題】 「オーテピアティーンズ部」部員については、今年度末で8名が卒業し、次年度は10名からスタートとなる。新規部員の獲得のため積極的な広報を行い、活動内容を充実させる必要がある。部員の増加や、積極的な投稿を促すような取り組みが必要。	【今後の『取組』】 「オーテピアティーンズ部」への参加促進と、かつ継続的な本の紹介、イラストの投稿をしてもらうように広報活動を展開していく。	ブログ 2回掲載	Facebook 11回掲載	【成果】 ○ オーテピアティーンズ部では、図書館からの情報発信にティーンズ世代が参加することで、同世代からの共感や本への興味・関心が高まることが期待できる。部員から投稿された本の紹介を都度Facebookで発信した。(7件(うち、1件は職員による紹介)) 高等学校図書館ブログにて、イベント案内やパスファインダーの紹介を行い、利用を促した。 【課題】 ティーンズ世代に親和性の高い新しいSNSの運用についても検討が必要。	【今後の『取組』】 ・他自治体の図書館のアカウントなど、SNSの運用方法について参考となる情報を収集する。
職員研修	接遇力の向上	コミュニケーション能力、傾聴力等の向上のため接遇研修を定期的に実施します。		1 地域を支える情報拠点 (1) 資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)のサービス取組内容 「職員研修→接遇研修」を参照				【成果】 ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった		
	調査能力の向上	レファレンス事例の共有、定期的な勉強会の実施、外部研修への参加等により、専門性を高めて調査能力の向上に努めます。	【これまでの取組状況】 館内司書が講師となって、分野別のレファレンス研修を5月～3月の間、延べ20回(10テーマ・同内容で2回ずつ開催)開催した。毎月第2・第4金曜日に同じ内容で実施し、いずれかを受講する方式としている。	【成果】 通通常の間館日に開催しているが、シフト上都合のよい日に出席すればよいと、第3金曜日の休館日には別の内容で全体研修が可能。	【今後の『取組』】 2年度末で分野別の研修はひととおり終了した。3年度からは、図書館の統計とサービス評価、出版流通の仕組み、図書館関係法令など新たなテーマで研修を実施する。	【これまでの取組状況】 令和3年度は「図書館の統計とサービス評価」「出版流通の仕組み等」「図書館関係法」についての研修を実施。	【成果】 研修内容ごとの知識を深めることができた。	【今後の『取組』】 引き続き、司書の専門性を向上させるための研修を実施する。	【成果】 ○ 開館翌年の11月から館内職員を講師とした研修を継続して実施しており、各分類の特性と資料、レファレンスツールについて、学ぶことができた。	

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
各項目の掲載元ページを参照	

2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援

(2)課題解決支援サービス

①ビジネス・農業・産業支援サービス

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降	令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で	
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	令和3年度4月1日～令和3年8月31日			
				【取組の成果と課題】(Check)	令和3年度9月以降		
資料 図書 の取 集・提供	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して行っている。 ・ビジネス支援選書リスト(ビジネス支援図書館推進協議会ビジネス支援選書研究会作成)を参考に、参考図書の購入を行った。 ・職業ガイドやITコーナーなど、開架書架に本が一杯で返本できなくなっている箇所について、計画的・重点的に書庫入れや揺り動かしを行った。 ・労働関係の古い本を大幅に書庫入れし、面出しを増やした。また労働関係資料を紹介するMAPを設置した。 ・労働の棚付近に、アフターコロナやメンタルヘルス関係の資料を展示する常設コーナーを新たに設けた。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ・ビジネス関係の資料が充実してきた結果、マーケティングや経済・経営資料などビジネス書が充実しているとの声を複数いただくようになった。 ・面だしている労働関係の本が借りられることが多くなった。利用者にとって魅力的な書架に変わりつつある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考図書コーナーで貸出可資料を探す方が多い。 ・労働関係資料を紹介するMAPの情報量がまだ不十分。 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用者にとって利用しやすい環境づくりに取り組んでいく。 ・参考図書コーナーであることをわかりやすく知らせるような工夫を検討中。 ・労働関係資料を紹介するMAPを改定する。 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して行っている。 ・書架に本が詰まっている箇所(3類や5類、職業ガイド等)の書架の揺り動かしや書庫入れを行った。 ・労働関係資料を紹介するMAPの改訂作業中。 ・科学館と協力し、科学に関するMAP作成を検討中。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ・本の揺り動かしや書庫入れを行ったことで書架にゆとりができ、利用者にとって手にとりやすい書架になった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考図書コーナーで貸出可資料を探す方が多く、何らかのサインが必要。 ・労働関係資料を紹介するMAPの情報量がまだ不十分。 ・観光関連の図書が古いものが多い。 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して行っている。 ・参考図書コーナーであることをわかりやすく知らせるような工夫を引き続き検討する。 ・労働関係資料を紹介するMAP改訂版を完成させる。 ・現在はコロナ禍で低迷しているが、大阪万博などに向けて、インバウンドやバリアフリー観光など今後、旅館やホテル業界の方にも役立つ資料を積極的に収集をする。 	<p>○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった</p> <p>【成果】○ ・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、書庫入れ、展示、面だし等を継続的に実施してきたことで、マーケティングや経済・経営資料などビジネス書が充実しているとの声を複数いただくようになった。</p> <p>【課題】 ・内容によって複数の書架に配架されている本を探す際に役立つマップ等の作成が不十分。 ・参考図書コーナーで貸出可資料を探す方が多く、何らかのサインが必要。</p>
雑誌・新聞 の取 集・提供	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの要望やレファレンス、利用者アンケートを参考に必要と判断した雑誌を購入した。 ・利用の少ない雑誌について他担当と合同で紹介展示を行った。 ・寄贈希望のあった新聞や雑誌の受け入れを検討した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ・利用者にとってニーズのある資料の収集・選書ができています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な雑誌、新聞の周知や利用率の向上。 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の所蔵状況の周知方法を検討し、さらなる利用の促進につなげていく。 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの要望やレファレンス、利用者アンケートを参考に必要と判断した雑誌を購入した。 ・利用の少ない雑誌について他担当と合同で紹介展示を行った(6/1-6/30 2階展示E)。 ・寄贈希望のあった新聞や雑誌の受け入れを検討した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> △ ・利用者にとってニーズのある資料の収集・選書ができています。 ・それまで利用がなかった3階の雑誌も、展示をしたことをきっかけに貸出されるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な新聞の周知や利用率の向上。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ・利用者にとってニーズのある資料の収集・選書ができています。また、展示などを通して、所蔵資料の利用促進につながる取り組みを行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な雑誌、新聞の所蔵の周知や利用率の向上が必要。周知方法を検討し、さらなる利用の促進につなげていく。 	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)					【取組の成果と課題】(Check)	
		成果 冒頭に達成状況を○△×で		課題		成果 冒頭に達成状況を○△×で					課題	
データベースの導入・提供	新聞記事や情報、農業情報、商圏分析、企業情報、市場動向等を調査可能なデータベースを導入し、提供します。	データベース利用件数	高知新聞 983 件 その他 1,448 件	【成果】○ ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」に参加された受講者の方から、ビジネスに役立つデータベースを知れて良かったという声が多く寄せられた。また、後日データベースを利用しに来館された方もいた。	【課題】 ・動画等も活用し、ビジネス関連の役立つデータベースをPRしていく。 ・日本農業新聞データベースの周知を図る。	データベース利用件数	高知新聞 455 件 その他 631 件	【成果】○ ・「日経BP記事検索サービス」を導入。 ・8/6、8/17 データベース講習会「高校生ビジネスプラン・グランプリ」×「MieNa」(講師:オンライン参加、受講者:オフライン参加)を実施。	【課題】 ・新規導入したデータベース「日経BP記事検索サービス」や、利用頻度の低いデータベース「日本農業新聞データベース」の周知が必要。 ・オンラインなどの小規模なデータベース講習会を行っていく必要あり。	【成果】○ ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」(R4.2/4.2/5)にてビジネス関係のデータベース関係のデータベース紹介、演習を実施予定。 ・R3年度内 データベース講習会「日本農業新聞データベース」実施予定 ・データベースミニ講座の実施予定 R4年度以降データベース講習会を予定 ・データベース講習会「高校生ビジネスプラン・グランプリ」×「MieNa」 ・データベース講習会「日本農業新聞データベース」 ・データベース講習会「日経BP記事検索サービス」&「朝日新聞クロスサーチ」	【成果】○ ・データベースを常時20種類以上提供することで、情報を求める利用者の利便性が向上した。 ・データベース講習会を年に複数回実施することで、利用者の情報リテラシー能力の向上に寄与した。	【課題】 ・データベース認知度および利用度の向上に取り組む必要がある。(R3.2実施の利用満足度調査では全体の48.9%が「利用したことがない・分からない」と回答) ・データベース講習会の開催にあたっては、参加者の習得レベルに合わせて実施する必要がある。
チラシやパンフレットなどの収集・提供	図書や雑誌、新聞、データベースでは得られない情報を中心に、各種ビジネスに関するチラシやパンフレットなどを収集し、提供します。	【取組】 ・市役所や県庁、連携機関へ随時、チラシ・パンフレットの寄贈についての依頼を継続。 ・県庁・市役所職員向けのメルマガ(vol.17)で行政資料収集についてのPRも行った。また、8月の県の執務環境改善強化月間にあわせて行政資料寄贈の依頼を行った。	【成果】○ ・収集・提供できている。	【課題】 ・各団体のペーパーレス化に伴い、これまで当館へ寄贈されていた紙資料の送付/受け入れが止まっているものがある。	デジタル資料の収集方法について検討する。	【取組】 ・市役所や県庁、連携機関へ随時、チラシ・パンフレットの寄贈についての依頼を継続している。 ・県庁・市役所職員向けのメルマガ(vol.28)でチラシやパンフレットなどの収集についてPRした。 ・職業ガイドコーナー付近に設置していた就職関連のチラシを配架していたチラシ架を移動し、ビジネス関連のチラシ配架場所を1か所にまとめた。 ・映画「竜とそばかすの姫」の館内配布用パンフレットが当館に届いていなかったため、県コンベンション協会に依頼し、2階、3階で配布した。 ・ペーパーレス資料の収集については、検討の結果、ビジネス担当としては、定期的に関係各課や連携機関のウェブ・サイトや館外に設置しているチラシ架を確認する等により情報収集に努め、適宜、紙資料による収集・登録を行うこととした。 ・関係課からの依頼により、企業説明会等の等のチラシを継続して配架。	【成果】○ ・利用者にとってニーズに沿った収集・提供ができている。 ・チラシ架の配置を変更することで、ビジネス関連のチラシが目につきやすくなった。 ・「竜とそばかすの姫」のパンフレットのはげはよく、利用者のニーズに沿った収集・提供を行うことができた。	【課題】 ・チラシ架内でのチラシの置き方が曖昧。	【成果】○ ・利用者にとってニーズに沿った収集・提供ができている。	【課題】 ・継続した資料収集の仕組み		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年度			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		令和3年度4月1日～令和3年8月31日			
	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		令和3年度9月以降			
視聴覚資料の収集・提供	ビジネスや農業に役立つ動画等の視聴覚資料を積極的に収集し、提供します。	【取組】 ・放送大学側から提案のあったインターネットによる講義配信サービスの提供切り替えの実施について検討中。 ・視聴覚担当と連携し、定期的にビジネス担当が選書に携わることができるようカタログを共有。選書・購入を行った。	【成果】 ○ ・令和2年度放送大学DVD利用は24件。利用は比較的少ないが、放送大学と連携することで利用者へのニーズに一定こたえることができている。 【課題】 ・ビジネスや農業に役立つCD・DVDがあることを、今後も利用者に一層周知していく必要がある。	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組…廃止理由も(例:ニーズがない)	【取組】 ・放送大学教材のインターネット配信への切り替えの実施について、引き続き協議している。 ・視聴覚担当と連携し、ビジネス分野における視聴覚資料の選書を実施。	【成果】 ○ ・利用は比較的少ないが、放送大学と連携することで利用者へのニーズに一定こたえることができている。 【課題】 ・ビジネスや農業に役立つCD・DVDがあることを、今後も利用者に一層周知していく必要がある。 ・放送大学教材のインターネット配信への切り替え実施への対応。	今後の取組 ・今後も利用者のニーズに沿った視聴覚資料の選書・収集を行う。 ・放送大学教材のインターネット配信への切り替えの実施について、引き続き協議していく。 ・農業分野の視聴覚資料への誘導サインを作成する。	○…できた・概ねできた △…一部できた ×…できなかった
ブックリストやパスファインダーの作成・提供	文献を調べたり、調査を自ら進めることができるように、わかりやすいブックリストやパスファインダーを作成し、提供します。また、図書館のホームページなどにも掲載します。	ブックリスト 新規15 改訂1 合計26 種	【成果】 ○ ・他サービス担当とも情報共有しながら効率的に作成を進めており、よりニーズに沿った内容となった。 【課題】 ・パスファインダーは作成に時間がかかため種類が少ない。	・利用者からのニーズが高い内容を優先し、また、特定の分野に偏りすぎないように考慮しつつ、連携機関の協力を得て長期的に作成に取り組む。	ブックリスト 既存26 改訂0 新規4 種	【成果】 ○ ・高知県労働委員会事務局と連携して作成したブックリストは、実際に相談の多い内容を基に作成しているため、利用者へのニーズに沿った内容のリストを作成することができている。配布しているブックリストを持って図書館へ来館される方もおり、連携機関、図書館、利用者にとってメリットのある連携となっている。 【課題】 ・分野が労働関係に偏っている(農業、科学、IT分野のブックリストほぼなし)	今後の取組 ・パスファインダーやブックリストの作成については、利用者からのニーズが高い内容を優先し、また、特定の分野に偏りすぎないように考慮しつつ、農業や科学、IT等の分野についても、連携機関の協力を得ながら、長期的に作成に取り組む。	○…定期的にブックリストの作成を行い、連携各所で配布することで、利用者にとって必要な情報にたどり着きやすくなった。 ・高知県労働委員会事務局と連携してブックリストを作成した取組み等により、R元年度に労働委員会事務局が知事賞を受賞した。 【課題】 ・パスファインダーは作成に時間がかかり、ニーズに十分対応できていない。
利用ガイド		パスファインダー 新規2 改訂2 合計4 種			パスファインダー 既存4 改訂1 新規0 種			

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)		令和3年度4月1日～令和3年8月31日			令和3年度9月以降	
								【取組の成果と課題】(Check)			【取組の成果と課題】(Check)	
		成果	課題	成果	課題	成果	課題	成果	課題	成果	課題	
レファレンスサービス	ビジネス・農業・産業支援スペースに専用窓口を設け、担当司書が、図書館資料を活用し、調べものをサポートします。	事項	548 件	【成果】 ○ ・グループウェアを活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。その結果、一定水準の回答を利用者に提供することができている。 ・土佐MBA専科に参加された方が後日レファレンスサービスを利用した。	【課題】 ○ ・グループウェアを活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。その結果、一定水準の回答を利用者に提供することができている。 ・土佐MBA専科に参加された方が後日レファレンスサービスを利用した。	事項	365 件	【成果】 ○ ・グループウェアを活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。また、過去に受けたビジネス分野のレファレンスをレファレンス協同データベースに公開(自館のみ公開の状態まで)できたことにより、分館・分室職員間にもレファレンス事例の共有することができた。その結果、一定水準の回答を利用者に提供することができている。	【課題】 ○ ・レファレンス協同データベースへの自館のみ公開での登録については登録作業が進んでいる一方、一般公開での登録については、記述・体裁が担当毎にばらつきがあることにより、公開には至っていない。 ・レファレンスの回答を早められるように、決裁方法の見直し等を図る必要がある。	【成果】 ○ ・グループウェアを活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査し、一定水準の回答を利用者に提供することができている。 ・図書館活用講座の実施や連携の深化等により、関係機関からの紹介でビジネス支援デスクを訪ねてくる方が増えた。	【課題】 ○ ・レファレンス協同データベースへの自館のみ公開での登録については登録作業が進んでいる一方、一般公開での登録については、記述・体裁が担当毎にばらつきがあることにより、公開には至っていない。 ・レファレンスの回答を早められるように、決裁方法の見直し等を図る必要がある。	
		所蔵	1251 件	【課題】 ○ ・レファレンス協同データベースへの登録について、記載ルールが整理されていない。 ・レファレンスの回答を早められないかという要望がきている。 ・昨年度よりもレファレンス数が減少している。	【課題】 ○ ・レファレンス協同データベースへの自館のみ公開での登録については登録作業が進んでいる一方、一般公開での登録については、記述・体裁が担当毎にばらつきがあることにより、公開には至っていない。 ・レファレンスの回答を早められるように、決裁方法の見直し等を図る必要がある。			【課題】 ○ ・レファレンス協同データベースへの自館のみ公開での登録については登録作業が進んでいる一方、一般公開での登録については、記述・体裁が担当毎にばらつきがあることにより、公開には至っていない。 ・レファレンスの回答を早められるように、決裁方法の見直し等を図る必要がある。	【課題】 ○ ・レファレンス協同データベースへの自館のみ公開での登録については登録作業が進んでいる一方、一般公開での登録については、記述・体裁が担当毎にばらつきがあることにより、公開には至っていない。 ・レファレンスの回答を早められるように、決裁方法の見直し等を図る必要がある。	【課題】 ○ ・レファレンス協同データベースへの自館のみ公開での登録については登録作業が進んでいる一方、一般公開での登録については、記述・体裁が担当毎にばらつきがあることにより、公開には至っていない。 ・レファレンスの回答を早められるように、決裁方法の見直し等を図る必要がある。	【課題】 ○ ・レファレンス協同データベースへの自館のみ公開での登録については登録作業が進んでいる一方、一般公開での登録については、記述・体裁が担当毎にばらつきがあることにより、公開には至っていない。 ・レファレンスの回答を早められるように、決裁方法の見直し等を図る必要がある。	
課題解決に向けた専門機関や団体等の紹介	図書館の資料と情報だけでは、解決が難しい課題については、専門機関や団体等を紹介するレフェラル・サービスを実施します。その後も各機関と連携を図りながら、課題の解決に向けて支援します。	レフェラル件数	ビジネス	15 件	【成果】 ○ ・県内の公的な専門機関については概ね把握しているので、相談内容に応じて適切な専門機関を紹介することができている。 ・図書館がレフェラル・サービスを提供していることについて、関係機関への周知をより一層進める。	レフェラル件数	ビジネス	3 件	【成果】 ○ ・年度当初に産業振興センターや産学官民連携センターなど代表的なビジネス支援機関への訪問や図書館活用講座を開催し、継続した協力を依頼することができた。 ・相談内容に応じて適切な専門機関を紹介することができている。 ・図書館がレフェラル・サービスを提供していることについて、専門機関への周知をより一層進める。	【成果】 ○ ・代表的な専門機関の把握が進み、必要に応じて利用者に紹介ができるようになった。 専門機関への周知をより一層進める	【課題】 ○ ・代表的な専門機関の把握が進み、必要に応じて利用者に紹介ができるようになった。 専門機関への周知をより一層進める	【課題】 ○ ・代表的な専門機関の把握が進み、必要に応じて利用者に紹介ができるようになった。 専門機関への周知をより一層進める

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で				
		令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降	令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降			
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)			
他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施	専門機関等と連携し、相談会等を開催します。	毎月第二土曜日 若者進路相談会	8 回実施	【成果】○ ・若者進路相談会では、34名の相談があった。気軽に利用できる施設という図書館の強みを活かし、専門機関と連携して若者の自立支援を行ったことにより、相談者の就労に貢献した。(相談者のうち1名はサポートステーションに登録し、就労につながった) 【課題】 ・相談会も含め、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していたセミナーやイベントの開催予定日について再検討を余儀なくされている。	・相談会等のイベントについて、引き続き、コロナ禍においても、可能な範囲で開催していく。	毎月第二土曜日 若者進路相談会	5 回実施	【成果】○ 若者進路相談会で、9名の相談があった。気軽に利用できる施設という図書館の強みを生かし、専門機関と連携して若者の自立支援を行ったことにより、相談者の就労に貢献した。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響と推測されるが、相談件数が落ち込んでいる。 ・開催予定であったセミナーやワークショップ等、実施の中止、見送りが続いている。	今後の取組 ・引き続き、可能な範囲でセミナーや相談会を開催する。	【成果】○ オーテピアで進路相談ができることが定着し、相談者の就労に貢献することができた。知財に関する相談会など、単発の相談会も開催した。開館年度には共催事業として相談会も実施し、ビジネスマッチングに寄与した。 【課題】 コロナ禍での相談会やセミナー等の実施。
	若者進路相談会(8/15、9/12、10/10、11/14、12/12、1/9、2/13、3/13) ・土佐山アカデミーと連携して年度内に開催予定だった科学分野のワークショップは、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、7月開催に改めた。	【取組】 ・収蔵品検索データベースにて図書館おすすめデジタル化資料を随時紹介している。 ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に、図書館活用事例を盛り込んだ。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、ビジネスプラングランプリの主催者である日本政策金融公庫の担当者と、図書館との連携についての協議を行った。	【成果】○ ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に図書館活用事例を盛り込んだことで、より具体的に図書館活用方法について申請者にPRすることができた。また、応募事例のブラッシュアップの依頼にも対応した。 【課題】 ・商品価値を高めるための図書館資料の活用をさらに促進していく必要がある。	・引き続き、産業振興センターと連携し、既存製品の付加価値向上に向けて取り組む。 ・ビジネスプラングランプリなどの連携機関が実施する事業とも、地場産業大賞と同様な形での取組みができないか検討する。	【取組】 ・収蔵品検索データベースにて図書館おすすめデジタル化資料を随時紹介している。 ・8/6、8/17 データベース講習会「高校生ビジネスプラン・グランプリ」×「MieNa」(オンライン)を実施。 ・土曜夜市にて、当館のデジタル化資料を活用した景品を配布。デジタル化資料活用のPRにつながった。 ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に、図書館活用事例を盛り込んだ。	【成果】△ ・高知県地場産業大賞申請書の記載例にR3年度も図書館活用事例を盛り込んだことで、より具体的に図書館活用方法について申請者にPRすることができた。 ・R3年度は試行的にはあるがデータベース講習会を主に教職員向けに開催したことで、ビジネスプラン作成に役立つ図書館活用方法を学校関係者に知っていただけた。 ・土曜夜市でデジタル化資料を活用した景品を配布することで、デジタル化資料の活用につながるきっかけを提供することができた。 【課題】 ・商品価値を高めるための図書館資料のさらなる活用の促進。	今後の取組 ・ものづくり総合技術展にて、デジタル化資料の活用についてのPRを検討する。	【成果】△ 県市の貴重資料担当とともに貴重資料の商用利用についての活用検討や周知を行ったことにより、活用事例は少ないものの双六等の製品制作につながった。 【課題】 商用利用についての活用検討や周知		
商品の価値を高めるための図書館資料の提供	図書館の歴史的資料等、幅広い図書館資料を活用し、商品の付加価値を高め、ブランド化、コトづくりを支援します	【取組】 ・収蔵品検索データベースにて図書館おすすめデジタル化資料を随時紹介している。 ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に、図書館活用事例を盛り込んだ。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、ビジネスプラングランプリの主催者である日本政策金融公庫の担当者と、図書館との連携についての協議を行った。	【成果】○ ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に図書館活用事例を盛り込んだことで、より具体的に図書館活用方法について申請者にPRすることができた。また、応募事例のブラッシュアップの依頼にも対応した。 【課題】 ・商品価値を高めるための図書館資料の活用をさらに促進していく必要がある。	・引き続き、産業振興センターと連携し、既存製品の付加価値向上に向けて取り組む。 ・ビジネスプラングランプリなどの連携機関が実施する事業とも、地場産業大賞と同様な形での取組みができないか検討する。	【取組】 ・収蔵品検索データベースにて図書館おすすめデジタル化資料を随時紹介している。 ・8/6、8/17 データベース講習会「高校生ビジネスプラン・グランプリ」×「MieNa」(オンライン)を実施。 ・土曜夜市にて、当館のデジタル化資料を活用した景品を配布。デジタル化資料活用のPRにつながった。 ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に、図書館活用事例を盛り込んだ。	【成果】△ ・高知県地場産業大賞申請書の記載例にR3年度も図書館活用事例を盛り込んだことで、より具体的に図書館活用方法について申請者にPRすることができた。 ・R3年度は試行的にはあるがデータベース講習会を主に教職員向けに開催したことで、ビジネスプラン作成に役立つ図書館活用方法を学校関係者に知っていただけた。 ・土曜夜市でデジタル化資料を活用した景品を配布することで、デジタル化資料の活用につながるきっかけを提供することができた。 【課題】 ・商品価値を高めるための図書館資料のさらなる活用の促進。	今後の取組 ・ものづくり総合技術展にて、デジタル化資料の活用についてのPRを検討する。	【成果】△ 県市の貴重資料担当とともに貴重資料の商用利用についての活用検討や周知を行ったことにより、活用事例は少ないものの双六等の製品制作につながった。 【課題】 商用利用についての活用検討や周知		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で			
		令和2年4月1日～令和3年3月31日	令和3年度4月以降	令和3年4月1日～令和3年8月31日	令和3年度9月以降				
連携	広報支援 施設の使用基準に基づき、館内での県内企業の製品展示を実施し、企業・団体の活動を支援します。	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった			
		成果 冒頭に達成状況を○△×で	課題	成果 冒頭に達成状況を○△×で	課題				
		<p>・高知の企業が続々開発！新型コロナウイルス対策グッズ展(5/12～6/14 共同楽習スペース)</p> <p>・高知県リサイクル製品等認定制度パネル展 県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRに寄与(6/4～6/9 共同楽習スペース)</p> <p>・こうちのohana満開プロジェクト:市農林水産課と連携し、花き需要拡大を目的とした展示を実施(6/26～11/27 共同楽習スペース、1階休憩コーナー)</p> <p>・森林率日本一の高知家で木と生きる:県森づくり推進課と連携し、森林ボランティアの紹介パネル等を展示(8/14～9/2 1階休憩コーナー)</p> <p>・放送大学で人生を愉しむ力を:放送大学と連携し、放送大学テキスト等を展示(7/1～8/8 3階展示の本棚)</p> <p>・男女共同参画図書企画展:市男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進のための展示を実施(8/13～9/30 2階展示の本棚)</p> <p>・市商工振興課が情報提供する「TSUNAGU～高知家の底子カラ～」高知県まとめサイト「高知家の○○」【高知家のテイクアウト・デリバリー情報】を当館Facebookで紹介。</p> <p>・森林保全ボランティア活動紹介パネル展:県林業環境政策課と連携し、森林保全ボランティアの活動を紹介(9/10～10/6 共同楽習スペース)</p> <p>・動物愛護の絵画展:県食品衛生課と連携し、絵画展を実施(10/8～11/3 共同楽習スペース)</p> <p>・個別労働相談・あっせん制度のPR、働き方改革パネル展:県労働委員会事務局と連携し、労働関係のパネル展を実施(10/15～10/28 1階休憩コーナー)</p> <p>・高知路面電車写真展:市くらし・交通安全課と連携し、路面電車の写真や関連グッズを展示し、スタンプラリーを行った(10/17～10/30 2階階段下2か所、3階バックヤード開架側ホワイトボード)</p> <p>・公共建築パネル展:県建築課と連携し、優れた県内の公共建築を紹介(10/29～11/10 1階休憩コーナー)</p> <p>・移動消費者の部屋:中国四国農政局と連携し、高知県の主要作物等を紹介(11/5～11/24 共同楽習スペース)</p> <p>・第11回高知国際版画トリエンナーレ展関連展示:県工業振興課と連携し、版画展と土佐和紙についてPR(12/1～12/25 共同楽習スペース)</p> <p>・こうち森林救援隊の活動:こうち森林救援隊と連携し、森林保全活動を紹介(12/17～1/12 1階休憩コーナー)</p> <p>・「令和2年度高知『環境絵日記』:県環境共生課と連携し、県内の児童による環境絵日記を展示(1/14～1/27 共同楽習スペース)</p> <p>・「第35回地場産業大賞展示」:高知県産業振興センターと連携し、地場産業大賞受賞製品・事業を紹介(2/4～2/26 共同楽習スペース)</p> <p>・「森林環境情報誌「もりりん」キャラクター似顔絵コンテスト応募作品展示会」:県林業環境政策課と連携し、「もりりん」キャラクター似顔絵応募作品を展示(3/9～3/31 2階北階段下)</p>	<p>【成果】○</p> <p>「新型コロナウイルス対策グッズ展」、「こうちのohana満開プロジェクト」、「第35回地場産業大賞展示」等で、県内企業の製品や事業を紹介することができた。そのほか、パネル展の実施により、広報面で、行政機関をはじめとする団体の活動を支援することができた。</p>	<p>【課題】</p> <p>・パネル展については、(申し込みがあった件についてお受けするため)やや受動的な取り組みとなっており、課題解決や高知県・高知市の重点施策に関する広報を充実させるための当館からのアプローチがやや不足している。</p>	<p>【取組】</p> <p>・「移動消費者の部屋」中国四国農政局と連携し、食育などの啓発を目的としたパネル展を開催(6/17～6/30 1階休憩コーナー)</p> <p>・「高知県リサイクル製品等認定制度パネル展」県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRを実施(6/4～6/9 共同楽習スペース)</p> <p>・「目で見る！高知県の気候変動と適応策」高知県衛生環境研究所と連携し、気候変動に関するパネル展を開催(8/19～8/31 1階休憩コーナー)</p> <p>・「男女共同参画推進パネル展」県人権男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進の啓発を実施(8/19～8/25 共同楽習スペース)</p> <p>・こうちのohana満開プロジェクトとして、館内での花きの展示と「フラワーアレンジメント教室」を共催開催(連携:高知市農林水産課)</p>	<p>【成果】○</p> <p>・行政機関をはじめとする団体の広報を支援し、高知県・高知市の施策のPRや啓発に寄与することができた。</p> <p>・花き展示では、市が本市産の花きを購入し、当館での展示やイベント実施を行うことで、生産農家の減収を下支えすることができている。</p> <p>・県の行政機関を訪問したり、打ち合わせを行ったりする際、パネル展についても説明を行い、活用を促した。</p>	<p>【課題】</p> <p>・広報での図書館活用を知らない機関がある。</p>	<p>【成果】○</p> <p>パネル展や図書展示の実施により、団体の広報に寄与した。</p> <p>新型コロナウイルス対策や、花卉の需要拡大など、時事を捉えた展示を、連携機関と協力して実施し、企業・団体の活動を支援することができた。</p>	<p>【課題】</p> <p>広報で図書館を活用できることを知らない機関があり、一層の周知が必要。</p>

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で	
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降	令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		【今後の取組】(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組…廃止理由も(例:ニーズがない)
情報リテラシー	図書館活用講座の実施	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」(1/29.1/30)にてビジネス関係のデータベース紹介、演習を実施した。実施回数を2回(平日夜間、土曜午前)に増やすことに加え、オンラインでの受講(後日録画視聴)もできるようにした。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実施回数を2回に増やしたことで、参加者一人一人に対して細やかに対応することができ、利用者の満足度向上につながった。またオンライン受講も好評で、遠方の方など今まで受講したくもできなかった方からの参加もあり、より多くの方に図書館活用をPRすることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ビジネスに関する図書館活用講座の頻度が少ない。 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本政策金融公庫らと連携し、教職員向けにデータベース講習会「高校生ビジネスプラングランプリ」×「MieNa」をオンラインで実施した。 ・全国高等学校観光教育研究大会のために図書館の観光支援を説明する動画を作成し、当館YouTubeで公開した。 ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」(R4.2/4.2/5)の内容について検討。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン等も活用し、高校生や観光関係者らにむけて図書館の活用方法についてPRしたことで、より具体的に図書館を活用する方法を知っていただくことができた。また、高校生ビジネスプラン・グランプリの参加校支援についても計画を進めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生ビジネスプラン・グランプリのプラン作成講座の来年度以降の開催 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生ビジネスプラン・グランプリのプラン作成講座の開催など、参加校への支援事業の実施に向けて企画する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ビジネス分野での図書館活用講座をオンラインも活用しつつ実施することで、利用者の情報リテラシー向上につなげることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍での講座の開催方法について、よりよい方法を模索し実施していく。 		
アウトリーチ	出前図書館	<p>出前図書館 4 回実施</p> <p>・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施</p> <p>・8/2 県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施</p> <p>・11/17 高知県中小企業家同友会が実施する「今さら聞けない決算書の見方セミナー」で出前図書館(本の展示のみで職員は不在)を実施。</p> <p>・1/29.1/30 土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」で出前図書館(本の展示のみで職員は不在)を実施。</p> <p>・3/9～3/14 県環境共生課が実施する「希少野生動物普及啓発事業」展示で出前図書館(本の展示のみで職員は不在)を実施。</p> <p>・例年出前図書館を実施していた土佐MBA本科では、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員が不在で、本の展示のみで出前図書館を実施したが、主催者から、研修内容の定着につながるなど好意的な意見をいただいた。実際に、会場で手に取って見ていた方がいたとの報告もあった。 ○ 土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」での出前図書館の際に、土佐MBA本科用に作成したブックリストを参考にして本をセレクトした。その結果、バランスよくビジネス関連本を参加者に紹介することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。 	<p>出前図書館 2 回実施</p> <p>・高知市農林水産課との共催事業「フラワーアレンジメント教室」(7/9、8/7)で、会場内に関連の本を展示した。</p> <p>・高知県産学官民連携センターが主催する土佐MBAビジネストレンドセミナー(オンライン)にて、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを受講者に提供した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本の貸出や会場内での閲覧につながり、関心のある方にむけた情報提供をすることができた。また、講師が展示本を活用して説明を行う場面もあり、展示本が有効に活用された。 ○ イベントのオンライン開催も増加する中、ブックリストの提供など出前図書館以外の選択肢を提供できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イベントの減少に伴う、出前図書館や活用講座を行う機会の減少。 ○ オンラインイベントとの連携。 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ OPACと連動した形でのブックリストの作成・配布など、引き続き、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オーテピア4階の部屋を使ってイベント等を行う際に、職員が常駐せず本の展示をする方式が定着し、貸室を利用する団体に、出前図書館の提案がしやすくなった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ OPACと連動した形でのブックリストの作成など、オンラインイベントに合わせた形での情報提供方法等、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。 		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
		令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年4月1日～令和3年8月31日				
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)			
アウトリーチ・サービスの実施	出前図書館のほか、外に出て、積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います	<p>・以下の団体に向けて連携協議(図書館の活用に向けた提案やサービスの周知含む)を行った。 4/16 高知県産業振興センター 4/16 高知県働き方改革推進支援センター 4/16 高知県商工会連合会 4/16 高知県中小企業団体中央会 4/16、4/22 高知県よろず支援拠点 7/2 土佐MBA事務局 7/31、9/8 YAMAKIN株式会社 1/5、1/12 県教育政策課 2/1 高知県立高等技術学校 2/3、2/19 県産業創造課 2/25 県雇用労働政策課</p> <p>・以下のとおり図書館活用講座を実施し、図書館の活用を提案し、サービスを周知した。 11/20 YAMAKIN株式会社社員向け図書館活用講座</p>	<p>【成果】○ ・関連団体の図書館の活用を促すことができ、広報面などの連携につながった。 ・開館後初めて企業に向けて図書館活用講座を実施することができ、図書館利用を促進することができた。</p> <p>【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内での図書館活用講座の実施が難しい場合がある。</p>	<p>引き続き、館内での実施と、オンライン配信、動画提供等を併用し、感染拡大とサービスの周知を両立させる。</p>	<p>・以下の団体に向けて連携協議(図書館の活用に向けた提案やサービスの周知含む)を行った。 4/6 高知県産学官民連携センター、高知県産学官民連携・起業推進課 4/9 高知県働き方改革推進支援センター 4/9 高知県商工会連合会 4/9 高知県中小企業団体中央会 4/9 高知県産業振興センター 4/21 高知県移住促進課 4/23 高知市地域活性推進課移住・定住促進室 6/4 YAMAKIN株式会社</p>	<p>【成果】○ ・図書館活用講座の開催、レファレンスの利用拡大、情報プラットフォームへの図書館サービス説明の掲載、移住ツアーへの図書館の参画などにつながった。</p> <p>【課題】 ・ドロップイン(立ち寄り型)シェアオフィスでの図書館活用 ・外国人確保・活躍戦略における県雇用労働政策課等との連携</p>	<p>今後の取組 ・ドロップイン(立ち寄り型)シェアオフィスでの図書館活用促進 ・外国人確保・活躍戦略における県雇用労働政策課等との連携深化を多文化サービス担当と進める</p>	<p>【成果】○ 当館からの提案が、連携や利用拡大に結び付いている。高知県労働委員会事務局でのブックリスト活用、他機関の広報誌への図書館サービス記事の掲載、レファレンスの利用拡大等に繋がった。</p> <p>【課題】 より多くの機関に図書館サービスの説明や提案を行う必要がある。</p>
PR	図書館で得た情報がビジネスに役立つ事例を募集し、マンガ等により提供します。	<p>【取組】 ・11月に制作依頼した図書館活用事例まんがのチラシが3月末に完成。 ・まんが制作に協力いただいた方の移住者紹介動画(高知県移住促進・人材確保センター制作)をオーディオで撮影。当館職員も動画撮影に協力。</p>	<p>【成果】○ ・移住者紹介動画は当館のビジネス支援サービスの紹介動画としても活用できるツールとなった。完成した図書館活用事例まんがと併せて、より具体的かつ視覚的に当館の課題解決支援サービスをPRできるようになった。</p> <p>【課題】 ・図書館活用事例まんがの印刷がまだできていない。</p>	<p>・4月中に図書館活用事例まんがの印刷を行う。また、当館ウェブ・サイトでも広報する。</p>	<p>【取組】 ・図書館活用事例まんがVol.1を当館ウェブ・サイトや行政掲示板へ掲載するとともに、関係各所へ配布した。 ・図書館活用事例まんがVol.2、3を作成中。</p>	<p>【成果】○ ・活用事例まんがを用いることで、より具体的かつ視覚的に当館の課題解決支援サービスをPRできるようになった。 ・関係課と連携して制作したことにより、県市の移住関係課による広報手段(移住希望者、既移住者宛への郵送、移住者向けアプリでの周知等)も活用して効果的に広報することができた。 ・チラシを見た方からは、実名で実際にあった事例の紹介なので、図書館活用方法について深く理解することができたという声があった。</p> <p>【課題】 ・活用事例まんが作成にあたってのプライバシー等への配慮</p>	<p>今後の取組 ・図書館活用事例まんがの内容について、リアリティによる説得力とプライバシーのバランスを考慮したうえで、相手方と協議し、作成していく。</p>	<p>【成果】○ ・移住者紹介動画や図書館活用事例まんがを作成したことで、より具体的かつ視覚的に当館の課題解決支援サービスをPRできるようになった。</p> <p>【課題】 ・活用事例まんが作成にあたってのプライバシー等への配慮</p>

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		令和3年4月1日～令和3年8月31日			令和3年度9月以降	
		成果 冒頭に達成状況を○△×で		課題		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)	
職員研修	司書の専門性の向上	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内連携協議会のセミナー(オンライン配信)や図書館総合展の講演(オンライン配信)、土佐MBA入門講座(オンライン配信)などを視聴。各自が自主的に自己研鑽に取り組んでいる。 ・専門企画員による司書研修を受講。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン配信のセミナー等を活用し各自で自己研鑽に取り組むことで、日々、専門性を向上させている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で講習やセミナーが相次いで中止になっており、研修の機会が減っている。 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防に留意しつつ、今後も個人や組織としてオンライン講座などの研鑽機会を捉えて研鑽し、専門性を向上させていく。 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、ビジネス・ライブラリアン講習会に参加した職員により、館内職員に向けて情報共有を行った。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修に参加していない職員にも情報共有を行うことで、専門性を向上させている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で講習やセミナーが中止になっており、研修の機会が減っている。 	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防に留意しつつ、個人や組織としてオンライン講座などの研鑽機会を捉えて研鑽し、専門性を向上させていく。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ……できた・概ねできた △ ……一部できた × ……できなかった <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で講習やセミナーが相次いで中止になっており、研修の機会が減っている。 		

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
<p>利用者のニーズに合わせ、ビジネス関係の資料を収集・提供できた。</p> <p>高知に移住した方を例に図書館活用事例まんがを作成・配布した。まんがというツールにより具体的かつ視覚的に課題解決支援サービスをPRすることができた。</p>	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降		令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年度9月以降		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった		
	【これまでの取組状況 (Do) R 2.4～R3. 3の実績 (数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】 (Check)	【取組の成果と課題】 (Check)	【これまでの取組状況 (Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】 (Check)	【取組の成果と課題】 (Check)	【取組の成果と課題】 (Check)				
		成果 冒頭に達成状況を○△×で						課題		成果 冒頭に達成状況を○△×で	課題
図書や健康や社会保 障、社会福祉、 防犯、事故、防 災等について、 一歩向け図書 のほか、データ ブックなどの 調べものや、 資格取得に役 立つ図書を収 集し、健康・安 心・防災情報 サービスにお いて提供しま す。 また、病室やケ ガなどや離 職・休職中の方 のリハビリ や食事、職場復 帰等の資料に ついても積極 的に収集し、提 供します。	【取組】 ・利用の多い資料は、参考図書として複本を購入した。 ・ニーズの多い看護関係資料について、積極的に購入した。 ・新型コロナウイルス関係の書籍を購入した。	【成果】 ○ ・利用の多い資料を貸出用以外に参考図書として購入し、複数所蔵することで、より多くの利用者の求めに応えることができた。 ・感染症に関する資料を積極的に購入することで、利用者からの問い合わせ、ニーズに対応できた。	【取組】 ・社会情勢の変化や制度の見直し等に留意しながら、利用者のニーズに合った資料の収集に努める。	【成果】 ○ ・利用の多い資料は、参考図書として複本を購入した。 ・ニーズの多い看護関係資料について、積極的に購入した。 ・新型コロナウイルス関係資料を収集方針に沿って購入した。	【成果】 ○ ・利用の多い資料を貸出用と参考図書用を複数購入し、所蔵することで、より多くの利用者の求めに応えることができた。	【取組】 ・収集方針を踏まえ、社会情勢の変化や制度の見直し等に留意しながら、県民・市民のニーズに合った資料の収集に努める。	【成果】 ○ ・利用の多い資料を貸出用と参考図書用を複数購入し、所蔵することで、より多くの利用者の求めに応えることができた。 ・看護関係資料については、県市で分担して積極的に収集したことで、利用者の幅広い求めに応えることができた。 ・社会情勢等に応じた資料を積極的に購入することで、利用者からの問い合わせに対応でき、ニーズに応えることができた。	【課題】 ・引き続き関連する情報・資料収集を進めていく。	【課題】 ・引き続き関連する情報・資料収集を進めていく。	【課題】 ・利用者のニーズに応え、課題解決を支援するため、令和2年度に引き続き関連する情報・資料収集を進めていく。	【課題】 ・利用者のニーズに応え、課題解決を支援するため、引き続き関連する情報・資料収集を進めていく。
雑誌・新聞の取 集、提供 専門的なもの も含め、雑誌や 新聞等を収集 し、提供します (再掲)。	【取組】 ・高知新聞掲載の防災関係記事の切り抜きを掲示・ファイリングして提供した。 ・高知新聞掲載の新型コロナウイルス関係記事の切り抜きを掲示・ファイリングして提供した。 ・新聞切り抜き作業の流れを見直した。 ・利用の少ない雑誌の利用数増加を目的に、ビジネス支援サービス担当と多文化サービス担当と共同で展示を実施し、雑誌の存在についてアピールした。	【成果】 ○ ・新型コロナウイルス関係記事を閲覧・複写する利用者がいた。 ・新聞切り抜き作業の流れを見直すことで、当日中の掲示が可能になり、利用者に常に最新の情報を提供できるようになった。 ・全く貸出しがなかった雑誌が認知され、雑誌の貸出回数増につながった。	【取組】 ・高知新聞掲載の防災関係記事と新型コロナウイルス関係記事の切り抜きを掲示・ファイリングして提供した。 ・利用の少ない雑誌の利用数増加を目的として、ビジネス支援サービス担当と多文化サービス担当と共同で企画展示「ニッチで専門的だけど意外と面白いオーテピア高知図書館3階の雑誌」(6/1～6/30)を実施し、雑誌の存在をアピールした。	【成果】 ○ ・新型コロナウイルス関係記事を閲覧・複写する利用者がいた。 ・新聞記事を当日中に切り抜いて掲示することで、利用者最新の情報を提供できた。 ・利用の少ない雑誌を展示することにより、専門雑誌の存在をアピールできた。	【取組】 ・看板や誘導サインを作成し、掲示するなどして、業界紙・専門誌の存在を周知する。	【成果】 ○ ・高知新聞掲載の防災関係や新型コロナウイルス関係記事について切り抜きを掲示・ファイリングして提供することにより、利用者に常に最新の情報を提供することができた。 ・利用の少ない雑誌を展示することにより、専門雑誌の存在をアピールできた。	【課題】 ・業界紙や専門誌などの周知が不十分である。	【課題】 ・業界紙や専門誌などの周知が不十分である。	【課題】 ・業界紙や専門誌などについて、展示の実施と併せて、サインや看板の掲示等による日常的な周知が必要である。	【課題】 ・業界紙や専門誌などの周知が不十分である。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3. 3の実績 (数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)		
		成果 冒頭に達成状況を○△×で		成果 冒頭に達成状況を○△×で			
チラシやパンフレットなどの取組・提供 図書や雑誌、新聞、データペーパーなどでは得られない情報を中心に、健康・安心・防災情報に関するチラシやパンフレットなどを収集し、提供します。	【取組】 ・スペース内チラシラック(2か所)や書架側面などにて、各種チラシ・パンフレット・カードなどを配布中。 ・図書展示やパネル展示においても、関連するチラシやパンフレットの配布を行った。 ・12/7、14実施のサービス意見交換会にて図書館の書架を活用した広報について提案した。 ・防災政策課と連携し、ハザードマップを効果的に配布できるように、説明パネルの設置とハザードマップの整理を行った。 ・館内の配布物を整理し、配置場所を決め、在庫の把握を分かりやすいようにした。	【課題】 ・自発的な働きかけがある機関は在庫管理など積極的だが、働きかけがない機関はこちらから声掛けの必要があるなど、対応がまちまちである。	【取組】 ・在庫管理などを配布元自ら進んで行ってもらえるような関係を構築していく。 ・スペース内チラシラック(2か所)や書架側面などにて、各種チラシ・パンフレット・カードなどを配布した。 ・図書展示やパネル展示においても、関連するチラシやパンフレットの配布を行った。 ・梅毒の感染者が増加しているという情報を得てすぐに高知県健康対策課、高知市地域保健課に連絡をとり、感染症についてリーフレットやポケットティッシュの提供を受け、利用者への啓発を行った。 ・5月から高知県工業振興課に防災用品周知やチラシ等配布用のスペースとして、防災コーナーの棚面貸し出しを開始した。7月には展示している防災製品の展示入替えを行った。	【取組】 ・スペース内チラシラック(2か所)や書架側面などにて、各種チラシ・パンフレット・カードなどを配布した。 ・図書展示やパネル展示においても、関連するチラシやパンフレットの配布を行った。 ・梅毒の感染者が増加しているという情報を得てすぐに高知県健康対策課から「図書館での配布用にチラシを作成する」と申し出があった。できあがったチラシ「梅毒が急増しています！～自分と大切な人を守りましょう～」は館内で配布している。 ・防災コーナーの展示替えを行うことで、利用者の興味・関心を引くことができた。また、段ボールベッド(通常の3/8サイズ)等を展示することにより、防災関連登録製品カタログが手に取られる頻度があがった。	【課題】 ・サービス担当と専門機関の担当者との関係および図書館と専門機関との関係が構築できている機関と、関係が浅い機関がある。関係が構築できている機関にはこちらから声掛けの必要があるなど、先方の対応に温度差がある。 ・常設している配布物の種類・設置場所を担当が把握できていない。配布物の設置場所と種類が管理できる仕組みの構築が必要である。	【取組】 ・引き続き、在庫管理などを配布元自ら進んで行ってもらえるような関係を構築していく。 ・担当課へ当館の広報効果をPRすることにより、チラシやパンフレットを置いてほしいという依頼を日常的に受けるようになった。 ・館内の配布物を整理したことで展示用スペースを新たに確保でき、より多くの情報を提供できるようになった。	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった

資料

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降		令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年度9月以降		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	
		成果 冒頭に達成状況を○△×で		課題					
視聴覚資料の収集・提供	暮らしの中でさまざまな課題解決に役立つ視聴覚資料を積極的に収集し、提供します。	【取組】 ・DVD約60点を、視聴覚資料コーナーから視聴覚資料展示コーナーへ移動することで展示の充実を図った。 ・防災関係図書や書架に、関連DVDへの誘導サインを掲示した。 ・DVDリストを作成した。 ・関係機関からの問い合わせを受け、所蔵している視聴覚資料を紹介した。	【成果】 ○健康安心防災をテーマとしたDVDの場所をまとめ、誘導することで、防災分野については利便性が向上した。 ・課題解決に役立つ視聴覚資料を積極的に購入・紹介したことで、関連機関の業務に役立てることができた。	【課題】 ・防災分野以外の誘導サインを作成する必要がある。 ・作成したDVDリストの提供ができていない。 ・視聴覚資料の利用状況把握は難しいが、把握する必要がある。	【取組】 ・視聴覚資料展示コーナーでDVD約60点を展示している。	【成果】 △健康安心防災をテーマとしたDVDの場所をまとめ、誘導サインを掲示することで、防災分野についてはサインで排架場所に誘導することで、利用者の利便性が向上した。 ・関係機関から視聴覚資料に関するレファレンス依頼があり、未所蔵資料については購入して提供した。 ・高知県女性相談支援センターから、DVDリストの作成依頼があった。	【課題】 ・健康分野、福祉分野に興味・関心を持っている利用者に対してアピールするため、防災分野以外の誘導サインを作成する必要がある。 令和2年度に作成したDVDリストの提供先と、提供方法の検討が必要である。	【成果】 ○健康安心防災をテーマとしたDVDの場所をまとめた。防災分野についてはサインで排架場所に誘導することで、利用者の利便性が向上した。 ・課題解決に役立つ視聴覚資料を積極的に購入・紹介したことで、関連機関の業務に役立てることができた。	【課題】 ・健康、福祉分野に興味・関心を持っている利用者に対してアピールするため、防災分野以外の誘導サインを作成する必要がある。 作成したDVDリストの提供先と、提供方法の検討が必要である。
データベースの導入・提供	医学文献情報や新聞記事等のデータベースを導入し、提供します。	【取組】 ・2/7、10、20、27にミニ講座「データベースを使ってみよう! 医中誌Web基礎編」を実施。 ・3/18土佐リハビリテーションカレッジ講師向けの図書館活用講座の中で、新聞データベースの演習を取り入れた。	【成果】 ○医療関係者等の参加者もあり、「大変有意義だった」等の声が聞かれた。 ・コロナ禍のために大学での一般利用者のデータベース利用が制限されている現状で、オーテピアで講習会を開催できたことは大きな意義があった。	【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外から講師を招くことが難しい。 ・未利用者を対象としたミニ講座と、利用経験者を対象とした講座に分けた実施を検討する必要がある。	【取組】 ・4/9、27【連携】土佐リハビリテーションカレッジ「図書館活用講座」にて、作業療法学科生、理学療法学科生を対象とした授業の一環としてデータベースを活用した演習を行った。	【成果】 ○学生を対象に演習を実施することで、後の継続的な利用につながった。	【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外から講師を招くことが難しい。 ・サービス担当職員だけでは手が足りず、単独でのデータベース講座の実施が困難である。	【成果】 ・データベース講座を実施することで、利用者の情報リテラシー向上に寄与できた。 ・ミニ講座や活用講座においてデータベースについて周知することで、利用を促すことができた。(医中誌web:令和2年度8月末19件→令和3年度7月末23件)	【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外から講師を招くことが難しい。 ・サービス担当職員だけでは手が足りず、単独でのデータベース講座の実施が困難である。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年9月以降		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3. 3の実績 (数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)		
		成果 冒頭に達成状況を○△×で		課題		成果 冒頭に達成状況を○△×で	
タイムリーな企画展示の実施	健康・安心・防災情報スペースをはじめとするさまざまな資料を使って、社会の関心を喚起した企画展示を実施します。	【取組】 ・2/29～4/29 脳の探求、最前線 ・3/30～4/30 感染症の対策あれこれ ・4/1～4/30 発達障害の理解を深める ・5/12～6/30 からたをつくる・ととのえる ・5/12～5/31 五月病かなと思ったら ・6/1～6/30 いきいき健康チャレンジ ・6/20～7/12 一度は読んでほしい貸出し少ない雑誌展 ・6/20～7/12 男女共同参画連携展示 ・7/1～8/8 いただきます！8月4日は栄慶の日 ・7/1～8/30 免疫力を高める ・8/10～8/30 いのちを、守る 9月1日は防災の日 ・9/1～10/31 知ろう 考えよう 認知症—いま知りたい、認知症のこと— ・9/1～9/30 土佐リハ教員オスメ100冊 ・9/1～9/30 働くがん患者さんへのサポート～がん治療と仕事の両立支援～ ・10/1～10/30 知ってほしいがんのこと～がん検診・がん予防医療～ ・11/1～12/27 当世婚活、婚活事情 ・12/1～12/27 ちょっと休憩してみませんか？～高知県心の教育センター連携展示～ ・1/5～2/5 早寝早起き朝ごはん運動 ・1/5～2/27 医療等従事者応援フェア ・1/12～2/5 社会に踏み出すことに不安を抱える方へ～ひきこもりに悩んでいませんか？～ ・2/2～2/28 東京2020オリンピック・パラリンピック ・3/9～3/31 備えよう、地震。～東日本大震災から10年～ ・3/9～4/30 いつでも どこでも アウトドア ・3/31～終了日未定 感染症とともに生きる	【成果】 ○ ・時事や季節に合わせて実施することで、関心を持ってもらえた。(24回実施) ・「一度は読んでほしい貸出し少ない雑誌展」など、普段貸出しのない資料も展示をとおして貸出回数が伸びている。 ・関係機関との連携展示の際、資料集めを依頼し関係機関のニーズを知ることができた。 ・「社会に踏み出すことに不安を抱える方へ～ひきこもりに悩んでいませんか？～」の展示では、展示図書がすぐに少なくなり、期間中に3回補充した。また、関係機関のチラシ・パンフレットも展示終了時には数部しか残っていない状態であった。このことから、ひきこもりというテーマについて県民・市民が高い関心を寄せているということが分かった。 ・新型コロナウイルスに関する展示を行い、図書やチラシでニーズにあった情報提供が行えた。	【取組】 【期間展示】 3/9～4/30 「いつでも どこでも アウトドア」 4/17～4/29 「発達障害の理解を深める」 5/1～5/30 「リアルスポーツ×eスポーツ」 5/1～5/30 【連携】高知県労働委員会事務局「アンガーマネジメント(人間関係から生じる怒りを上手にコントロールする)」 5/1～5/30 【連携】高知県難病団体連絡協議会「難病の日」 5/1～6/30 「自分らしく生きる-LGBTQを知る-」 6/1～6/30 【連携】高知県健康増進課「健康づくりお役立ち情報コーナー」 6/2～6/16 【連携】高知男女共同参画センター「ソレ」 「ジェンダーカフェ(こうち男女共同参画センターソレからイベントのお知らせ)」 6/1～6/30 「ニッチで専門的だけど意外と面白いオーテピア高知図書館3階の雑誌」 7/1～8/9 【連携】土佐リハビリテーションカレッジ「土佐リハ教員オスメ100冊」 7/1～9/5 「読んで満足！観て応援！スポーツを楽しもう♪」 7/1～7/31 「声に出して読んでみたら、すごいことになった。脳が活性化！ストレス解消！」 7/20～8/9 【連携】高知市人権同和・男女共同参画課「ジェンダー平等社会図書企画展」 8/1～9/30 「ごはんでいきいき生活」	【成果】 ○ ・時事や季節に合わせて実施することで、来館者に関心を持ってもらえた。 ・関係機関との連携展示の際、先方に資料集めを依頼し、集まった資料の傾向等を分析することで、関係機関の必要とする資料や情報について知ることができた。 ・展示後の貸出冊数の統計を取ることで、利用者の関心がある資料の把握ができた。 ・県民・市民の関心度が特に高いテーマ(新型コロナウイルス、大人の発達障害)について、長期間、一箇所で展示することで、利用者が情報を得やすくなった。 ・窓口の近くで常設展示を行うことによってレファレンスの時間短縮につながり、利用者に短時間で多くの情報を提供することができた。 ・県市庁内に向けて広報することで、期間展示を行政職員に周知できた。 ・記者室への投げ込み等を行うことで、TV放映や新聞掲載につながり、幅広く県民・市民に広報できた。 ・高知市健康増進課と連携して実施した企画展示「健康づくりお役立ち情報コーナー」では、203冊中415回貸出しがあり、途中で展示資料を追加するなど好評であった。	【課題】 △ ・情報の新鮮さを保ち、利用者のニーズに応えるため、現在実施中の常設展示はテーマや資料の入替えを実施する必要がある。 ・より一層の利用を促すため、常設展示の広報が必要である。 ・企画展示「ニッチで専門的だけど意外と面白いオーテピア高知図書館3階の雑誌」で展示した雑誌は利用者のニーズに応えられる資料ではなかったため、前年度実施時に比べると貸出回数が増加しなかった。(37冊中6回貸出)	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
展示	【課題】 △ ・県民・市民の関心度が特に高いテーマについては、短期間の展示だけでなく、長期間での展示を検討する必要がある。	【課題】 △ ・情報の新鮮さを保ち、利用者のニーズに応えるため、現在実施中の常設展示はテーマや資料の入替えを実施する必要がある。 ・より一層の利用を促すため、常設展示の広報が必要である。					

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度 令和3年度4月以降		令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日				令和3年度 令和3年度9月以降		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3. 3の実績 (数値は3月31日時点)				【これまでの取組状況】(Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)				【取組の成果と課題】(Check)		
	成果 冒頭に達成状況を○△×で				成果 冒頭に達成状況を○△×で		成果 冒頭に達成状況を○△×で				成果 冒頭に達成状況を○△×で		
課題				課題		課題				課題			
利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの作成・提供	文献を調べたり、調査を自ら進めることができるように、わかりやすいブックリストやパスファインダーを作成し、提供します。また、図書館のホームページなどにも掲載します。	ブックリスト	23種	【成果】 ○ ・ブックリストは新たに14種類を作成し、1種類を改訂した。 新規： ①「心の不調かな?と思ったら」 ②「感染症」 ③「免疫を高める」 ④「がん×治療」 ⑤(行政用)「非常事態に負けない業務計画を～BCPブックリスト～」 ⑥(一般用)「非常事態に負けない事業継続計画を～BCPブックリスト～」 ⑦「1日1～さまざまな性への理解と支援のためのブックリスト～」 ⑧「自閉スペクトラム症への理解と支援～TEACCHプログラムを中心としたブックリスト～」発達障害者支援センターの依頼により作成。2月開催のオンライン研修で配布。 ⑨「第59回医療連携研修会 消化器がんブックリスト」高知医療センターとの共催イベント(オンライン開催)のため作成。高知医療センター、オーテピア高知図書館のウェブ・サイトにて掲載。 ⑩「ひまこもり関連ブックリスト」 連携：高知県立精神保健福祉センター、高知県地域福祉政策課 ⑪「保健衛生ブックリスト～エプロンシアター・紙芝居編～」 ⑫「保健衛生ブックリスト～絵本編～」 ※①、②は市健康増進課からの要望があり、児童サービスと共同で作成。 ⑬「心のサインに気づいたら」市健康増進課からの依頼を受け作成。市職員向けゲートキーパー養成研修で配布 ⑭「怒りを上手にコントロールする」 改訂： ①「がん」 ・業務やイベントに合わせたブックリスト作成依頼が定期的であり、関係機関との連携が強化されている。 ・実際にパスファインダーを参考にされる利用者に対応する機会があった。	ブックリスト	27種 (既存23(改訂0)+新規4)	【成果】 ○ ブックリストは新たに4種類を作成した。 新規： ①ジェンダー平等を考えるためのブックリスト 連携：こうち男女共同参画センター(ソール) ②生活習慣を見直そう 連携：高知市健康増進課 ③レジリエンス(回復力・弾力性・適応力)を高める 連携：高知県労働委員会事務局 ④高齢者向け紙芝居リスト ・新規作成したブックリストは、館内で配布、ウェブ・サイトに掲載したほか、行政各課へも活用を呼びかけた。 ・ブックリストを持参した利用者に対応する機会があった。 ・関係機関にブックリストを提供することで、図書館の利用者以外にも情報提供ができた。 ・関係機関からブックリストが利用者によく手に取られていて好評であるとの声をいただいた(県民・市民の暮らしの中で生じる課題解決を支援できた)。	【今後の取組】 【ブックリスト】 ・社会情勢の変化に留意し、利用者の関心が高いテーマやニーズに沿ったブックリストを作成・提供する。 ・その他、内容の更新が必要なブックリストは、随時更新する。 【パスファインダー】 ・社会情勢の変化に留意し、利用者の関心が高いテーマやニーズに沿ったパスファインダーを関係機関と連携しながら作成・提供する。 ・パスファインダーの様式を変更する。 【その他】 ・ブックリストおよびパスファインダーの提供にあたっては、関係機関への配布等も視野にいれて実施する。	【成果】 ○ ・専門機関や各種団体と連携し、健康・医療・福祉・防災等に関連した課題解決に役立つブックリスト・パスファインダーの作成・提供ができた。			
	パスファインダー		4種	【課題】 ・提供中のブックリストで、内容の更新が必要なものがある。 ・作成したが、提供に至っていないリスト(健康・安心・防災分野のDVD)がある。 ・パスファインダーについて、より使いやすくなるため、様式の変更が必要。 ・パスファインダーについて、改訂および新規作成作業が進んでいない。	パスファインダー	4種 (既存4(改訂0)+新規0)	【課題】 ・利用者のニーズに応えるため、ブックリスト・パスファインダーの新規作成が必要である。 ・新鮮な情報を提供するため、作成済みのブックリストおよびパスファインダーの内容更新が必要である。 ・より使いやすくなるため、パスファインダーの様式改訂が必要である。	【課題】 ・利用者のニーズに応えるため、ブックリスト・パスファインダーの新規作成が必要である。 ・新鮮な情報を提供するため、ブックリスト・パスファインダーの内容更新が必要である。 ・より使いやすくなるため、パスファインダーの様式改訂が必要である。					

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日			令和3年度 令和3年9月以降			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3. 3の実績 (数値は3月31日時点)			【これまでの取組状況】(Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)			
	成果	冒頭に達成状況を○△×で	課題	成果	冒頭に達成状況を○△×で	課題	成果	冒頭に達成状況を○△×で	課題	
レファレンス・サービス	健康・安心・防災情報スペースに専用窓口を設け、担当司書が、図書館資料を活用し、調べものをサポートします。	事項	554 件	○ ・3階総合窓口で所蔵検索や書架の案内等、クイックレファレンスへの対応を行った。 ・グループウェア（ガルーン）を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。	・マニュアルに沿って、速やかに事例を登録・公開していく。	事項	279 件	○ ・図書館活用講座の実施や連携の深化等により、行政機関からのレファレンス依頼が増えた。 ・3階総合窓口で所蔵検索や書架の案内等、クイックレファレンスへの対応を行った。 ・グループウェア（ガルーン）を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査できた。 ・複数の司書の検索ツール・検索方法が共有され、他の司書は回答と合わせて検索方法を知ることができた。	○ ・マニュアルに沿って、速やかに事例を登録・公開する。 ・利用者のプライバシーに配慮しつつ図書館活用事例まんがを作成する。 ・引き続き、図書館活用講座やサービス説明等を通じて、レファレンス・サービスについて周知していく。	○ ・図書館活用講座の実施や連携の深化等により、行政機関からのレファレンス依頼が増えた。 ・3階総合窓口で所蔵検索や書架の案内等、クイックレファレンスへの対応を行った。 ・グループウェア（ガルーン）を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査できた。 ・複数の司書の検索ツール・検索方法が共有され、他の司書は回答と合わせて検索方法を知ることができた。
		所蔵	899 件	【課題】 ・レファレンス協同データベースへの事例登録・公開が遅れている。		所蔵	497 件	【課題】 ・図書館同士の事例共有のため、レファレンス協同データベースへの事例登録・公開が必要である。 ・レファレンス・サービスの認知度が低く、利用促進のための広報が必要である。	【課題】 ・図書館同士の事例共有のため、レファレンス協同データベースへの事例登録・公開が必要である。 ・レファレンス・サービスの認知度が低く、利用促進のための広報が必要である。	
	課題解決に向けた専門機関や団体等の紹介	レフェラル	数 件	○ ・窓口でのクイックレファレンス時に、オーテピア高知声と点字の図書館や自治体窓口、相談窓口、専門機関等を紹介できた。 ・福祉分野での関係づくり強化のため、高知市社会福祉協議会に向けサービス説明を行った。	関係機関が作成した相談窓口一覧などを活用し、窓口での問い合わせの際に情報提供できるようにしていく。	レフェラル	数 件	△ ・窓口でのクイックレファレンス時に、専門機関を紹介できた。	今後の取組 ・各相談窓口について情報提供できるように、関係機関が作成した相談窓口一覧等を窓口で常備する。	○ ・窓口でのクイックレファレンス時に、オーテピア高知声と点字の図書館や自治体窓口、専門機関等を紹介できた。 ・サービス説明や図書館活用講座を通じて、各分野の専門機関とつながりができ、互いに紹介しやすくなった。 ・共催事業や意見交換会などを通して関係を強化し、互いに紹介しやすい関係づくりを構築した。
			【課題】 ・県民・市民が相談できる窓口等を十分に把握・整理できていない。				【課題】 ・窓口で問い合わせを受けた際、利用者には十分な情報を提供するため、関係機関が作成した相談窓口一覧を窓口内で共有する必要がある。	【課題】 ・関係機関が作成した相談窓口一覧などが活用できておらず、窓口での情報提供が十分でない。		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)	
	成果	冒頭に達成状況を○△×で		成果	冒頭に達成状況を○△×で		
他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施	【取組】 ・6/28【中止】【連携】世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 記念映画上映会 ・8/8～8/30【連携】パネル展示「がん患者さんの感じるコロナウイルスへの不安について」実施(知事来訪) ・9/5、12、19、26「がん相談会2020」開催 【共催：高知大学医学部附属病院、高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会、高知県産業保健総合支援センター】 ・10/25「第58回地域医療連携研修会」開催 【共催：高知医療センター】 ・11/1「転倒を予防するリハビリ体験」開催 【共催：土佐リハビリテーションカレッジ】 ・12/6世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 記念映画上映会でブックリスト2種配布 【連携：県障害福祉課】 ・1/17「第59回地域医療連携研修会」Webにて開催 【主催：高知医療センター、共催：オーテピア高知図書館】 ・2/21「大人の発達障害」を理解するセミナー」開催 【主催：オーテピア高知図書館】 【連携：高知県立療育福祉センター発達障害者支援センター】 ・3/13「開発研究者が語る 身近な歯科材料のふしぎ」開催 【主催：オーテピア高知図書館、連携 YAMAKIN株式会社】 ・次年度イベントについての打ち合わせ(高知市消防局、土佐リハビリテーションカレッジ・精神保健福祉センター等)	【成果】 ○ ・連携によって専門的な情報の提供ができた。そのためパネル展示を見に来館される利用者が多かった。 ・パネル展示を見たことにより、実際の相談につながったとの報告があった。 ・連携によって、連携先は専門的な情報の提供ができ、また参加者はその場で関連図書を持ち帰り、ブックリストの提供を受けることができた。 ・医療機関とともにイベントを実施することにより、専門機関が実施する新型コロナウイルス対策を知ることができ、その後の対応に不安がなくなった。 【課題】 ・新型コロナウイルス対策ほか、県民・市民の関心やニーズなどの社会情勢等も踏まえて実施する必要がある。	【取組】 ・土佐リハビリテーションカレッジ講師と共同寄稿「図書館にて介護予防事業を実施することの一提案」図書館雑誌、7月号。 ・4/9、27【連携】土佐リハビリテーションカレッジ「図書館活用講座」(作業療法学科生、理学療法学科生を対象とした授業の一環として) ・6/6【連携】高知県障害福祉課主催「世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 記念映画上映会」でブックリスト3種、パリアフリーサービスチラシ、やさしい利用案内を配布した。 ・7/25【連携】高知市健康増進課主催「高知市いきいき健康チャレンジ2021 応援講座～栄養編～」 ・7/10、8/8【連携】高知リハビリテーション専門職大学主催公開講座 ・延期【連携】高知市高齢者支援課主催「支えあいフォーラム」 ・ひきこもりピア相談会の実施に向けて、高知県地域福祉政策課との協議を開始した。 ・9月以降のイベントについて、打ち合わせを進めている。 高知市高齢者支援課、土佐リハビリテーションカレッジ、高知リハビリテーション専門職大学、高知大学医学部附属病院がん相談支援センター、高知県産業保健総合支援センター、高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会	【成果】 ○ ・連携してイベントを実施することで、専門的な情報の提供ができた。 ・イベントの参加者は正しい知識を身に付けることができたほか、その場で関連図書を借りたり、ブックリストを持ち帰るなど、幅広く情報を入手することができた。 【課題】 ・より一層の図書館活用を促すため、社会情勢の変化に留意し、県民・市民の関心やニーズ等を踏まえたイベントを実施する必要がある。	今後の取組 ・令和2年度までに引き続き関係機関と協力し、社会情勢の変化や県民・市民の関心やニーズを踏まえて事業を実施する。 実施予定 ・9/12、10/10、11/7【連携】高知リハビリテーション専門職大学主催公開講座 ・10/10、20、30【中止】【連携・主催】高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会、高知県産業保健総合支援センター共催「がん相談会in2021」 ・10/3【中止】【連携】土佐リハビリテーションカレッジ主催「こけないために脳と体を鍛えよう」 ・11/10、11【連携】高知市高齢者支援課主催「支えあいフォーラム」 ・1月【連携・主催】高知県地域福祉政策課共催「ひきこもりピア相談会～思いや悩みを話したい、聞いてほしい方へ～」 ・2/23【連携】高知医療センター主催「第61回地域医療連携研修会」	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった	【成果】 ○ ・専門的な情報の提供ができた。 ・連携先から「実際の相談につながった」との報告があった。 ・イベントの参加者は正しい知識を身に付けることができたほか、その場で関連図書を借りたり、ブックリストを持ち帰るなど、幅広く情報を入手することができた。 【課題】 ・より一層の図書館活用を促すため、社会情勢の変化に留意し、県民・市民の関心やニーズ等を踏まえたイベントを実施する必要がある。

	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年4月以降		令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年9月以降		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況 (Do) R 2.4～R3. 3の実績 (数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】 (Check)	【これまでの取組状況 (Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】 (Check)	【これまでの取組状況 (Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】 (Check)	【これまでの取組状況 (Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】 (Check)	
サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)									
連携	健康・医療等に関する機関等が実施している関連イベントやセミナーの情報を集約した一覧を作成し、館内掲示や図書館ホームページなどで情報提供を行います。	【取組】館内でチラシ・パンフレットの配布等を行い、イベント等を周知している。	【成果】 ○ イベントを実施する際、チラシを置いて欲しいと連絡をくれる関係機関もあった。 【課題】 ・情報の集約方法の確立。ただし、着手した場合、本来業務への支障が懸念される。	【成果】 ○ 関係機関が作成した広報物の館内掲示・配布を強化することにより、継続的に健康・安心・防災に関するイベントなどの情報提供を行う。	【取組】 ・館内でチラシ・パンフレットの配布等を行い、イベントや行政サービス等を周知している。 関係機関と連携して、パネル展を実施した。 ・4/1～4/28 【連携】高知県障害福祉課・高知県自閉症協会「発達障害の理解を深める」 ・4/29～5/5 【連携】こうち男女共同参画センター「ソレレ」 ・5/6～5/26 【連携】高知県立消費生活センター「消費者月間」消費生活パネル展 ・5/27～6/9 【連携】高知市健康増進課「健康づくりお役立ちコーナー」 ・5/27～6/16 【連携】高知県の教育センター「こんにちは、高知県の教育センターです」	【成果】 ○ 関連イベントやセミナーのチラシ等を配布し、情報提供をしている。 ・補充連絡をする際に担当課へ当館の広報効果をPRできた。 ・高知県健康対策課から「図書館での配布用にチラシを作成する」と申し出があった。	【課題】 ・サービス担当と専門機関の担当者との関係および図書館と専門機関との関係が構築できている機関は在庫管理など積極的な働きかけがある一方、そうでない機関にはこちらから声掛けする必要があるなど、先方の対応に温度差がある。	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった	
情報リテラシー	図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を採る方法、その情報の信頼性を確かめる方法等を習得するための講座を開催します。	【取組】共催イベントなどで図書館活用をPRした ・10/25開催「第58回地域医療連携研修会」【共催：高知医療センター】 ・11/1「転倒を予防するリハビリ体験」開催 【共催：土佐リハビリテーションカレッジ】 関係機関等に対し図書館活用講座を実施した ・11/4高知県の教育センター ・11/18、11/19高知市社会福祉協議会地域協働課 ・2/2高知市消防局 ・2/18、2/24高知市社会福祉協議会共に生きる課 ・3/18土佐リハビリテーションカレッジ	【成果】 ○ イベントの内容や、関連機関の事業内容に合わせてサービスの紹介時間を設けたり、図書館活用講座を開催したことで、具体的な活用の提案ができ、その後の利用拡大につなげることができた。 【課題】 ・新型コロナウイルス対策など、社会情勢に即した形の図書館活用講座を検討する必要がある。	【取組】引き続き、関係機関に向けて、イベントで図書館活用のPR時間が増えたり、機関向けに図書館活用講座の実施ができていないか働きかける。 ・小規模で複数回開催するなどして、大人数向け活用講座の要望にも可能な限り対応する。 ・オンラインや録画配信での図書館活用講座もニーズによって対応する。 ・新型コロナウイルス対策として、オンラインや録画配信での図書館活用講座も検討する。 ・土佐リハビリテーションカレッジ 実施予定 (開催日4/9、4/27) ・高知市地域包括支援センター (開催日4/20)	【取組】次の共催イベントで図書館活用をPRした。 ・4/20 高知市地域包括支援センター「高知市地域包括支援センター研修会」 ・4/27 【連携】土佐リハビリテーションカレッジ授業 (対象：理学療法学科生、講師) ・7/25 【連携】高知市健康増進課主催「高知市いきいき健康チャレンジ2021 応援講座～栄養編～」 ・延期 【連携】高知医療センター主催「第61回地域医療連携研修会」	【成果】 ○ イベントの内容や関連機関の事業内容に合わせてサービスの紹介時間を設けたり、図書館活用講座を開催したことで、具体的な活用の提案ができた。 ・図書館活用講座の参加者が、イベント後に電子図書館の利用申請をしたり、後日レファレンスを依頼するなど、その後の利用拡大につなげることができた。	【課題】 ・より一層の図書館活用を促すため、オンラインや動画配信など、社会情勢に即した形の図書館活用講座を検討する必要がある。	○・・・イベントの内容や関連機関の事業内容に合わせてサービスの紹介時間を設けたり、図書館活用講座を開催したことで、具体的な活用の提案ができ、講座後の利用拡大につなげることができた。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降		令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年度9月以降		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3. 3の実績 (数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)		
	成果	課題	成果	課題	成果	課題	成果	課題	
出前図書館	健康・医療等に関するセミナーやイベントなどに沿った資料を会場に持参し、その場で資料の貸出しや資料相談を行います。	13回実施	○「いきいき健康チャレンジ」(高知市健康増進課主催)など、例年出前図書館を実施していたイベントが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったこともあり、4～8月は実施に至らなかったが、10月以降は館内でのイベントを中心に「出前図書館の機会を設け、13回の出前図書館を行うことができた。	○引き続き、出前図書館、オンラインイベントへのブックリストの提供などを併用し、図書館の紹介を行う。	出前図書館	8回実施	○イベント終了直後に新規登録・カード不持参の貸出などを申し出る利用者や、セルフ貸出機で資料を借りていく利用者の姿が多く見られた。イベントに合わせて実施することにより、参加者の求めに応じた資料が提供でき、参加者の知識の深化に寄与できた。	今後の取組 ○引き続き、出前図書館、オンラインイベントへのブックリストの提供などを併用し、資料の紹介を行う。 実施予定 ・9/12、10/10、11/7 【連携】高知リハビリテーション専門職大学主催公開講座 ・10/1 【連携】高知県立精神保健福祉センター主催「つながるfestal」 ・10/3 【中止】【連携】土佐リハビリテーションカレッジ主催「こけなために脳と体を鍛えよう」 ・2/23 【連携】高知医療センター主催「第61回地域医療連携研修会」	○「出前図書館実施時に利用者が資料を借りていくなど、ニーズに応じた資料を提供でき、知識の深化に寄与できた。
出前図書館	出前図書館 ・10/25 【共催・館内】第58回地域医療連携研修会 ・11/1転倒を予防するリハビリ体験 ・11/21 発達障害者就労支援セミナー ・12/8防災製品開発WG (防災食品)セミナー ・12/26いざというときに備えて知っておきたい相続と遺言の基礎知識 ・7/15・9/16・11/18・1/20・3/17 いきいき音読倶楽部 ・1/24 令和2年度れんげいこうち防災人づくり塾 ・2/21 「大人の発達障害」を理解するセミナー ・3/13 開発研究者が語る 身近な産科材料のふしぎ 以下の関係機関と連携について協議しサービスの説明を行った。 ・4/15、8/5、10/14土佐リハビリテーションカレッジ ・6/24高知大学医学部附属病院がん相談支援センター、県健康対策課 ・8/4高知医療センター (なるほどライブラリ、地域医療センター) ・9/8、10/20YAMAKI株式会社 ・9/18、10/27高知県の教育センター ・10/8高知市社会福祉協議会 ・10/16高知県発達障害者支援センター ・10/28、12/8高知県立精神保健福祉センター ・11/25高知県看護協会 ・12/23高知市消防局 ・12/24高知リハビリテーション専門職大学 ・12/24高知市健康増進課 ・1/19、1/22高知市消防局 以下の関係機関に対し図書館活用講座を実施した(再掲) ・11/4高知県の教育センター ・11/18、11/19高知市社会福祉協議会地域協働課 ・2/2高知市消防局 ・2/18、2/24高知市社会福祉協議会共に生きる課 ・3/18土佐リハビリテーションカレッジ教職員	○引き続き、職員が常駐しない出前図書館の実施、オンラインイベントへのブックリストの提供など、非接触型サービスを提供していく必要がある。	○引き続き、職員が常駐しない出前図書館の実施、オンラインイベントへのブックリストの提供など、非接触型サービスを提供していく必要がある。	出前図書館(オーペビア内で実施されるイベントでの実施が主) ・4/9、27 【連携】土佐リハビリテーションカレッジ「図書館活用講座」(作業療法学科生、理学療法学科生を対象とした授業の一環として) ・4/20 高知市地域包括支援センター「高知市地域包括支援センター研修会」 ・7/4 【連携】高知県若年性認知症の人と家族と支援者の会主催「第1回若年性認知症研修会」 ・7/25 【連携】高知市健康増進課主催「高知市いきいき健康チャレンジ2021応援講座～栄養編～」 ・5/19 いきいき音読倶楽部 ・7/10、8/8 【連携】高知リハビリテーション専門職大学公開講座(職員の常駐しない出前図書館) 以下の関係機関と連携について協議しサービスの説明を行った。 ・4/23 高知県発達障害者支援センター ・5/6 高知県の教育センター ・6/3 高知市防災政策課 ・8/10 高知県警察署警務課	○社会情勢に即したサービス提供のため、令和2年度に引き続き、職員が常駐しない出前図書館、オンラインイベントへのブックリスト提供などを実施する必要がある。	○引き続き、職員が常駐しない出前図書館、オンラインイベントへのブックリスト提供などを実施する必要がある。			
アウトリーチの実施	出前図書館のほか、外に出張して積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います。	○積極的に専門機関にアプローチし、連携に向けた協議やサービスの説明を多数行うことができた。それらをきっかけとして、団体貸出、レファレンスなど、専門機関の利用が拡大した。 ・新型コロナウイルス感染症対策、発達障害者支援、南海トラフ地震防災対策などの担当課にサービスの説明を行い、連携事業に発展させることで、県市の重点施策における課題解決に貢献することができた。	○積極的に専門機関にアプローチし、また関係機関からも声掛けがあり、連携に向けた協議やサービス説明を行うことができた。 ・前年度から取り組んできた専門機関との関係づくりが効果を発揮しはじめた。団体貸出・レファレンスの他、出前図書館の依頼があるなど、専門機関の利用が伸びている。 ・各機関との関係が深まる中で、課題や重点施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。	○積極的に専門機関にアプローチし、また関係機関からも声掛けがあり、連携に向けた協議やサービス説明を行うことができた。 ・前年度から取り組んできた専門機関との関係づくりが効果を発揮しはじめた。団体貸出・レファレンスの他、出前図書館の依頼があるなど、専門機関の利用が伸びている。 ・各機関との関係が深まる中で、課題や重点施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。	○サービスの説明や連携協議、出前図書館などの実施を通して、専門機関との関係づくりができた。 ・各機関との関係が深まる中で、課題や重点施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。	○サービスの説明や連携協議、出前図書館などの実施を通して、専門機関との関係づくりができた。 ・各機関との関係が深まる中で、課題や重点施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。			
アウトリーチ	○積極的に専門機関にアプローチし、連携に向けた協議やサービスの説明を多数行うことができた。それらをきっかけとして、団体貸出、レファレンスなど、専門機関の利用が拡大した。 ・新型コロナウイルス感染症対策、発達障害者支援、南海トラフ地震防災対策などの担当課にサービスの説明を行い、連携事業に発展させることで、県市の重点施策における課題解決に貢献することができた。	○積極的に専門機関にアプローチし、また関係機関からも声掛けがあり、連携に向けた協議やサービス説明を行うことができた。 ・前年度から取り組んできた専門機関との関係づくりが効果を発揮しはじめた。団体貸出・レファレンスの他、出前図書館の依頼があるなど、専門機関の利用が伸びている。 ・各機関との関係が深まる中で、課題や重点施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。	○積極的に専門機関にアプローチし、また関係機関からも声掛けがあり、連携に向けた協議やサービス説明を行うことができた。 ・前年度から取り組んできた専門機関との関係づくりが効果を発揮しはじめた。団体貸出・レファレンスの他、出前図書館の依頼があるなど、専門機関の利用が伸びている。 ・各機関との関係が深まる中で、課題や重点施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。	○積極的に専門機関にアプローチし、また関係機関からも声掛けがあり、連携に向けた協議やサービス説明を行うことができた。 ・前年度から取り組んできた専門機関との関係づくりが効果を発揮しはじめた。団体貸出・レファレンスの他、出前図書館の依頼があるなど、専門機関の利用が伸びている。 ・各機関との関係が深まる中で、課題や重点施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。	○サービスの説明や連携協議、出前図書館などの実施を通して、専門機関との関係づくりができた。 ・各機関との関係が深まる中で、課題や重点施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。	○サービスの説明や連携協議、出前図書館などの実施を通して、専門機関との関係づくりができた。 ・各機関との関係が深まる中で、課題や重点施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。			

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年9月以降		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)		
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3. 3の実績 (数値は3月31日時点)		【これまでの取組状況】(Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)		【これまでの取組状況】(Do) R 3.4～R3. 8の実績 (数値は8月31日時点)		
司書の専門性の向上	【取組】 ・8/21開催「高知市南海トラフ地震対策業務継続計画改訂に係る庁内勉強会」に参加。 ・9/5開催「防災講演会in高知」に参加。(高知県工業振興課主催、高知市総合あんしんセンターにて) ・9/14-18開催「令和2年度図書館司書専門講座」に参加。(文部科学省・国立教育政策研究所主催、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターにて) ・11/18開催「防災スキルアップ講座」に参加。 ・11/20に館内職員向け「認知症サポーター養成講座」を実施。 ・11/20開催「高知市南海トラフ地震対策業務継続計画改訂に係る庁内勉強会」に参加。 ・11/28第106回全国図書館大会第9分科会「図書館災害対策」に参加。(オンライン開催) ・1/24開催「令和2年度れんげいこうち防災人づくり塾」に参加。 ・1/29開催「高知市南海トラフ地震業務継続計画改訂に係るワークショップ」に参加。 ・2/11開催「災害時の外国人支援セミナー」に参加。(高知県国際交流課・高知県主催、オーテピアにて)	【成果】 ○ 関係機関が実施する研修等のオンライン化が進む中で、よく使用されるソフトの使用方法を習得している職員とそうでない職員があり、受けられる研修に差が見られる。	【課題】 ○ 個人の研鑽を目的としたものに限らず、関係機関との連携を強化・深化できる研修についても参加していく。	【取組】 ・5/13 3階総合カウンター職員を対象にレファレンス研修を実施した。(講師：サービス担当司書) ・6/25～7/11 特定非営利活動法人日本医学図書館協会主催「第5回JMLAコア研修(全6回)」にサービス担当職員2名が参加。(オンライン開催) ・7/25【連携】高知市健康増進課主催「高知市いきいき健康チャレンジ2021応援講座～栄養編～」にサービス担当職員3名が参加。 ・8/8【連携】土佐リハビリテーション主催「測ってみよう元氣力～子ども健康増進教室～」にサービス担当職員1名が参加。 ・延期【連携】高知医療センター主催「第61回地域医療連携研修会」	【成果】 ○ 専門的な研修を受けることで知識を深められた結果、利用者への情報提供をスムーズに行えるようになった。 ・研修に参加した職員が報告書や研修資料を閲覧することで知識の共有ができた。 ・関係機関が主催する研修に参加することで、各機関との連携を一層強化することができた。	【課題】 ○ 関係機関が実施する研修等のオンライン化が進む中で実地研修に参加できる機会が少なく、専門性向上の機会が限られている。	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
※追加項目 「いきいき音読倶楽部」関連をこちらに集めました。	開催 行事名 参加者数 7/15 いきいき音読倶楽部 8 9/16 いきいき音読倶楽部 4 11/18 いきいき音読倶楽部 3 1/20 いきいき音読倶楽部 5 3/17 いきいき音読倶楽部 1	【成果】 ○ 音読体験を通して、参加者が「音読は日頃から自宅でも簡単に取り組めるものである」と認識いただけた。 ・令和3年度5月の開催をもって「いきいき音読倶楽部」の定期的な実施を終了し、新たに、利用者自身が自宅等で音読活動に取り組めるよう、音読用テキストや資料を様々な方法で提供していく。 ・定期開催終了後は、単発イベントとして社会情勢等を見ながら適宜開催していく。	開催日 行事名 参加者数 5/19 いきいき音読倶楽部 1 以降の定期的な開催を終了	【成果】 ○ 音読体験を通して、参加者が「音読は日頃から自宅でも簡単に取り組めるものである」と認識できた。 ・7/1～7/31 図書展示「声に出して読んでみたら、すごいことになった。脳が活性！ストレス解消」では多くの貸出しがあった。(展示55冊中55回貸出し)	【課題】 ○ 高齢者を中心とした集合型イベントであるため、今後の実施形態について検討の必要がある。 ・来館が難しい県民の音読活動をサポートするため、県内図書館への周知・支援方法等を見直す必要がある。	【成果】 ○ 音読体験を通して、参加者が「音読は日頃から自宅でも簡単に取り組めるものである」と認識できた。 ・「音読教室」ではなく「音読倶楽部」として実施することで、シニア世代の「交流の場」を創出できた。 ・介護施設関係者が施設利用者とともに体験に訪れるなど、関係機関の利用があった。	【課題】 ○ 高齢者を中心とした集合型イベントであるため、今後の実施形態について検討の必要がある。 ・来館が難しい県民の音読活動をサポートするため、県内図書館への周知・支援方法等を見直す必要がある。

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
社会情勢等を鑑みて、利用者のニーズに応じた資料を収集・提供することができた。 関係機関との連携展示や共催事業を通じて、利用者の関心のあるテーマ(ひきこもりや大人の発達障害など)を把握することができ、相談会の開催につながった。	・高齢者施設へのサービス周知および利用登録や団体貸出などサービス利用の促進を図る必要がある。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）		【取組の成果と課題】(Check) 今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check) 今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	
	成果	冒頭に達成状況を○△×で		成果	冒頭に達成状況を○△×で		
講座等	図書館活用講座の実施	図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法等を習得するための講座を開催します。					
		2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「情報リテラシー → 図書館活用講座の実施」を参照					
		2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービスのサービス取組内容等 「情報リテラシー → 図書館活用講座の実施」を参照					
利用ガイド	パスファインダーの作成・提供	情報リテラシーが身に付くよう、上記の講座等にあわせ、各種のパスファインダー(テーマごとの情報の探し方案内)を作成し、提供します。					
		2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供」を参照					
		2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービスのサービス取組内容等 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供」を参照					
		2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (4) 行政支援サービス 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供」を参照					
		3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (2) ティーンズ・サービス 「利用ガイド → パスファインダーの作成・提供」を参照					
	ガイドブックの作成・提供	上記の講座等にあわせ、分野ごとに前年度末に第1版を作成・発行した、オーテピア高知図書館の取扱説明書ともいえる冊子「オーテピア高知図書館ガイドブック」の改訂版を作成した。	【成果】いくつかのサービスについて、配布先（一般利用者ではなく、行政機関や課題解決関係機関・団体など）の利用者に伝えたいポイントが整理できた。 【課題】「どういった分野・対象にどの水準まで働きかけるか」という目標や、分野・対象の優先順位が定められていない。	外部機関・団体等において行う図書館活用講座や行政機関の研修、県市各課が関係機関・団体を集めて行う会で時間を設定してもらって図書館の説明を行うケースなどが配布機会であるが、今後の図書館利用につながるよう効果的に活用するという観点から、配布先を具体的に把握・検討していく。	昨年度末に改訂・増刷したガイドブックが4,050部あり、新たな配布方法を検討した。9月以降に案を修正し、実施する予定。また、研修や視察・見学などにガイドブックを活用し、図書館サービスの説明を行った。	【成果】○ ガイドブックを受け取った県職員が、ガイドブックを使って、関係者に図書館サービスの説明をする事例あり。 【課題】 ガイドブックを活用してもらうために、配布するだけでなく、利便性を説明する必要がある。また、残部が限られているため、対象を絞った働きかけをする必要あり。	図書館の有用性を認知してもらうため、県市各課が実施する担当者等において、図書館サービスの説明の時間を確保してもらえる場合等に参加者に配布する。 【成果】○ 情報の探し方ガイドとしての冊子は作成することができた。 【課題】 図書館が課題解決に役立つことをPRするため、配布先をより工夫する必要がある。
他の取組との連携	職場体験等の実施	職場体験や図書館見学等の機会をいかに、情報リテラシーの理解を広げます。	・見学の際使用するスライド・台本をリニューアルし、学年や理解度に合わせて内容を少しずつ変えながら見学を行った。 ・障害のあることや園児の見学については、事前打ち合わせを行いますスムーズに見学対応ができるように準備した。	【成果】 学年や理解度に合わせた見学対応ができたことで、様々なことにも図書館の使い方や本の探し方を伝えることができた。 【課題】 -	・現在の取り組みを継続して行う。 ・小学校29校の見学を受け入れ、図書館の使い方や本の並び方について紹介した。 ・7/23「知って!調べて!描こう★私の未来地図」をジョブカフェこうち・県雇用労働政策課と共催し、調べもの講座や調べ学習を行った。	【成果】 ○ 感染対策に留意しつつ、見学希望のあった学校を受け入れることができた。 ・学年や理解度に合わせた見学対応ができたことで、様々なことにも図書館の使い方や本の探し方を伝えることができた。	引き続き、学校見学の機会を通じ、主に本の探し方(情報の探索・収集)について説明することができた。 【課題】 本以外にもデータベースやインターネットを活用する方法など、もう一歩踏み込んだプログラムを提供する必要がある。
	アウトリーチ(出前図書館)等での実施	館外で行う出前図書館等を活用しながら、情報リテラシー向上のプログラムを実施します。					
		2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「アウトリーチ」の2項目を参照					
		2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2) 課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービスのサービス取組内容等 「アウトリーチ」の2項目を参照					
		2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (4) 行政支援サービス 「アウトリーチ → 出前図書館の実施」を参照					
		3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (1) 児童サービス 「アウトリーチ」を参照					
		4 連携・支援及び図書館の活用 (3) 県立学校図書館等との連携・協力(県立図書館機能) 「アウトリーチ → 出前講座等の実施」を参照					

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館活用講座は関係者が集まる場で短い時間をもらって実施するものが説明内容をしぼりやすい。単独開催は集客に工夫が必要。 ・R2末でブックリスト作成数47に対しパスファインダーは5。パスファインダーをもう少し作成していきたい。 ・ガイドブックは作成することができた。効果的な配布について試行錯誤しているところ。 	第2期は、利用者の情報リテラシー向上支援を積極的に実施していくこととしている。 対象者別・段階別の具体的なプログラムを策定、それに基づき、まずは試験的に講座等を実施していく必要がある。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)		
	成果	課題	成果	課題	課題		
資料の収集・提供	地域の課題に関する図書や雑誌、新聞、パンフレット等を系統的に収集し、提供します。	【取組】 ・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して実施。 ・ブックリストやパスファインダーを作成し、行政の掲示板で発信。 【成果】 ○ ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して実施。 ○ 図書館活用講座をきっかけとして、データベースの利用に繋がった事例があった。 【課題】 行政職員が業務上必要とする資料は、課によって異なるため、一層のニーズの把握が重要である。	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組…廃止理由も(例:ニーズがない)	【取組】 ・行政機関からの問い合わせや要望を受け、今年度から『近代消防』や『林業新知識』などの雑誌を購入した。 ・各課からのレファレンスをきっかけに、「ワーカースコープ」に関する図書や「引きこもり関係」の上映権付DVDを購入、紹介した。 ・行政職員向けのメールマガジンにておすすめ本を配信したほか、業務に役立つブックリストを作成し、行政職員対象の研修などで配布を行った。	【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 ○ 行政各課からの問い合わせ等の機会をとらえて資料を収集・提供することにより、各課の業務遂行に寄与することができた。 ・業務に役立つ資料をメールマガジンやブックリストを通じて継続的に紹介することで、資料の利用を促すことができた。 【課題】 行政職員が業務上必要とする資料は、課によって異なるため、一層のニーズの把握が重要である。	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組…廃止理由も(例:ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの	○…できた・概ねできた △…一部できた ×…できなかった
データベースの導入・提供	新聞記事や法務・政務関連等のデータベースを導入し、提供します。	【取組】 ・11月に行政職員向けのメールマガジンで、データベースによる情報検索のPRを行った。 ・データベース講習会や図書館活用講座に関しても、メールマガジン等で案内をしている。 ・「オーテピア高知図書館ミニ講座 データベースを使ってみよう! 医中誌Web基礎編」を実施(2月に同内容で4回)。 ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」(1/29,1/30)にてビジネス関係のデータベース紹介、演習を実施。 【成果】 ○ 図書館活用講座を行政各課にも周知した結果、数名の参加があり、DB利用についてなど参考になったとの声があった。 【課題】 ・高知新聞以外の問合せや利用が比較的小さい。 ・行政職員への周知が不足している。	・メールマガジン等で、レファレンス事例とともに紹介するなど、利用のイメージがわかりやすい紹介をする。 ・来年度の行政職員向けの研修依頼もきており、データベースの活用方法についても紹介できるように準備を進める。	【取組】 ・5月に行政職員向けのメールマガジンで、新規導入のデータベース「日経BP記事検索サービス」のPRを行った。 ・データベース講習会や図書館活用講座に関しても、メールマガジン等で案内をしている。 ・8/6、8/17 主に県内高等学校教職員対象のデータベース講習会「高校生ビジネスプラン・グランプリ」×「MieNa」(オンライン)を実施。 【成果】 ○ メールマガジンを発信した結果、データベースの利用につながる事例や問い合わせがあった。 【課題】 ・新規導入データベースの利用を促進するPRを実施したが、まだまだ利用が少ない。 ・行政職員への周知は継続して行っているが認知度や利用率はまだまだ低い。	【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 ○ メールマガジンを発信した結果、データベースの利用につながる事例や問い合わせがあった。 【課題】 ・新規導入データベースの利用を促進するPRを実施したが、まだまだ利用が少ない。 ・行政職員への周知は継続して行っているが認知度や利用率はまだまだ低い。	今後の取組 ・令和2年度に引き続き、データベース講習会や図書館活用講座での紹介およびメールマガジン等で、レファレンス事例とともに紹介するなど、利用のイメージがわかりやすい紹介をする。 ○今後の予定 R3年度内 データベース講習会「日本農業新聞データベース」 R3年度3月 データベース講習会「法情報データベースD1-law」 R4年度7～8月 データベース講習会「高校生ビジネスプラン・グランプリ」×「MieNa」 R4年度7～8月 データベース講習会「日本農業新聞データベース」 R4年度9月 データベース講習会「日経BP記事検索サービス」&「朝日新聞クロスサーチ」	○ 図書館活用講座を行政各課にも周知した結果、数名の参加があり、DB利用についてなど参考になったとの声があった。 【課題】 行政職員への周知は継続して行っているが認知度や利用率はまだまだ低い。
行政資料の収集	県庁や高知市役所をはじめとして、他の県内各市町村に対しても図書館への行政資料提供の徹底を働きかけて、収集します。	【取組】 (県)年度初めと8月の県庁執務環境整理月間に合わせての2度、全庁メールによる県庁各課および出先機関への行政資料寄贈の呼びかけをおこなった。また、県内市町村総務課および県内私立学校・大学に対して資料寄贈依頼をFAXでおこなった。 (市)年度初めに全庁掲示板で各課へ寄贈依頼を発信した 【成果】 ○ (県)県庁各課については確実に図書館で資料収集していることの認知度が上がっており、行政資料の充実につながった。また利用者からの問い合わせも増えており、収集した資料が活用されている手応えを感じた。 (市)市も同様に、全庁掲示板を見ての寄贈及び寄贈の問い合わせが年々増加している。引き続き年に1～2度、寄贈依頼を発信する。 【課題】 各市町村から、継続して寄贈されない(担当者が代わり引き継がれていない)こともある。県・市町村ともに、ウェブサイトでの公開のみで紙資料を作成しない行政資料が増えつつある。このようなデジタル資料への対応を検討する必要がある。	検討する材料として、まずは県の行政資料について、県庁ウェブサイトで公開されている行政資料を把握し、当館での所蔵の有無、紙資料を作成しているかの確認等をおこなう。検討にあたっては、県立公文書館とも意見交換する。	【取組】 (県)年度初めと8月の2度、全庁メールによる県庁各課及び出先機関への行政資料寄贈の呼びかけを行った。また、県内市町村総務課及び県内私立学校・大学に対して資料寄贈依頼をFAXで行った。 (市)年度初めに全庁掲示板で各課へ寄贈依頼を発信した。 【成果】 ○ (県)県庁各課、市町村とも継続して行政資料が寄贈され、所蔵資料がより充実しつつある。 【課題】 (県)市町村により寄贈に濃淡がある。また、新規作成資料等の把握が十分できていない。あわせて、これまでも課題となっているデジタル資料への対応の検討が進んでいない。	【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 ○ (県)県庁各課、市町村とも継続して行政資料が寄贈され、所蔵資料がより充実しつつある。 【課題】 (県)市町村により寄贈に濃淡がある。また、新規作成資料等の把握が十分できていない。あわせて、これまでも課題となっているデジタル資料への対応の検討が進んでいない。	今後の取組 ・引き続き寄贈依頼をおこなう ・デジタル情報の収集・保存の先行事例等についての情報収集	○ 図書館の取り組みについて県や市町村等にも一定認知された結果、県、市町村とも行政資料の所蔵数、種類ともに確実に充実してきている。 【課題】 行政資料収集についてのさらなるPR。デジタル資料の収集と保存方法の検討。
各課・機関への長期貸出	団体貸出カードを使用することにより、資料の長期貸出を行います。	【取組】 ・行政各課、高知市学校向けの団体貸出の運用及び利用者資格区分について、児童担当やシステム担当と協議中。 ・行政向けメールマガジン「オーテピア高知図書館通信 Vol.22 ～お近くの図書館でオーテピアを利用できます!～」で協力貸出・返却等について発信。 【成果】 ○ 継続して団体貸出を希望する行政機関もあり、資料の準備などの支援を行っている。 【課題】 行政各課、高知市学校向けの団体貸出の運用について、行政機関のニーズを把握しつつ、協議を進めていく必要がある。	・今後も継続して登録のメリットや、活用方法の提案について情報発信を行う。 ・行政各課、高知市学校向けの団体貸出の運用について、行政機関のニーズを把握しつつ、今後も児童担当やシステム担当と協議を進めていく。	・行政各課の団体貸出の運用については確定。高知市学校向けの団体貸出の運用及び利用者資格区分について、児童担当やシステム担当と協議中。 【成果】 ○ 継続して団体貸出を希望する行政機関も多く、各課の業務遂行に役立てられている。 【課題】 ・高知市学校向けの団体貸出の運用について、行政機関のニーズを把握しつつ、協議を進めていく必要がある。	【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 ○ 継続して団体貸出を希望する行政機関も多く、各課の業務遂行に役立てられている。 【課題】 ・高知市学校向けの団体貸出の運用について、行政機関のニーズを把握しつつ、協議を進めていく必要がある。	今後の取組 ・行政機関向けの団体貸出の運用についてまとめたものを作成し、広報していく。 ・高知市学校向けの団体貸出の運用について、ニーズを把握しつつ、今後も児童担当やシステム担当と協議を進めていく。	○ 継続して団体貸出を希望する行政機関も多く、各課の業務遂行に役立てられている。 【課題】 ・高知市学校向けの団体貸出の運用について、行政機関のニーズを把握しつつ、協議を進めていく必要がある。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度 令和3年度4月以降				令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日				令和3年度 令和3年度9月以降				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で	
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check)				【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check)					
	成果 冒頭に達成状況を○△×で				課題				成果 冒頭に達成状況を○△×で				課題					
庁内便等の活用 図書館資料の貸出しや返却に 庁内便等を活用することにより、利便性を向上します。	返却ポストの利用	県	286冊	【成果】○ 特に市役所内の返却ポストは利用冊数も多く コンスタントに利用があり、行政各課や市役所 を訪れる方の利便性向上につながっている。	【課題】継続して周知するとともに、より利便性の高い 運用についても検討する必要がある。	県	136冊	【成果】○ 特に市役所内の返却ポストは利用 冊数も多くコンスタントに利用があり、 行政各課や市役所を訪れる方の 利便性向上につながっている。	【課題】返却ポストの回収のタイミングによる トラブルがある。 継続して周知するとともに、サイン の見直しや回収頻度を増やすなど、 より利便性の高い運用についても 検討する必要がある。	県	2,709冊	【成果】○ 特に市役所内の返却ポストは利用冊 数も多くコンスタントに利用があり、 行政各課や市役所を訪れる方の利便 性向上につながっている。	【課題】継続して周知するとともに、サインの 見直しや回収頻度を増やすなど、より 利便性の高い運用についても検討す る必要がある。	市	4,368冊	【成果】○ 定期的的にブックリストの作成を行い、 連携各所で配布することで、利用者にと って必要な情報へたどり着きやすくな った。 ・高知県労働委員会事務局と連携して ブックリストを作成した取組み等により、 R元年度に労働委員会事務局が知事 賞を受賞した。	【健康安心】 ・専門機関や各種団体と連携し、健康・ 医療・福祉・防災等に関連した課題解 決に役立つブックリスト・パスファイン ダーの作成・提供ができた。	【課題】・パスファインダーは作成に時間がか かり、ニーズに十分対応できていない。 【健康安心】 ・利用者のニーズに応えるため、ブッ クリスト・パスファインダーの新規作成 が必要である。 ・新鮮な情報を提供するため、作成済 みのブックリストおよびパスファイン ダーの内容更新が必要である。 ・より使いやすくなるため、パスファ インダーの様式改訂が必要である。
		市	4,368冊				市				2,709冊				市			
利用ガイド ブックリスト やパス ファイン ダーの作 成・提 供	仕事に役立つリ ストを作成し、 資料を探す支 援を行います。	ブックリスト *開館からの累 計 *ウェブ・サイトで 公開しているもの	98種	【成果】○ ・昨年度から連携を続けている高知県労働委 員会事務局からは、引き続きブックリストの作 成依頼がある。	【課題】・パスファインダーは作成に時間がかかるため 種類が少ない。	ブックリスト *開館からの累計 *ウェブ・サイトで公 開しているもの	107種	【成果】○ ・高知県労働委員会事務局と連携し て作成したブックリストは、実際に 相談の多い相談内容を基に作成し ているため、利用者のニーズに沿 った内容のリストを作成することが できている。配布しているブックリ ストを持って図書館へ来館される方 もおり、連携機関、図書館、利用者 にとってメリットのある連携となっ ている。 【健康安心】 ・新規作成したブックリストは、館内 で配布、ウェブ・サイトに掲載したほ か、行政各課へも活用を呼びかけ た。 ・関係機関にブックリストを提供す ることで、図書館の利用者以外にも 情報提供ができた。 ・関係機関からブックリストが利用 者によく手に取られていて好評で あるとの声をいただいた(県民・市 民の暮らしの中で生じる課題解決 を支援できた)。	【課題】・利用者のニーズに応えるため、 ブックリスト・パスファインダーの新 規作成が必要である。 ・新鮮な情報を提供するため、作成 済みのブックリストおよびパスファ インダーの内容更新が必要である。 ・より使いやすくなるため、パスファ インダーの様式改訂が必要である。	ブックリスト *開館からの累計 *ウェブ・サイトで公 開しているもの	13種	【成果】○ ・高知県労働委員会事務局と連携し て作成したブックリストは、実際に 相談の多い相談内容を基に作成し ているため、利用者のニーズに沿 った内容のリストを作成することが できている。配布しているブックリ ストを持って図書館へ来館される方 もおり、連携機関、図書館、利用者 にとってメリットのある連携となっ ている。 【健康安心】 ・新規作成したブックリストは、館内 で配布、ウェブ・サイトに掲載したほ か、行政各課へも活用を呼びかけ た。 ・関係機関にブックリストを提供す ることで、図書館の利用者以外にも 情報提供ができた。 ・関係機関からブックリストが利用 者によく手に取られていて好評で あるとの声をいただいた(県民・市 民の暮らしの中で生じる課題解決 を支援できた)。	【健康安心】 ・社会情勢の変化に留意し、利用者の 関心が高いテーマやニーズに沿った ブックリストやパスファインダーを関 係機関と連携しながら作成・提供す る。 ・ブックリストおよびパスファイン ダーの提供にあたっては、県市庁内掲 示板に掲示するほか、関係機関への 配布等も視野にいれて実施する。 ・その他、内容の更新が必要なもの は、随時更新する。	【課題】・パスファインダーは作成に時間がか かり、ニーズに十分対応できていな い。 【健康安心】 ・利用者のニーズに応えるため、ブッ クリスト・パスファインダーの新規作成 が必要である。 ・新鮮な情報を提供するため、作成済 みのブックリストおよびパスファイン ダーの内容更新が必要である。 ・より使いやすくなるため、パスファ インダーの様式改訂が必要である。				
		パスファイン ダー *開館からの累 計 *ウェブ・サイトで 公開しているもの	13種 (ビジネス種、多文 化種、健康安心 種、ティーンズ種)				パスファイン ダー *開館からの累計 *ウェブ・サイトで 公開しているもの				13種				パスファイン ダー *開館からの累計 *ウェブ・サイトで 公開しているもの	13種		
庁内レ ファレン ス・サー ビス	行政運営や政策 立案に必要な 情報収集や 関連調査を 支援します。	【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの 機会を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹 介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体を メインの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファ レンス・サービスの具体例を紹介。 ・高知県移住促進課の協力を得て、オーテピア高知図 書館活用事例まんがを制作。	【成果】○ ・月に数回程度、行政職員によるレファレンス 依頼がある。回答後、お礼メール等の返信がある 場合もある。 ・作成した図書館活用事例まんがをPRする。 ・県移住促進課と連携して図書館活用事例ま んがを制作することで、効果的にレファレンス サービスをPRすることができた。	【課題】・今後も継続してレファレンス・サービスの周 知や情報発信を行っていく必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員からのレファ レンスに特化したメールアドレス開設などを検討 する必要がある。	【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの機会 を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメイ ンの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・ サービスの具体例を紹介。 ・高知県移住促進課の協力を得て制作した図書館活用事例 まんがを活用してのレファレンス・サービス紹介。	【成果】○ ・月に数回程度、行政職員によるレ ファレンス依頼がある。回答後、初 めて使った方からも「大変実用的で また活用したい」等の声もあり、各 課の業務遂行に寄与できている。 ・県移住促進課と連携して図書館活 用事例まんがを制作することで、効 果的にレファレンスサービスをPR することができた。 【健康安心】 ・図書館活用講座の実施や連携の深 化等により、行政機関からのレファ レンス依頼が増えた。	【課題】・今後も継続してレファレンス・サー ビスの周知や情報発信を行ってい く必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員から のレファレンスに特化したメールア ドレス開設などを検討する必要があ る。	【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの機会 を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメイ ンの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・ サービスの具体例を紹介。 ・高知県移住促進課の協力を得て制作した図書館活用事例 まんがを活用してのレファレンス・サービス紹介。	【成果】○ ・今年度中に、イントラ活用などによ り、専用電話番号やメールアドレスの 開設を行う。 ・行政職員向けの図書館活用講座など で、今後も継続してレファレンス・サー ビスの周知や情報発信を行う。 ・作成した図書館活用事例まんがを活 用し引き続きPRする。 ・他課とも連携して、図書館活用事 例まんがを制作する。	【課題】・今後も継続してレファレンス・サー ビスの周知や情報発信を行ってい く必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員から のレファレンスに特化したメールア ドレス開設などを検討する必要があ る。	【成果】○ ・メルマガの発信や図書館活用講座の 実施、行政各課と連携して制作した図 書館活用事例まんがの活用等により、 レファレンス・サービスの認知度は少 しずつ高まり、各課の業務遂行に寄与 できている。	【課題】・今後も継続してレファレンス・サー ビスの周知や情報発信を行ってい く必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員から のレファレンスに特化したメールア ドレス開設などを検討する必要がある。						
		【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの 機会を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹 介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体を メインの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファ レンス・サービスの具体例を紹介。 ・高知県移住促進課の協力を得て、オーテピア高知図 書館活用事例まんがを制作。	【成果】○ ・月に数回程度、行政職員によるレファレンス 依頼がある。回答後、お礼メール等の返信がある 場合もある。 ・作成した図書館活用事例まんがをPRする。 ・県移住促進課と連携して図書館活用事例ま んがを制作することで、効果的にレファレンス サービスをPRすることができた。										【課題】・今後も継続してレファレンス・サービスの周 知や情報発信を行っていく必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員からのレファ レンスに特化したメールアドレス開設などを検討 する必要がある。	【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの機会 を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメイ ンの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・ サービスの具体例を紹介。 ・高知県移住促進課の協力を得て制作した図書館活用事例 まんがを活用してのレファレンス・サービス紹介。	【成果】○ ・月に数回程度、行政職員によるレ ファレンス依頼がある。回答後、初 めて使った方からも「大変実用的で また活用したい」等の声もあり、各 課の業務遂行に寄与できている。 ・県移住促進課と連携して図書館活 用事例まんがを制作することで、効 果的にレファレンスサービスをPR することができた。 【健康安心】 ・図書館活用講座の実施や連携の深 化等により、行政機関からのレファ レンス依頼が増えた。	【課題】・今後も継続してレファレンス・サー ビスの周知や情報発信を行ってい く必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員から のレファレンスに特化したメールア ドレス開設などを検討する必要があ る。	【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの機会 を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメイ ンの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・ サービスの具体例を紹介。 ・高知県移住促進課の協力を得て制作した図書館活用事例 まんがを活用してのレファレンス・サービス紹介。	【成果】○ ・今年度中に、イントラ活用などによ り、専用電話番号やメールアドレスの 開設を行う。 ・行政職員向けの図書館活用講座など で、今後も継続してレファレンス・サー ビスの周知や情報発信を行う。 ・作成した図書館活用事例まんがを活 用し引き続きPRする。 ・他課とも連携して、図書館活用事 例まんがを制作する。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降		令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年度9月以降		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)	
庁内各機関等と連携した取組の実施	<p>【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県リサイクル製品等認定制度パネル展:県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRに寄与(6/4～6/9 共同楽習スペース) ・こうちのohana満開プロジェクト:市農林水産課と連携し、花さ需要拡大を目的とした展示を実施(6/26～11/27 共同楽習スペース、1階休憩コーナー) ・森林率日本一の高知家で木と生きる:県森づくり推進課と連携し、森林ボランティアの紹介パネル等を展示(8/14～9/2 1階休憩コーナー) ・男女共同参画図書企画展:市男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進のための展示を実施(8/13～9/30 2階展示の本棚) ・市商工振興課が情報提供する「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」高知県まとめサイト「高知家の○○」【高知家のテイクアウト・デリバリー情報】を当館Facebookで紹介。 ・森林保全ボランティア活動紹介パネル展:県林業環境政策課と連携し、森林保全ボランティアの活動を紹介(9/10～10/6 共同楽習スペース) ・動物愛護の絵画展:県食品衛生課と連携し、絵画展を実施(10/8～11/3 共同楽習スペース) ・個別労働相談・あっせん制度のPR、働き方改革パネル展:県労働委員会事務局と連携し、労働関係のパネル展を実施(10/15～10/28 1階休憩コーナー) ・高知路面電車写真展:市くらし・交通安全課と連携し、路面電車の写真と関連グッズを展示し、スタンプラリーを行った(10/17～10/30 2階階段下2か所、3階バックヤード(開架側ホワイトボード)) ・公共建築パネル展:県建築課と連携し、優れた県内の公共建築を紹介(10/29～11/10 1階休憩コーナー) ・第11回高知国際版画トリエンナーレ展関連展示:県工業振興課と連携し、版画展と土佐和紙についてPR(12/1～12/25 共同楽習スペース) ・「令和2年度高知『環境絵日記』:県環境共生課と連携し、県内の児童による環境絵日記を展示(1/14～1/27 共同楽習スペース) ・「第35回地場産業大賞展示」:高知県産業振興センターと連携し、地場産業大賞受賞製品・事業を紹介(2/4～2/26 共同楽習スペース) ・「森林環境情報誌「もりりん」キャラクター似顔絵コンテスト応募作品展示会」:県林業環境政策課と連携し、「もりりん」キャラクター似顔絵応募作品を展示(3/9～3/31 2階北階段下) 	<p>【取組の成果と課題】(Check)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4階諸室は行政機関での認知度も高く、各部局の課題に対応した講座やイベント等に頻繁に活用された。 ・館内での展示を通じて、高知県・高知市の施策のPRに貢献できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企画展示については、(申し込みがあった件についてお受けするため)やや受動的な取り組みとなっており、当館からのアプローチがやや不足している。 	<p>【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階共同楽習スペースでのパネル展示であれば、関連本の展示を実施できる場合があるので、双方にとってメリットのある場合は、連携の機会と捉え当館からもアプローチしていく。 	<p>【取組の成果と課題】(Check)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康安心 <ul style="list-style-type: none"> ・次のイベントを実施した 6/6 【連携】高知県障害福祉課主催「世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 記念映画上映会」でブックリスト3種、バリアフリーサービスチラシ、やさしい利用案内を配布した。 7/25 【連携】高知県健康増進課主催「高知市いきいき健康チャレンジ2021 応援講座～栄養編～」 延期【連携】高知県障害福祉課主催「支えあいフォーラム」 ・次の企画展示およびパネル展を実施した。 4/1～4/28 【連携・パネル展】高知県障害福祉課・高知県自閉症協会「発達障害の理解を深める」 4/29～5/5 【連携・パネル展】こうち男女共同参画センター「ソーレ」主催 講座のご案内 5/1～5/30 【連携・企画展示】高知県労働委員会事務局「アンガーマネジメント(人間関係から生じる怒りを上手にコントロールする)」 5/6～5/26 【連携・パネル展】高知県立消費生活センター「消費生活パネル展」 5/27～6/9 【連携・パネル展】高知県健康増進課「健康づくりお役立ちコーナー」 5/27～6/16 【連携・パネル展】高知県心の教育センター「こころには、高知県心の教育センターです」 6/1～6/30 【連携・企画展示】高知県健康増進課「健康づくりお役立ち情報コーナー」 6/2～6/16 【連携・企画展示】高知男女共同参画センター「ソーレ」/「ジェンダーカフェ(こうち男女共同参画センターソーレからイベントのお知らせ)」 7/20～8/9 【連携・企画展示】高知市人権同和・男女共同参画課「ジェンダー平等社会図書企画展」 ・ひきこもりピア相談会の実施に向けて、高知県地域福祉政策課との協議を開始した。 ・9月以降のイベントについて、高知県高齢者支援課等と打ち合わせを進めている。 【児童】 <ul style="list-style-type: none"> 8/14～8/18 パネル展「第六小学校のことを地域に発信しよう展」(連携:高知市立第六小学校) 8/14～8/31 企画展示「高知県立美術館『いきものはわたしのかがみ』展関連企画 ミロコマチコ特設コーナー」(連携:高知県立美術館) ・「高知県リサイクル製品等認定制度パネル展」県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRを実施(6/4～6/9 共同楽習スペース) ・「目で見る!高知県の気候変動と適応策」高知県衛生環境研究所と連携し、気候変動に関するパネル展を開催(8/19～8/31 1階休憩コーナー) ・「男女共同参画推進パネル展」県人権男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進の啓発を実施(8/19～8/25 共同楽習スペース) 【ビジネス】 <ul style="list-style-type: none"> ・5/1～5/30 図書展示「土佐まるごとビジネスアカデミー2021」(連携:高知県産学官民連携センター) ・7/1～7/31 図書展示「高知のいいもの再(?)発見」(連携:高知県工業振興課) ・7/12～7/19 高知県産学官民連携センターが主催する「ビジネストレンドセミナー(オンライン)」で関連ブックリストを作成し、提供。 ・高知県労働委員会事務局と連携して、ブックリスト3種類を作成し、提供。 ・こうちのohana満開プロジェクトとして、館内でお花の展示と「フラワーアレンジメント教室」を共催開催(連携:高知県農林水産課) 【ティーンズ・県立学校支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・7/1～8/31 図書展示「悩みと迷いに効く本」(連携:高知県教育委員会事務局高等学校課) ・7/23 イベント「描こう★わたしの未来地図」を開催(連携:ジョブカフェこうち、高知県雇用労働政策課) ・7/22-8/9 パネル展示「産業教育PRイベント」学校を知らう!学校紹介(連携:高知県教育委員会事務局高等学校課) ・7/22-23 高知県公立高校産業教育PRイベント「みんなで知ろう!体験しよう!」で会場提供、関連図書の展示等を実施(連携:高知県教育委員会事務局高等学校課) ・8/31-9/29 パネル展示「県立学校における新しい学び」(連携:高知県高等学校振興課) 	<p>【取組の成果と課題】(Check)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4階貸し施設は行政機関での認知度も高く、各部局の課題に対応した講座やイベント等に頻繁に活用された。 ・館内での展示を通じて、高知県・高知市の施策のPRに貢献できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広報での図書館活用を知らない部署がある。 	<p>【取組の成果と課題】(Check)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康安心 <ul style="list-style-type: none"> ・次のイベントを実施予定 【連携】高知リハビリテーション専門職大学主催公開講座(9/12、10/10、11/7) 【連携・主催】高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会、高知県産業保健総合支援センター共催「がん相談会in2021」(10/10、20、30【中止】) 【連携】土佐リハビリテーションカレッジ主催「こけないために脳と体を鍛えよう」(10/3【中止】) 【連携】高知県高齢者支援課主催「支えあいフォーラム」(11/10、11) 【連携・主催】高知県地域福祉政策課共催「ひきこもりピア相談会～思いや悩みを話したい、聞いてほしい方へ～」(1月) 【連携】高知医療センター主催「第61回地域医療連携研修会」(2/23) ・次の連携展示やパネル展を実施予定 【連携・パネル展】高知市地域防災推進課「シェイクアウト訓練」(9/23-9/29) 【連携・パネル展】高知市地域保健課「世界エイズデー啓発 パネル展」(11/25-12/1) 【連携展示】高知県業務衛生課「令和3年度薬物乱用防止ポスター 標語コンテスト」(12/1-12/28) 【連携展示】高知県地域福祉政策課・高知県立精神保健福祉センター「ひきこもり(仮)」(1/5-1/30) 【連携・パネル展】高知市消防局総務課「タイトル未定」(2/3-3/2) 【連携・パネル展】高知県医療政策課「意思表示でつなぐいのち。」(2/25-3/1) 【連携・パネル展】高知市人権同和・男女共同参画課「国際女性デー」(3/3-3/29) 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広報で図書館を活用できることを知らない機関があり、一層の周知が必要。 		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降		令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年度9月以降		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で	
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)			
	成果	課題	成果	課題	成果	課題	成果	課題		
出前図書館の実施	講座やイベント時にテーマに沿った資料を持参し、その場で資料の貸出しやレファレンス・サービスを行います。	出前図書館	3 回実施	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が常駐せず本の展示のみとしたり、代替案としてブックリストを提案することで、非接触での図書紹介を進めることができました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が常駐しない出前図書館では、カウンターに行き借りるひと手間がネックとなり、貸出冊数が伸びにくい。 	職員不在の出前図書館ではどうしても利用者に図書館で貸出手続きを行っていただく手間が発生するため、貸出冊数は減少する。その場でご覧になっている方はいるほか、実施機関へ所蔵図書のアピールができる機会となっていることから、貸出冊数にこだわらず、図書館PRの一環と考えて、職員が常駐しない形での出前図書館の実施を継続する。	出前図書館	4 回実施	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が常駐せず本の展示のみとして、代替案としてブックリストを提案することで、非接触での図書の紹介を進めることができました。 【健康安心】 イベント終了直後に新規登録・カード不持参の貸出などを申し出る利用者や、セルフ貸出機で資料を借りていく利用者の姿が多く見られた。 イベントに合わせて実施することにより、参加者の求めに応じた資料が提供でき、参加者の知識の深化に寄与できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が常駐しない出前図書館では、カウンターに行き借りるひと手間がネックとなり、貸出冊数が伸びにくい。 	<p>【健康安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4/20 高知市地域包括支援センター「高知市地域包括支援センター研修会」 7/25 高知市健康増進課主催「高知市いきいき健康チャレンジ2021応援講座～栄養編～」 7/9、8/7 高知市農林水産課との共催事業「フラワーアレンジメント教室」(1)で、会場内に関連の本を展示した。 7/22・23 高知県公立高校産業教育PRイベント「みんなで知ろう！体験しよう！」で会場提供、関連図書の展示等を実施(連携:高知県教育委員会事務局高等学校課) 	<p>【健康安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の取組 職員不在の出前図書館は利用者自身で貸出手続きを行っていただく手間が発生するため、貸出冊数は減少する。ただし展示場所で本をご覧になっている方はいるほか、実施機関へ所蔵図書のアピールができる機会となっていることから、貸出冊数にこだわらず、図書館PRの一環と考えて、職員が常駐しない形での出前図書館の実施を継続する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オープンシア4階の部屋を使ってイベント等行う際に、職員が常駐せず本の展示をする方式が定着し、貸室を利用する各部署や団体に、出前図書館の提案がしやすくなった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。
アウトリーチ	行政支援サービスや図書館の情報提供機能について、各行政機関のニーズに合わせて説明します。	<ul style="list-style-type: none"> 4/6県新規採用職員研修基礎①にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) 4/13県新規採用職員研修(社会人経験者採用)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(集合研修/30分) 5/27高知県教育センターのチーフ会にて図書館活用講座を実施(30分) 6/2県主催研修(基礎)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) 6/17高知県教育センター職員(チーフ除く)向けに図書館活用講座を実施(30分) 6/19高知県産学官民連携センターに新たに着任した職員向けに図書館活用講座を実施(30分) 7/21県移住促進課向けに図書館活用講座を実施(30分) 8/6県地産池消・外商課向けに図書館活用講座を実施(30分) 産学官民連携センターが主催する土佐経営塾で図書館活用講座の動画を提供 10/15県生涯学習課向けに図書館活用講座を実施(15分) 11/4高知県心の教育センター向けに図書館活用講座を実施(30分) 2/2高知市消防局向けに図書館活用講座を実施(60分) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講座内容を各課の課題やニーズに応じたものにする事で、レファレンス・サービスの利用、チラシやパンフレットの収集、連携事業の依頼などに結び付いている。 教育センターへの図書館活用講座では、試行的に、講座と利用登録(共通利用カード、電子図書館)をセットにして実施した。職員の登録率が上がっただけでなく、講座で知ったサービスをすぐに利用することができ、講座の効果がより高まった。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、土佐経営塾では図書館活用講座動画を提供。土佐経営塾受講者の利用を促進することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知市各課への図書館活用講座が十分にできていない。 	<p>パネル展示等での連携機会をとらえ、高知市各課に対し、サービス説明や図書館PRを行い、図書館活用講座の実施を提案する。</p>	<p>【健康安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6/3 高知市防災政策課に対して図書館活用講座を実施した。 4/20 高知市地域包括支援センター「高知市地域包括支援センター研修会」にて図書館活用をPRした。 4/23 高知県発達障害者支援センターと連携について協議しサービスの説明を行った。 5/6 高知県心の教育センターと連携について協議しサービスの説明を行った。 6/3 高知市防災政策課と連携について協議しサービスの説明を行った。 8/10 高知県警察署警務課と連携について協議しサービスの説明を行った。 <p>【調べ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県新規採用職員研修(4月動画配信)において、図書館活用講座を実施した。 6/10こうち人づくり広域連合が主催する政策研究共同研修において、図書館活用講座を実施した。 7/7 高知県生涯学習課主催「令和3年度第1回社会教育主事等研修」に置いて図書館活用講座を実施した。 <p>【ビジネス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6/1高知県産学官民連携センターの新規着任者に向けた図書館活用講座を開催した。 高知県主催研修(5月動画配信)において、図書館活用講座の動画を提供した。 	<p>【健康安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修、主査研修後のアンケート結果によると、図書館活用への理解が深まった、これから活用したいという声が多くあった。 産学官民連携センターに向けた講座を実施した結果、土佐MBAでのブックリスト提供や連携展示につなげることができた。 <p>【健康安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に専門機関にアプローチし、また関係機関からも声掛けがあり、連携に向けた協議やサービス説明を行うことができた。 前年度から取り組んできた専門機関との関係づくりが効果を発揮しはじめた。団体貸出・レファレンスの他、出前図書館の依頼があるなど、専門機関の利用が伸びている。 各機関との関係が深まる中で、課題や施策だけでなく、それら課題の解決や施策を担う機関の状況や環境を意識することができた。 <p>【成果の把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐MBA受講者の図書館の活用状況についてフィードバックが十分に把握できていない。 <p>【健康安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県市の抱える課題の解決に資するため、県市の課題解決や施策を担う行政機関や団体に向け、より重点的に図書館活用の提案やサービスの周知を行う必要がある。 	<p>【健康安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係課に、職員の図書館活用について聞き取る。 引き続き、各課向け図書館活用講座を実施する。 <p>【健康安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当間での協議を進め、行政機関や団体に向けて図書館活用を働きかける。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各部署や団体向けに図書館活用講座を実施し、新たな図書館活用につなげることができた。データベースやレファレンスを繰り返し利用する部署があるほか、業務で必要な本を庁内便で貸し出すなど、職員の主体的な図書館活用を促すことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> さらに多くの行政職員に向けて、図書館活用を進める必要がある。 			

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
<p>県・市職員向けにメールマガジンで図書館のサービスをPRすることができた。</p> <p>関係機関に向けて図書館活用のための提案うあサービスの周知を行ったことで、連携やレファレンスの利用拡大等に繋がった。</p> <p>引き続き、より多くの機関に図書館サービスの説明や提案等を行っていく必要がある。</p>	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和2年度1月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降		
	【取組の成果と課題】(Check)	【成果】	【課題】	【取組の成果と課題】(Check)	【成果】	【課題】	【取組の成果と課題】(Check)	【成果】	
<p>○選定支援コーナー受入（雑誌除く・教科書含む） = 1,791冊 市885冊（雑誌52冊を除く） 県678冊（CE含む）</p> <p>○研究所コーナー受入 92冊</p>	<p>○選定支援コーナー受入（雑誌除く・教科書含む） = 1,791冊 市885冊（雑誌52冊を除く） 県678冊（CE含む）</p> <p>○研究所コーナー受入 92冊</p>	<p>【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）</p>	<p>【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）</p>	<p>【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）</p>	<p>【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）</p>	<p>【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）</p>	<p>【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）</p>	<p>【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）</p>	<p>○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった</p>
<p>基本図書の充実</p> <p>調べ学習に役立つ図書の収集・提供</p> <p>しかけ絵本や特大絵本の収集・提供</p>	<p>長く、子どもに読み継がれる基本的な図書を選定・収集し、提供します。</p> <p>子どもたちの疑問や好奇心に応え、調べ学習に役立つ図書を収集し、提供します。</p> <p>しかけ絵本や特大絵本等、子どもたちの興味や好奇心をくすぐるような絵本を収集し、提供します。</p>	<p>児童書の受入冊数 3,932冊</p> <p>↑雑誌・選定支援コーナー分は除く</p> <p>・教科書の改訂に合わせた新しい団体貸出セットの提供を始めた。また、団体貸出セットの内容を見直し、資料の入れ替えや、必要のないセットの解体をした。</p> <p>・県市の担当が協力して選書ができる仕組みを再確認した。</p> <p>・しかけ絵本を積極的に購入した。</p> <p>・傷んだ絵本を積極的に買い替えた。</p> <p>・令和3年4月に行うしかけ絵本の展示に向けて、準備をした。</p>	<p>【成果】○</p> <p>・教科書の改訂に合わせた団体貸出セットをすべて提供可能な状態にする。</p> <p>・しかけ絵本は分類ごとに配架されているため利用者が探しにくいという問題を解決するために、しかけ絵本の展示を行い、ブックリストを作成する。</p> <p>【課題】</p> <p>・なし</p>	<p>【成果】○</p> <p>・教科書の改訂に合わせた新しい団体貸出セットをすべて提供可能な状態にした。</p> <p>・しかけ絵本は分類ごとに配架されているため利用者が探しにくいという問題を解決するために、しかけ絵本の展示を4月に行った。</p> <p>・しかけ絵本を積極的に購入した。</p> <p>・絵本の傷みをチェックし、必要なものは買い替えた。</p>	<p>【成果】○</p> <p>・新たな団体貸出セットの提供により、学校での調べ学習の要望に応えることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>・しかけ絵本についての利用者からの問い合わせに答えられるよう、ブックリストを作成してカウンターに備えておくことが必要。</p>	<p>【成果】○</p> <p>今後の取組</p> <p>・しかけ絵本のブックリストを作成する。</p> <p>【課題】</p> <p>・必要な基本図書、調べ学習用の資料、しかけ絵本や特大絵本などを収集・提供できている。</p> <p>・令和2年度の教科書改訂に合わせた団体貸出セットを作成したことで、調べ学習の要望に沿った資料提供ができた。</p> <p>・しかけ絵本のブックリストが作成できていない。</p>			
<p>タイムリーな企画展示の実施</p>	<p>育児に関する図書や、子育てに関する資料を集めた子育て支援コーナーを設置し、展示を行います。</p>	<p>展示回数 16回</p> <p>展示本 2,316冊</p> <p>子ども…26種類 子育て支援…6種類公開中(子どもと重複しているものが3件有)</p> <p>・子育て支援コーナーのPRを出前図書館等で4回行った。</p> <p>・子育て支援コーナーでチラシや保育園の入所申込書を配布し、子育て世代に必要な情報提供を行った。</p> <p>・利用者の本の探しやすさを向上させるため、本棚のリニューアルを検討し、資料の入れ替えを行った。</p> <p>・乳幼児と保護者対象のおはなし会の会場で、子育て支援コーナーにある本の展示を行った。</p>	<p>【成果】○</p> <p>・展示に関連し行ったイベント（読書ラリー）が利用者から好評。</p> <p>・おはなし会の会場に子育て世代向けの本を展示したことで、開始までの待ち時間にコーナーのPRや、資料提供を行うことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>・子育て関連のブックリストを新規作成していない。</p> <p>・子育て支援コーナーから、2階・3階にある各関連書のコーナーへの誘導が必要。</p>	<p>【成果】○</p> <p>・子育て支援コーナーのリニューアルを完了させ運用を始める。</p> <p>・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行い、チラシ等を充実させる。</p> <p>・子育て関連のブックリストを作成する。</p> <p>・子育て支援コーナーから各関連書のコーナーへの効果的な案内方法を検討する。</p> <p>・利用者の本の探しやすさを向上させるため、本棚のリニューアルを行った。</p> <p>・乳幼児と保護者対象のおはなし会の会場で、子育て支援コーナーにある本の展示を行った。</p>	<p>【成果】○</p> <p>・おはなし会の会場に子育て世代向けの本を展示したことで、開始までの待ち時間にコーナーのPRや、資料提供を行うことができた。</p> <p>・子育て関連のブックリストを作成する。</p> <p>【課題】</p> <p>・子育て関連のブックリストを新規作成していない。</p> <p>・子育て支援コーナーから、2階・3階にある各関連書のコーナーへの誘導が必要。</p>	<p>【成果】○</p> <p>・子育て支援コーナーを設置し、適宜資料の入れ替えや配架の工夫を行い、子育て世代に役立つ情報提供を行った。</p> <p>・子育て関連のブックリストを作成する。</p> <p>・子育て支援コーナーから各関連書のコーナーへの効果的な案内方法を検討する。</p> <p>【課題】</p> <p>・子育て関連のブックリストを新規作成・更新する必要がある。</p> <p>・子育て支援コーナーから、2階・3階にある各関連書コーナーへの誘導が必要。</p>			

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で																	
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和2年度1月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降																			
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【成果】	【課題】	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【成果】	【課題】																		
○選定支援コーナー受入(雑誌除く・教科書含む) = 1,791冊 市885冊(雑誌52冊を除く) 県678冊(CE含む) ○研究所コーナー受入 92冊									○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった																	
探し方マニュアルの提供 コンピュータによる図書館の蔵書目録(OPAC)やデータベース、インターネットの基本的な使い方に関するマニュアルを作成し、提供します。また、作成したものは当館のホームページに掲載します。	・子どもコーナーの分類マップを配布した。 ・「子どもとしゃかんしんぶん」に、本の探し方を子どもに伝えるための記事を掲載した。		【成果】○ ・分類マップを配布したり、「子どもとしゃかんしんぶん」に本の探し方を掲載することで、利用者が本を探しやすくなった。	【課題】 ・OPACの使い方マニュアル未完成。	・引き続き「子どもとしゃかんしんぶん」に、本の探し方を子どもに伝えるための記事を掲載する。 ・OPACの使い方マニュアルを、ティーンズ担当が作成しているものを参考に作成する。	・子どもコーナーの分類マップを配布した。 ・「子どもとしゃかんしんぶん」の紙面に、OPACやデータベース、インターネットの基本的な使い方を記事として載せた。ウェブ・サイトにも掲載した。 ・夏休みの宿題に役立つ情報に特化したパスファインダーを新たに作成し、8月下旬に配布した。	【成果】○ ・分類マップを配布したり、「子どもとしゃかんしんぶん」に本の探し方を掲載することで、利用者が本を探しやすくなった。	【課題】 ・夏休みの宿題のパスファインダーは、利用者が多い7月～8月上旬に配布できたらよりよかった。	今後の取組 ・引き続き「子どもとしゃかんしんぶん」に、本の探し方や調べ方を子どもに伝えるための記事を掲載する。	【成果】○ ・子どもとしゃかんしんぶんとウェブ・サイトに、OPACやデータベース、インターネットの基本的な使い方を掲載し、自分で本を探せるよう支援をした。																
調べものをしやすい環境の整備 児童スペース内のカウンターでのレファレンスサービスの充実を図ります。	・子どもカウンター受付レファレンス		【成果】○ ・今までに作成したブックリストをレファレンスツールとして活用できた。	【課題】 ・館内配布用のブックリストが作成できていない。	・館内配布用のブックリストを作成する。	・子どもカウンター受付レファレンス	【成果】○ ・今までに作成したブックリストをレファレンスツールとして活用でき、業務が効率化した。	【課題】 ・館内配布用のブックリストが作成できていない。	今後の取組 ・館内配布用のブックリストを作成する。	【成果】○ ・ブックリストを作成し、レファレンスツールとしても活用した。																
	<table border="1"> <tr><td>事項</td><td>430件</td></tr> <tr><td>所蔵</td><td>6,806件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>7,236件</td></tr> </table>	事項	430件	所蔵	6,806件	合計	7,236件	<table border="1"> <tr><td>事項</td><td>248件</td></tr> <tr><td>所蔵</td><td>3,178件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3,426件</td></tr> </table>	事項	248件	所蔵	3,178件	合計	3,426件	子ども…既存26種類 子育て応援…6種類公開中(子どもと重複しているものが3件有)	ブックリスト 子ども…既存26種類 子育て応援…既存6種類(子どもと重複しているものが3件有)										
事項	430件																									
所蔵	6,806件																									
合計	7,236件																									
事項	248件																									
所蔵	3,178件																									
合計	3,426件																									
子どもと本を結びつける行事の実施 小さな頃から子どもが本に親しみ、また、保護者も子どもの読書に関心を持つように、読み聞かせ、ストーリーテリングなどを定期的に行います。	<table border="1"> <tr><td>開催数</td><td>参加者数(人)</td></tr> <tr><td>おはなし会</td><td>82 601</td></tr> <tr><td>手話おはなし会</td><td>2 22</td></tr> <tr><td>外国語おはなし会</td><td>6 154</td></tr> </table>	開催数	参加者数(人)	おはなし会	82 601	手話おはなし会	2 22	外国語おはなし会	6 154	<table border="1"> <tr><td>開催数</td><td>参加者数(人)</td></tr> <tr><td>おはなし会</td><td>44 343</td></tr> <tr><td>手話おはなし会</td><td>0 0</td></tr> <tr><td>外国語おはなし会</td><td></td></tr> </table>	開催数	参加者数(人)	おはなし会	44 343	手話おはなし会	0 0	外国語おはなし会		・参加者からは好評で、特に「びった～あかちゃんのおはなしかい」はリピーターが多い。	【課題】 ・おはなし会では、紙芝居、ストーリーテリング、手遊びを積極的に取り入れた。	・現在の取り組みを継続して行う。	・科学館と連携をとり、出張おはなし会を検討中	【成果】○ ・参加者からは好評で、特に「びった～あかちゃんのおはなしかい」はリピーターが多い。	【課題】 ・コロナの影響で、場所や人数に制約がある。	今後の取組 ・コロナの状況に応じて、対策をとりながら行事を開催する。	【成果】○ ・コロナの影響で休止した時期があったが、おはなし会を定期的に開催し、子どもや保護者に本に親しんでもらうことができた。
開催数	参加者数(人)																									
おはなし会	82 601																									
手話おはなし会	2 22																									
外国語おはなし会	6 154																									
開催数	参加者数(人)																									
おはなし会	44 343																									
手話おはなし会	0 0																									
外国語おはなし会																										

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和2年度1月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降				
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4~R3.3の実績 (数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4~R3.8の実績 (数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)				
○選定支援コーナー受入 (雑誌除く・教科書含む) = 1,791冊 市885冊 (雑誌52冊を除く) 県678冊 (CE含む) ○研究所コーナー受入 92冊											
普及活動	保護者やボランティアなど人の読み聞かせなどの普及	定期的に関書館で読み聞かせを実施します。また、家庭や学校で読み聞かせなどが行えるように研修会や講座を実施し、具体的なアドバイスも行います。	開催数	参加者数 (人)	【成果】 ○ ・PRによって新規参加者が増え、ストーリーテリングなどの普及を推進できた。 【課題】 ・新型コロナウイルスの影響で開催できなかった行事がある。	・ストーリーテリング勉強会の成果発表の場として、秋頃に発表会を設ける。	開催数	参加者数 (人)	【成果】 ○ ・「おはなしのマッチばこ」「土佐のわらべ」の作成で活動をPRできた。勉強会参加者の発表の場として、「大人のためのおはなし会」を企画した。 【課題】	今後の取組 ・ストーリーテリング勉強会の成果発表の場として、11月3日に発表会を設ける。	【成果】 ○ ・勉強会や読書を主催・共催することで、子どもに本やおはなしを手渡す人材を増やすことができた。 【課題】
	ブックトークの実施と普及	小学校高学年を主な対象として、ブックトークを実施します。また、ボランティアや学校関係者等への講座や研修を実施し、ブックトークを実践できる人材の育成に努めます。	開催数	参加者数 (人)	【成果】 ○ ・ブックトークの講座で、ブックトークができる担当を増やすことができた。 【課題】 ・子どもにブックトークを行う機会が少ない。	・外部のイベント等でブックトークを行うような機会がないか情報収集する。 ・行事などでブックトークを取り入れる。	開催数	参加者数 (人)	【成果】 △ ・ブックトークをまだ実践したことがない初任者に、ブックトークについて知ってもらうことができた。 【課題】 ・子どもにブックトークを行う場がない。	今後の取組 ・外部のイベント等でブックトークを行うような機会がないか情報収集する。 ・行事などでブックトークを取り入れる。	【成果】 △ ・図書館見学などの機会にブックトークを行った。 ・ブックトーク講座を実施し、関係者に関心を持ってもらった。 【課題】 ・子どもにブックトークを行う機会が少ない。
	児童書の全点購入	市町村立図書館や学校等が本の選定の際に、実際に見て参考にできるよう、出版される児童書を全て購入し、期間展示します。また、県内での巡回展示も行います。	利用件数	35 件 134 人	【成果】 ○ ・昨年度よりも利用が増加し、市町村立図書館や学校関係者の選書を支援することができた。 【課題】 ・選定支援コーナーの広報がさらに必要。 ・巡回展示後の図書の活用方法が確定していない。	・貸室の機会をとらえてPRを行う。 ・団体カード登録時にPRを行う。 ・巡回展示後の図書の活用方法について検討を行う。	利用件数	10 件 25 人	【成果】 ○ ・毎月利用があった。 ・市内の学校図書館支援員研修で行った選書会から、新規利用者が増えた。 【課題】 ・コロナの影響で移動が難しい遠方の市町村に対する支援について、検討が必要。	今後の取組 ・遠方の市町村に向けての選定支援を検討する。 ・研修などで選定支援コーナーのPRを行う。	【成果】 ○ ・児童書の新刊の全点購入をし、選定支援コーナーで展示した。発行から1年以上経過した資料の巡回展示を行い、県内全域への選定支援を行った。 【課題】 ・2021年度は巡回展示の希望がなかったため、遠方の市町村に対する選定支援について検討が必要。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で															
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和2年度1月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降																	
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)																				
○選定支援コーナー受入(雑誌除く・教科書含む) = 1,791冊 市885冊(雑誌52冊を除く) 県678冊(CE含む) ○研究所コーナー受入 92冊									○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった															
高知みらい科学館との連携 高知みらい科学館での講座等に関連した図書や雑誌等を展示したり、ブックトークを実施します。	・5/12～7/5、8/8～12/27「科学館モバイルミュージアム」の展示物をこどもコーナーにて展示した。	【成果】○ ・展示物と関連する本の書架を案内し、利用につながった。 【課題】 ・ブックトークができなかった。	・科学館でブックトークをする計画については、科学館と再検討をする。	・特記事項なし	【成果】× 【課題】 ・サイエンスショーなどの前にブックトークを行えるか時間帯や場所を相談したが、実験の準備等で難しいことがわかった。	今後の取組 ・高知みらい科学館と連携した図書展示を行う。 ・科学館でブックトークをする計画については、科学館と再検討をする。	【成果】△ ・「科学館モバイルミュージアム」の展示物をこどもコーナーにて展示し、関連する本の案内ができた。 【課題】 ・ブックトークの実施について、具体的に検討する必要がある。																	
情報リテラシーの学習機会の提供 図書館見学の機会をいかし、自らコンピュータで資料や情報を探る方法や図書の分類の仕組み、司書への尋ね方等を学ぶ機会を提供します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見学</td> <td>57</td> <td>2884</td> </tr> <tr> <td>こども司書受け入れ</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		団体	人数	見学	57	2884	こども司書受け入れ	1件		【成果】○ ・学年や理解度に合わせた見学対応ができたことで、様々なこどもに図書館の使い方や本の探し方を伝えることができた。 ・無理のないシフト調整・人員確保ができた。 ・コロナ対策として、見学者を少人数のグループに分け、回数を増やして行ったが、「声が聞きとりやすい」と好評だった。 【課題】 ・なし	・現在の取り組みを継続して行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見学</td> <td>29</td> <td>1868</td> </tr> <tr> <td>こども司書受け入れ</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		団体	人数	見学	29	1868	こども司書受け入れ	0件		【成果】○ ・感染対策に留意しつつ、見学希望のあった学校を受け入れることができた。 ・学年や理解度に合わせた見学対応ができたことで、様々なこどもに図書館の使い方や本の探し方を伝えることができた。 【課題】 ・現在の見学では、図書館の基本的な使い方の説明がメインになっており、データベースやインターネットの使い方などの説明ができていない。なお、図書館見学については、事務作業量が多い。	今後の取組 ・業務改善を行い図書館見学にかかる事務作業の効率化を図る。 【成果】○ ・図書館見学などの機会を生かし、図書館の役割や図書の分類の仕組みをこどもに伝えることができた。 【課題】 ・本以外にもデータベースやインターネットを活用する方法など、もう一歩踏み込んだプログラムを提供する必要がある。
	団体	人数																						
見学	57	2884																						
こども司書受け入れ	1件																							
	団体	人数																						
見学	29	1868																						
こども司書受け入れ	0件																							

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年4月1日～令和3年8月31日				
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績 (数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績 (数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)			
○選定支援コーナー受入 (雑誌除く・教科書含む) = 1,791冊 市885冊 (雑誌52冊を除く) 県678冊 (CE含む) ○研究所コーナー受入 92冊	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績 (数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 【課題】	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) や手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例：ニーズがない)	【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) や手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例：ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの		
アウトリーチ・サービスの実施 ボランティアとも連携し、図書館から外に出て、読み聞かせや本の紹介、講座を行い、ふだん図書館にこない子どもや保護者等に図書館への来館・利用を促します。また、これらの広報を積極的に行います。	6/3園長事務連絡会 サービスPR 6/4鏡小学校 訪問 6/5はりまや橋小学校 訪問 7/1高知こどもの図書館 訪問 8/7パパママひろば 出前 8/9親子みらい×ワーク研究室 出前・サービスPR 8/23親子みらい×ワーク研究室 出前・サービスPR 10/1 (木) 保育技術専門講座Ⅲ サービス説明 10/9 (金) パパママひろば 出前 10/28 (水) 市教研図書部会 講師 11/10 (火) 役務員研修 出前・サービスPR 11/18 (水) 図書館支援員研修 講師 12/6 (日) 長野ヒデ子さん講演会 出前 1/24 (日) 令和2年度 食育実践発表会 出前 2/14 (日) パパママひろば 出前 2/27 (土) こども司書 講師 3/9 (火)～3/14 (日) 「希少野生動植物普及啓発事業」展示 ブックリスト提供	【成果】 ○ ・サービスのPRや出前図書館、講座を行ったことで、登録、見学申込、選定支援コーナーの利用増につながった。 【課題】 ・なし	・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行う。 ・研修や貸出等で学校図書館と連携をとり、学校活動における図書館の利用を支援する。	4/15教育事務所等・生涯学習課連絡会：PR 4/21給食業務連絡会：PR 5/20高知市学校図書館支援員研修会：講師 7/12太平洋学園研修：講師 8/1親子みらい×ワーク研究室：出前・サービスPR 8/8測ってみよう元気力 子ども健康増進教室：出前・おはなし会	【成果】 ○ ・サービスのPRや出前図書館、講座を行ったことで、利用登録、貸出増につながった。 ・学校への団体貸出に関するチラシを作成し配布した。 【課題】 ・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携があまりできていない。	今後の取組 ・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行う。 ・研修や貸出等で学校図書館と連携をとり、学校活動における図書館の利用を支援する。	【成果】 ○ ・オーテピア内外で開催される行事や講座に出向き、ふだん図書館にこない子どもや保護者へ図書館のPRや出前図書館、おはなし会を行った。 【課題】

第1期計画総括評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
・小学生以下の子どものための資料を十分備え、子どもたちや保護者が過ごしやすい空間を作った。おはなし会や展示など子どもと本を結びつける様々な取り組みも行った。 ・学校関係者からのニーズの高かった選定支援コーナーも設置し、恒常的に利用されるようになった。 ・図書館見学の機会をいかし、情報リテラシーの向上を目指す。件数も多く、業務の効率化を図る必要がある。	・連携については、高知みらい科学館だけでなく、館外他機関との連携も検討する。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)	
	【成果】	【課題】		【成果】	【課題】		
ティーンズ・コーナーの設置・提供	ティーンズの興味・関心に応える本、学習内容を深めることのできる本等の収集し、ティーンズコーナーにおいて提供します。	【取組】 ○ティーンズ・コーナーの設置・提供 【取組】 所蔵冊数：約1万冊 令和2年度資料受入冊数：約2千冊	【成果】 ○資料のリフレッシュや面展示などの取組みにより、利用実績については過去2年以内の貸出が9割を超えており、利用者のニーズに答えることができている。 【課題】	ティーンズのニーズを把握し、積極的に活用されるような蔵書構成を目指す。	【取組】 コーナー冊数：約1万1千冊 令和3年度資料受入冊数：約700冊	【成果】 ○利用実績については、過去2年以内のティーンズ・コーナー所蔵資料の9割超貸出されており、利用者のニーズに答えることができている。 【課題】 ティーンズの利用が伸びていない。	【成果】 ○利用実績については過去2年以内のティーンズ・コーナー所蔵資料の9割超貸出されており、利用者のニーズに答えることができている。 【課題】 引き続きティーンズのニーズに応える資料収集を進めていく。
家庭での学習が困難なティーンズに対して、図書館資料を活用した学習の場を提供します。	【取組】 開架の閲覧席に加え、土日祝日や夏休み期間中にM5学習室の開放を行った。 4F学習室にて参考書を提供した。	【成果】 ○従来から行っている夏休み中のM5学習室の開放に加え土日祝日も学習室を開放した結果、生徒に提供できる座席数が増加し、開架の閲覧席に関する一般利用者からのクレームが減少した。 【課題】 自習目的で来館する学生・生徒は後を絶たず、特に学校の試験前などは特に多くの生徒が来館し混雑するが、提供できる座席には限界がある。	現状の取組みを継続し様子を見る。 学生に限らず自習利用を目的とした来館は飽和状態であり、提供方法の見直しが必要な場合は館全体で取り組む必要がある。	【取組】 開架の閲覧席に加え、土日祝日や夏休み期間中にM5学習室の開放を行った。 4F学習室にて参考書を提供した。	【成果】 ○図書館フロア外に学生や生徒が自習できる場所を設けることで、より多くの利用者への学習の場の提供が可能になった。 【課題】 自習目的で来館する学生や生徒は後を絶たず、特に学校の試験前などは特に多くの生徒が来館し混雑するが、提供できる座席には限界がある。	【成果】 ○図書館フロア外に学生や生徒が自習できる場所を新たに追加し、より多くの利用者へ学習の場を提供することができた。 【課題】 自習目的で来館する学生や生徒は後を絶たず、特に学校の試験前などは多くの生徒が来館し混雑するが、提供できる座席には限界がある。	
さまざまな事情を抱えるティーンズに対して、気軽に利用できる場を提供します。	【取組】 不登校や進学していない人を含む県内全域のティーンズが、SNSを介して気軽に図書館や同世代の仲間と関わりあうことができるよう「オーテピアティーンズ部」を企画し、活動を開始。図書館見学時でのチラシ配布、教職員や司書教諭の研修の場や学校訪問でのサービス説明を通して広報を行った。	【成果】 ○7月から活動開始し、今年度は18名の入部があった。 【課題】 今年度末で8名が卒業し、次年度は10名からスタート。新規部員の獲得のため積極的な広報を行い、活動内容を充実させる必要がある。	引き続き定期的に広報活動を実施し、「オーテピアティーンズ部」の周知を図る。	【取組】 引き続き「オーテピア・ティーンズ部」の活動を行っている。 また、以下の関係機関と不登校支援連携について協議しサービスの説明を行った。 5/6高知県心の教育センター 6/9高知市教育支援センター 6/17高知県人権教育・児童生徒課	【成果】 ○今年度は新規部員を3名獲得し、計13名で活動している。 ・関係機関へサービス説明を行ったことが、新規団体の利用登録につながった。 ・高知新聞社から取材を受け、中学生向けのニュースレター「Peratto」にてティーンズ部の活動が紹介された。 【課題】 新規部員の獲得と、投稿実績のない部員の活動促進が必要。	【成果】 ○ティーンズ部を創設し、活動を開始した。本の紹介文やイラストの募集、メールマガジンの配信、イベントを開催して直接部員の声を聞くなどした結果、図書館の利用を促すことができた。 【課題】 積極的な広報活動と既存部員への働きかけが必要。	
学校案内等の収集・提供	県内の高校、専門学校、大学等の案内、資格取得や就職に関する資料等を収集し、提供します。	【成果】 ○学校側から積極的に配布用の学校案内等を提供いただくことで、網羅的な情報提供が可能となっている。 【課題】 図書館で資格取得や就職、進学に関する情報・資料が得られる事について、学生・生徒へのアピールが必要。	展示やサイン、広報ツールなどを利用して学生・生徒への周知を行い、情報・資料の活用促進を図る。	県内の学校案内 30校 資格・就職に関する資料 151冊 進学に関する資料 338冊	【成果】 ○学校側から積極的に配布用の学校案内等を提供いただくことで、網羅的な情報提供が可能になっている。 産業教育のPRイベントにて、イベントの「将来の仕事につながる産業教育」等のテーマに関連した図書を展示。就職について考える一助となる情報の提供ができた。 【課題】 図書館で資格取得や就職、進学に関する情報・資料が得られる事について、学生・生徒へのアピールが必要。	【成果】 ○県内の各学校へ依頼文を出し、学校案内や受験要項、要覧等の収集を行うことができた。 資格・就職や進学に関する資料を積極的に収集することで、ティーンズの求めに応じることができた。 【課題】 今後も、学生や生徒に資料の存在を周知する必要がある。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で				
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績 (数値は3月31日時点)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績 (数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)					
	【成果】	冒頭に達成状況を○△×で		【成果】	冒頭に達成状況を○△×で						
ティーンズの悩みを聞いたり相談のつたりする機関・団体のパンフレットを収集し、関連テーマのブックリスト(※1)などとともに提供します。	パンフ・チラシ	55種類	△ テーマ展示「なやみに効く本」提供の際に、県内の関連機関からチラシ等を提供いただき、本と一緒に展示した。 その他、ティーンズが参加できる講座やコンクール等のチラシを収集・配布することで、様々な情報を提供することができた。	今後も引き続き、積極的な情報の収集を進め新たな関連機関から資料提供をいただけるように努める。 効率的で網羅的な収集方法について高知資料担当と連携し、検討する。	パンフ・チラシ	41種類	△ ティーンズが参加できる講座やコンクール等のチラシを収集・配布することで、様々な情報を提供することができた。 テーマ展示「心の悩みと向き合う本」を実施し、関連図書ブックリストを作成、配布した。 網羅的な収集には至っていない。	今後の取組 ・今後も引き続き、積極的な情報の収集を進め新たな関連機関から資料提供をいただけるように努める。 ・効率的で網羅的な収集方法について高知資料担当と連携し、検討する。	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった		
【取組】ティーンズ通信コーナーに専用のラックを置き、これまで発行したブックリストやパスファインダー、ティーンズ向けの情報を掲載しているチラシやパンフレット等の配布を行う。	【課題】	網羅的な収集には至っていない。	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	網羅的な収集には至っておらず、今後も高知資料担当や関連機関に協力いただけるよう働きかけが必要。			
ティーンズに知ってもらいたいテーマの展示	展示回数	15回	○ ティーンズ世代に伝えたいテーマや魅力のあるテーマを検討し、ティーンズ世代の意見を反映させたり、展示内容に「お楽しみ」要素を取り入れることで、多くの中高生に本を手にとってもらうことができた。	引き続き、ティーンズ世代に伝えたいテーマ、魅力のあるテーマについて情報を収集し展示計画を行う。 ティーンズ部員や学校に協力を呼び掛けるなど、ティーンズ世代が直接展示に携わることができる方策を検討する。	展示回数	7回	○ 文章やイラストなどの創作活動に役立つ本を集めた展示「はじめよう！ティーンズ部」をティーンズコーナーにて実施。ブックリストとチラシも配布し、新規部員獲得につなげることができた。 夏休み期間中に岩波ブックレットの図書展示を実施。読書感想文のための本を探すティーンズのニーズを満たすことができた。	今後の取組 ・引き続き、ティーンズ世代に伝えたいテーマ、魅力のあるテーマについて情報を収集し展示計画に反映させる。 ・県内の学校との連携展示を実施予定。	○ ティーンズに伝えたいテーマや魅力のあるテーマを検討して展示を実施した。その結果、多くのティーンズに本を手にとってもらうことができた。		
展示本	1,727冊	【取組】 3/1-4/30 新生活 5/7-6/30 にじいろの本棚 7/1-8/30 謎解き図書館 7/14-8/12 部活本！ 8/13-9/13 なやみに効く本 9/1-10/31 読んでみないか？わたしの推し本 9/14-9/30 アイドルを読む！ 10/1-10/31 ビブリアバトル 11/1-12/27 高知農業高校図書部の本棚 1/5-1/31 ブラインドブック 1/8-2/28 告白展 2/2-2/28 2021若い人に贈る読書のすすめ 3/9-3/31 鬼と刀と大正時代 3/9-4/30 未成年の主張 この本読んで！ 3/9-4/30 新生活 展示情報は随時Facebook・Twitterで紹介している。	【課題】	更なる利用促進のため、ティーンズ世代が直接携わる事ができるような展示方法を模索中。	展示本	801冊	【取組】 3/9-4/30 未成年の主張 この本読んで！ 3/9-4/30 新生活 5/1-5/30 世界のおひめさま展 5/1-6/30 はじめよう！ティーンズ部 7/1-8/31 悩みと迷いに効く本 8/1-8/31 戦争と平和 8/1-9/12 岩波ブックレット また、以下のイベントにて出前図書館を実施。 7/22-23高知県公立高校産業教育PRイベント「みんなで知ろう！体験しよう！」 展示情報は随時Facebook・Twitterで紹介している。	【課題】	更なる利用促進のため、ティーンズ世代が携わる事ができる展示方法の検討が必要。	【課題】	更なる利用促進のため、ティーンズ世代が携わる事ができる展示方法の検討が必要。
ブックリストの作成・提供	ブックリスト	7種	○ テーマ展示と併せてブックリストを配布することで、多くのブックリストを配布することができた。	今後も引き続き、本のテーマ展示に合わせてブックリストを作成していく。	ブックリスト	12種 (既存11+今回改訂0+今回新規1)	○ 産業教育のPRイベントにて、テーマに合わせた本の展示とブックリストの配布を実施。参加した生徒や保護者などにも情報を提供できた。 ウェブ・サイト ティーンズコーナーの運用を見直し、ティーンズコーナーのTOPページから1クリックで各情報にアクセスできるように改修を行った。 ティーンズの関心が高いテーマやニーズに沿ったブックリストを把握し、作成・提供する必要がある。	今後の取組 ・各サービス担当と協力し、今後も配布の機会を増やす ・内容の更新が必要なブックリストは、随時更新する	○ 資料の展示テーマに合わせて、ティーンズに役立つブックリストを作成・提供することができた。 イベントでの配布により、提供の機会を増やし、ウェブサイトの改修により、利便性を向上させることができた。	【課題】	引き続きティーンズの関心が高いテーマやニーズを把握し、ブックリストの作成・提供を進めていく。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) や手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例：ニーズがない)	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) や手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例：ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの	
	【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	【課題】	【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	【課題】	【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	【課題】	
利用ガイド パスファインダーの作成・提供	情報や資料の探し方のガイドであるパスファインダーを上記ブックリストとセットで作成し、提供します。	パスファインダー 4種	【成果】 ○ 展示と連動させ作成・提供することで利用促進の相乗効果が得られた。 【課題】 より一層の活用促進と、情報へのアクセス方法の工夫。	ピンポイントで役立つテーマに焦点を当て、パスファインダーの活用促進を図る。 今後も引き続き、パスファインダーの種類を増やしていく。	パスファインダー 6 (既存4+今回改訂2+今回新規2) 種	【成果】 ○ 提供できるパスファインダーの種類を増やすことができた。 イベント会場にてぼけぱすやブックリストを希望する学校関係者に配布することができた。 【課題】 ピンポイントで役立つテーマを探り、種類をより増やす必要がある。	今後の取組 ・継続して作成し、利用促進を図る。 【課題】 手軽な調査ツールとして新たにポケットパスファインダー「ぼけぱす」を作成し、展示と連動させて提供することで、パスファインダーが手にとられる機会を増やすことができた。 イベントや教職員・司書教諭への研修の際に「ぼけぱす」やブックリストを配布し、教育関係者へ情報提供することができた。 ティーンズの関心が高いテーマやニーズに沿った内容を把握し、パスファインダーの種類を増やす。 情報が古くなったものは改訂を行う。
普及活動 ビブリオバトルの開催	読書の楽しさを分かち合えるイベント、同世代に読書の楽しさを発信できるイベントを工夫して行います。イベントの企画委員の募集等、ティーンズの参加につながるような工夫をしながら行います。	ビブリオバトル地区予選大会、ボードゲームイベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となった。来年度の開催に向けて担当で協議している。	【成果】 × 【課題】 新型コロナウイルス感染症対策が可能なイベント開催方法の検討。(オンライン開催など)	新型コロナウイルス感染拡大防止措置の動向をうかがいながら、来年度の開催を検討する。	以下のイベントを実施。 7/21ティーンズ部交流イベント「あつまれ！ティーンズ部」 また、「全国高等学校ビブリオバトル2021高知県大会」の実施に向け、担当で準備中。	【成果】 ○ 「あつまれ！ティーンズ部」を開催し、部員の意見を直接聞くことができた。 【課題】 コロナ禍のため、集まってイベントを開催することが難しい。ビブリオバトルも含め、オンライン開催などの検討が必要。	今後の取組 ・11/7全国高等学校ビブリオバトル2021高知県大会 ・第2回ティーンズ部交流イベントの検討 【課題】 △ ティーンズ部を対象とした行事を開催。部員から直接話を聞くことで、中高生の情報収集方法を知ることができた。 コロナ感染防止のため2020年度のビブリオバトルは開催を断念した。 コロナ禍の中でできることを模索していく必要がある。
ブックトークの開催	読書の楽しさを知ってもらうために、さまざまなテーマに沿って、ブックトークを行い、いろいろな本があることを紹介します。また、利用者が参加するブックトークも企画します。	図書館見学に来る高校生向けを想定し15分のブックトーク原稿を作成。	【成果】 × 【課題】 ブックトークの実施には取り組めていない。	今後ティーンズ向けイベントや図書館見学等と組み合わせで実施できるよう、シナリオを準備する。	【取組】 ・ブックトーク原稿を作成中 ・学校訪問時に、図書館見学対応に併せてブックトークの提供が可能な事をPRしている	【成果】 × 【課題】 ブックトークの実施には至っていない	今後の取組 ・ブックトーク原稿の作成 ・折々の機会にブックトークの提供が可能な事をPRする 【課題】 × ブックトークの実施には至っていない。 原稿の作成など、準備を進めるとともに図書館見学時にブックトークの提供が可能なことをアピールする必要がある。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの	
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【課題】	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は3月31日時点)	【課題】			
<p>【取組】読書離れが進んでいる中高生世代と協同して読書推進活動を行う「オーテピアティーンズ部」を発足させ、県内の中学・高校、公共図書館等に広報を実施した。(164箇所) 高知県立大学オーテピアティーンズのボランティア登録を継続した。 10/1丸ノ内高校実施の「スタンラリー」会場としてグループ室1を提供。 11/1-12/27高知県立農業高校図書部と連携し、図書部員によるおすすめ本と紹介文POPを合わせて展示「高知農業高校図書部の本棚」を実施。 11/18学校図書館支援員研修、12/22司書教諭及び司書の指導力向上事業に係る研究協議会にて連携展示等をPR、各種チラシを配布。</p>	<p>【成果】○ 「オーテピアティーンズ部」は7月に部員募集を開始し、3月末までに18人が部員となった。</p> <p>【課題】 オーテピアティーンズの活動について、イベントを企画しているものの、新型コロナウイルスの影響で実行できずにいる。また、昨年に引き続き館内ツアーのガイドを担当することになっているが、こちらも新型コロナウイルスの影響で実行できず、職員がガイドを行っている。</p>	<p>【取組】 5/20高知市学校図書館支援員研修会(中学校の部)講師 7/22-23高知県公立高校産業教育PRイベント「みんなで知ろう!体験しよう!」(連携:高知県高等学校課) また、支援協力・県立学校担当とともに以下の学校を訪問しサービスの説明を行った。 6/2 山田高校、岡豊高校 7/8 春野高校、高岡高校、伊野商業高校</p>	<p>【成果】○ サービス説明を行った学校から、利用登録や連携展示の申込み、図書館活用講座の利用希望があった。</p> <p>【課題】 訪問できていない県立高校への広報活動が必要。</p>	<p>【成果】○ 「オーテピアティーンズ部」を創設し、中高生世代と共同して読書推進活動を行うことができた。県立学校を訪問してサービス説明を行い、連携展示につながった。</p> <p>【課題】 今後も連携展示が実施できるよう、学校や関係機関に参加を呼び掛ける必要がある。</p>			
<p>【取組】ウェブ・サイト「ティーンズコーナー」のTOPに4つのコンテンツと3つのリンクを追加し、ティーンズ・サービス情報へのアクセシビリティの向上を図った。</p>	<p>【成果】×</p> <p>【課題】 講座の開催には取り組めていない。</p>	<p>【取組】 7/20-8/31夏休み図書館活用イベント「新聞DBを使ってみよう・図書館の本で調べてみよう」 【中止】8/9高知県立山田高校図書館活用講座</p>	<p>【成果】○ データベースの認知度が低いティーンズ世代に対し、データベースや図書館資料を使った情報の探し方についてPRすることができた。(参加10名)</p> <p>【課題】 コロナ禍でどのように開催するか、非来館での実施方法も含めて検討が必要。</p>	<p>【成果】△ データベースや図書館資料を使った情報の探し方を知るイベントを実施することで、利用者の情報リテラシーの向上に寄与できた。</p> <p>【課題】 イベント内容や告知・広報について検討する必要がある。図書館見学と合わせて図書館活用講座の提供が可能なことを積極的にアピールする必要がある。</p>			
<p>【取組】ティーンズ通信を定期的に作成・発行している。 中高生の職場体験学習時や専門学校生等の職場実習時にティーンズコーナーの紹介を積極的に行い、おすすめ本のPOP作成やティーンズ通信への記事作成に協力してもらっている。</p>	<p>【成果】○ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い学校が休校になったため、今年度は3回の発行となった。(通常は年4回発行)</p> <p>【課題】 今年度は「オーテピアティーンズ部」部員からイラストの投稿が5点、本の紹介については15件の投稿があった。本の紹介については積極的に投稿してくれていた部員が今年度末で卒業を迎えるため、今後も部員の増加と活動の促進を図るような取り組みが必要。</p>	<p>「オーテピアティーンズ部」への参加促進と、かつ継続的な本の紹介、イラストの投稿をしてもらうように広報活動を展開していく。</p>	<p>【成果】○ 定期的に発行・提供できている。</p> <p>【課題】 ティーンズ部員から、本の紹介文の投稿(8月末時点で6件)に比べ、イラストの投稿が少ない。</p>	<p>【成果】○ 「オーテピアティーンズ部」の発足、簡易パスファインター「ぼけぼす」の新規発行などティーンズに関心を持ってもらえた。定期的にPR誌を発行することで、「オーテピアティーンズ部」や「ぼけぼす」など、ティーンズに伝えたい情報を提供できた。</p> <p>【課題】 紙面をさらに充実させるため、読者投稿を増やす工夫が必要。</p>			

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で	
	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) や手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例：ニーズがない)	【取組の成果と課題】(Check)		今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) や手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例：ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの		
	【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	【課題】	【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	【課題】	【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	【課題】		
PR ブログ、SNSの活用	PR誌とあわせ、SNSの特徴をいかしたPRを行います。図書館利用者から委員を公募したり、協力者を募るなど、工夫しながら行います。	ブログ	2回掲載	<p>「オーテピアティーンズ部」への参加促進と、かつ継続的な本の紹介、イラストの投稿をしてもらうように広報活動を展開していく。</p> <p>「オーテピアティーンズ部」部員については、今年度末で8名が卒業し、次年度は10名からスタートとなる。新規部員の獲得のため積極的な広報を行い、活動内容を充実させる必要がある。部員の増加や、積極的な投稿を促すような取り組みが必要。</p>	ブログ	2回掲載	<p>今後の取組 ・他自治体の図書館のアカウントなど、SNSの運用方法について参考となる情報を収集する。</p> <p>【課題】 ティーンズ世代に親和性の高い新しいSNSの運用についても検討が必要。</p>	<p>【成果】 ○ ティーンズ部員から寄せられた本の紹介文を都度Facebookに掲載し、ティーンズ世代のおすすめ本について、広く知らせることができた。 高等学校図書館ブログでイベント案内やパスファインダーの紹介を行い、学校関係者へPRすることができた。</p> <p>【課題】 ティーンズ世代に親和性の高い新しいSNSの運用についても検討が必要。</p>
		Facebook	37回掲載		Facebook	11回掲載		
		【取組】 SNSを利用してティーンズ世代が参加できる「オーテピアティーンズ部」を発足した。展示情報やティーンズ通信発行のお知らせ、ブックリスト紹介など様々な情報を発信した。	【課題】		【取組】 「オーテピアティーンズ部」の活動を継続している。そのほか、展示情報やティーンズ通信発行のお知らせ、パスファインダー紹介など様々な情報を発信した。	【課題】		

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
<p>ティーンズコーナーを設置し、ティーンズに役立つ様々な本や雑誌、各種資料を収集し、提供した。 ティーンズに向けた展示やビブリオバトル等のイベント開催、「ティーンズ通信」の定期発行、SNSを利用したPRも実施した。 おおむね計画に沿ってサービスを進めたが、充分活用されているとは言えない。R2年度には「ティーンズ部」も発足したが、さらにティーンズ世代自身が関わる取り組みを進めたい。</p>	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3. 3の実績（数値は3月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R 3.4～R3. 8の実績（数値は8月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R 3.4～R3. 8の実績（数値は8月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check)	
外国語で書かれた各種資料の収集・提供	各種言語の図書やデジタル資料を収集し、提供します。	<p>【取組】</p> <p>リクエストだけでなく、問い合わせのあった外国語資料についても、担当者で情報共有し、収集した。国際交流員からもリクエストを出してもらった。連携団体の方から問い合わせがあった資料について選書受け入れを行った。外国語資料の受け入れに伴う書誌の整理を行った。OPAC等での検索の利便性を高めるため、外国語書誌の資料識別子や特定資料種別について検討した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リクエストや問合せに応じて収集し、ニーズに沿った資料の提供を行った。県内在住の外国人に、母国語での資料提供を行い好評を得た。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体のペーパーレス化に伴い、受入が中断している逐次刊行物がある。 ・各国語の参考書で古くなっているものがあるため、買い替え等の検討を行う必要がある。 ・県内在留外国人の母語資料（例：インドネシア等）について十分でないものがある。 ・多文化サービス専用窓口がないため、担当が利用者の需要をつかみにくい。 ・外国語書は購入ルートが限られており、提供までに時間がかかる。 	<p>【取組】</p> <p>リクエストだけでなく、問い合わせのあった外国語資料についても、担当者で情報共有し、収集した。国際交流員からもリクエストを出してもらった。連携団体の方から問い合わせがあった資料について選書受け入れを行った。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リクエストや問合せに応じて収集し、ニーズに沿った資料の提供を行った。県内在住の外国人に、母国語での資料提供を行い好評を得た。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体のペーパーレス化に伴い、受入が中断している逐次刊行物がある。 ・各国語の参考書で古くなっているものがあるため、買い替え等の検討を行う必要がある。 ・県内在留外国人の母語資料（例：インドネシア等）について十分でないものがある。 ・多文化サービス専用窓口がないため、担当が利用者の需要をつかみにくい。 ・外国語書は購入ルートが限られており、提供までに時間がかかる。 	<p>【取組】</p> <p>リクエストだけでなく、問い合わせのあった外国語資料についても、担当者で情報共有し、収集した。国際交流員からもリクエストを出してもらった。連携団体の方から問い合わせがあった資料について選書受け入れを行った。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リクエストや問合せに応じて収集し、ニーズに沿った資料の提供を行った。県内在住の外国人に、母国語での資料提供を行い好評を得た。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体のペーパーレス化に伴い、受入が中断している逐次刊行物がある。 ・各国語の参考書で古くなっているものがあるため、買い替え等の検討を行う必要がある。 ・県内在留外国人の母語資料（例：インドネシア等）について十分でないものがある。 ・多文化サービス専用窓口がないため、担当が利用者の需要をつかみにくい。 ・外国語書は購入ルートが限られており、提供までに時間がかかる。 	<p>【取組】</p> <p>リクエストだけでなく、問い合わせのあった外国語資料についても、担当者で情報共有し、収集した。国際交流員からもリクエストを出してもらった。連携団体の方から問い合わせがあった資料について選書受け入れを行った。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リクエストや問合せに応じて収集し、ニーズに沿った資料の提供を行った。県内在住の外国人に、母国語での資料提供を行い好評を得た。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体のペーパーレス化に伴い、受入が中断している逐次刊行物がある。 ・各国語の参考書で古くなっているものがあるため、買い替え等の検討を行う必要がある。 ・県内在留外国人の母語資料（例：インドネシア等）について十分でないものがある。 ・多文化サービス専用窓口がないため、担当が利用者の需要をつかみにくい。 ・外国語書は購入ルートが限られており、提供までに時間がかかる。 	<p>【取組】</p> <p>リクエストだけでなく、問い合わせのあった外国語資料についても、担当者で情報共有し、収集した。国際交流員からもリクエストを出してもらった。連携団体の方から問い合わせがあった資料について選書受け入れを行った。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リクエストや問合せに応じて収集し、ニーズに沿った資料の提供を行った。県内在住の外国人に、母国語での資料提供を行い好評を得た。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体のペーパーレス化に伴い、受入が中断している逐次刊行物がある。 ・各国語の参考書で古くなっているものがあるため、買い替え等の検討を行う必要がある。 ・県内在留外国人の母語資料（例：インドネシア等）について十分でないものがある。 ・多文化サービス専用窓口がないため、担当が利用者の需要をつかみにくい。 ・外国語書は購入ルートが限られており、提供までに時間がかかる。 	<p>【取組】</p> <p>リクエストだけでなく、問い合わせのあった外国語資料についても、担当者で情報共有し、収集した。国際交流員からもリクエストを出してもらった。連携団体の方から問い合わせがあった資料について選書受け入れを行った。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リクエストや問合せに応じて収集し、ニーズに沿った資料の提供を行った。県内在住の外国人に、母国語での資料提供を行い好評を得た。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体のペーパーレス化に伴い、受入が中断している逐次刊行物がある。 ・各国語の参考書で古くなっているものがあるため、買い替え等の検討を行う必要がある。 ・県内在留外国人の母語資料（例：インドネシア等）について十分でないものがある。 ・多文化サービス専用窓口がないため、担当が利用者の需要をつかみにくい。 ・外国語書は購入ルートが限られており、提供までに時間がかかる。
各種の言語の雑誌や新聞を収集し、提供します。	雑誌(外国語) 27 新聞(外国語) 13	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主要な外国語雑誌は収集・選書し、速報性の高い情報提供が行えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用が少ないものがあるため、さらなる周知が必要。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主要な外国語雑誌は収集・選書し、速報性の高い情報提供が行えた。利用の少ない雑誌を展示でアピールした。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる周知が必要。 	雑誌(外国語) 29 新聞(外国語) 12	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主要な外国語雑誌は収集・選書し、速報性の高い情報提供が行えた。利用の少ない雑誌を展示でアピールした。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる周知が必要。 	<p>【取組】</p> <p>引き続き展示等でアピールする。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主要な言語のものは収集提供できている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館内外で多文化サービスの紹介を行うなど、情報を必要としている当事者へアプローチできるようにさらなる周知が必要。 	
地域の生活情報(防災等を含む)を中心に、外国語で書かれたパンフレット等を収集し、提供します。	言語 最大5種 パンフレット等 部	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 収集・提供し、防災情報等の生活に必要な情報の発信を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行されている言語、県内在住者に多い言語をすべて紹介しようとすると設置場所が不足する。 	<p>【取組】</p> <p>すべての発行物を配置しなくても、QRコードを活用するなど、必要な情報にたどり着く工夫をする。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 収集・提供し、防災情報等の生活に必要な情報の発信を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行されている言語、県内在住者に多い言語をすべて紹介しようとすると設置場所が不足する。 	言語 最大5種 パンフレット等 部	<p>【取組】</p> <p>追加が必要なものについては各機関へ追加依頼を行うとともに、当館での印刷で対応できるもの/対応してほしいと発行機関からいわれたものについては、当館で印刷/配布している。展示期間中はwebでのアクセスについても紹介した。県内観光パンフレットなどの収集を行った。韓国語雑誌の休刊に伴い、新規に受け入れる韓国語雑誌を選書した。多文化雑誌の保存年限を決定した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 追加が必要なものについては各機関へ追加依頼を行うとともに、当館での印刷で対応できるもの/対応してほしいと発行機関からいわれたものについては、当館で印刷/配布している。展示期間中はwebでのアクセスについても紹介した。県内観光パンフレットなどの収集を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行されている言語、県内在住者に多い言語をすべて（県内機関の発行物で最大7言語）紹介しようとすると設置場所が不足するため、配布内容の精査が必要。 		

資料

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度			令和3年度	令和3年度			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった		
	令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度4月以降	令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降			
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)			
日本語習得のための資料の収集・提供	日本語を学ぶ人や教える人に役立つ資料や、読みやすく理解しやすい日本語の資料を収集し、提供します。	ブックリスト	4種類追加	【成果】 ○ やさしい日本語館内ツアーの中で日本語学習資料についてPRし、利用登録や貸出、サービスの認知など利用促進に繋がった。 【課題】 ・資料があることの認知度が低い。	・在留外国人への支援を行っている人や日本語学習者向けの図書館ツアーなどを実施し、PRする。 ・日本語学習者、指導者、また外国語を学習する全ての人にとって分かりやすい配架になるよう、コーナー内の配架場所の変更・追加を検討中	ブックリスト	1種類追加	【成果】 ○ 関係機関の発行物で紹介されるなど、図書館が在留外国人に日本語学習の機会を提供できる機関であるということが少しずつ認識されつつある。 【課題】 ・多様な資料があることの周知が必要	今後の取組 ・在留外国人への支援を行っている人や日本語学習者向けの図書館ツアーなどを実施し、PRする。 ・日本語学習者、指導者、また外国語を学習する全ての人にとって分かりやすい配架になるよう、コーナー内の配架場所の変更・追加を検討中	【成果】 ○ 日本語学習者向けの図書館ツアーなどでPRし、利用につながった。 ・まだ資料があることの認知度が低い。
多文化を知り理解を深めるための資料の収集・提供	日本や外国の文化に関する資料を収集し、提供します。	【取組】 ・国際交流コーナー内で、多文化理解を深めるための常設展示を行った。	【成果】 ○ 収集・提供し、多文化理解の促進に努めた。 【課題】 ・多文化理解のための資料はことばと国際交流のコーナーには配架されていないので、需要がつかみにくい。	・需要を探る方法を検討する。	【取組】 ・国際交流コーナー内で、多文化理解を深めるための常設展示を行った。	【成果】 ○ 収集・提供し、多文化理解につながった。 【課題】 ・多文化理解のための資料はことばと国際交流のコーナーには配架されていないので、需要がつかみにくい。	今後の取組 ・大学へのアンケート等、需要を探る方法を検討する。	【成果】 ○ 収集・提供し、多文化理解を促進した。 ・多文化理解のための資料はことばと国際交流のコーナーには配架されていないので、需要がつかみにくい。		
多文化コーナーの設置・提供	多文化コーナーを設置し、収集した資料を提供します。	図書(日本語)	冊	【成果】 ○ 継続した資料収集・提供ができています。 【課題】 資料のさらなる利用促進に向けた取り組みを行う必要がある。	・情報資料担当と協力し、計画的に登録する。	図書(日本語)	冊	【成果】 ○ 継続した資料収集・提供ができています。 【課題】 資料のさらなる利用促進に向けた取り組みを行う必要がある。	今後の取組 ・情報資料担当・資料管理係と協力し、計画的に登録する。	【成果】 ○ 継続した資料収集・提供、および効果的な提供に向けた資料整理ができています。 資料のさらなる利用促進に向けた取り組みを行う必要がある。
さまざまな企画展示	外国の文化を知るきっかけとなったり、県内に住む外国人の生活に役立つ展示を行います。姉妹都市・友好都市等、高知県や高知市と交流のある都市や地域等の企画展示を行います。	【取組】 常設姉妹都市展示を更新。姉妹都市展示の棚で国際交流員さんのおすすめ本紹介を開始(毎月更新) 常設：高知を旅する。Kochi Travel Guide 6/19-7/12:一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展(ビジネス・健康・多文化合同) 6/25-7/22:JICA事業紹介写真展～高知発信・JICAボランティアの活動紹介～ 8/9-8/30:ことば学び、世界をひろげる。日本での暮らしに困ったら編/あなたのすぐそばに、多文化。編 この他6/1/-30「県立大学コラボ展示」(主担当高知資料)に多読資料手配。 9/1/-9/29四国のスポーツ隊員紹介パネル展～オリパラ応援～ 10/1-10/18国際ふれあい広場2020関連展示 10/19-10/31田内千鶴子さん関連展示 11/20-11/29チェコオリパラ展示 3/4-3/31JICA事業紹介パネル展	【成果】 ○ 利用者が国際交流に関心を持つきっかけとなる展示活動を行い、好評を得た。	引き続き多文化理解に役立つ展示を行う。	【取組】 常設姉妹都市展示を適宜更新。 常設：高知を旅する。Kochi Travel ・6/1-6/30:ニッチで専門的だけど意外と面白いオーテピア高知図書館3階の雑誌(ビジネス・健康・多文化合同) ・8/14-9/1:SDGsってなんだろう①	【成果】 ○ 利用者が国際交流に関心を持つきっかけとなる展示活動を行い、好評を得た。	今後の取組 ・引き続き多文化理解に役立つ展示を行う。	【成果】 ○ 利用者が国際交流に関心を持つきっかけとなるような、常設の姉妹都市展示や関係機関とコラボした企画展示を行い、好評を得た。		

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度			令和3年度			令和3年度			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった			
	令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度4月以降			令和3年4月1日～令和3年8月31日				令和3年度9月以降		
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)			【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check)		
利用ガイド	外国語で書かれた利用案内の提供	英語、中国語、ハンガルの図書館の利用案内を作成し、提供することにも、ホームページに掲載します。	サービスチラシ	計5種	【成果】 ○「やさしい日本語」で書かれた利用案内に関する補足リーフレットを、日本語学習中の外国人を対象とした館内ツアーで活用し、ツアー後の利用に繋がった。 【課題】 ・チラシやブックリスト、パスファインダーも「やさしい日本語」版が必要。	やさしい日本語という視点で、児童やバリアフリーなど他サービスを重複する部分の調整をする。	サービスチラシ	計5種	【成果】 ○日本語教室の参加者に利用案内の比較をしてもらうことで、「やさしい利用案内」ややさしい日本語で作った利用案内が実際にどう使われるのか、利用する人はどこをポイントに見ているのか具体的な意見を聞くことができ、今後の情報発信に大いに参考になった。 【課題】 ・新たに作成したベトナム語の利用案内について、関係機関にPRし配布の協力をお願いした。 ・既存の利用案内の改善や今後の参考のため、高知県国際交流協会の協力のもと、同会主催の日本語教室参加者に利用案内の比較をもらった。	今後の取組 ・やさしい日本語という視点で、児童やバリアフリーなど他サービスと重複する部分の調整をする。 ・実際に利用する人の意見も参考にし、より情報が伝わりやすいように改善していく。	【成果】 ○5言語の外国語及びやさしい日本語版での利用案内を作成し、在留外国人に対し、オーテピアについてPRし、利用促進につながった。 【課題】 ・チラシやブックリスト、パスファインダーも「やさしい日本語」版が必要。		
			ブックリスト	計10種			パスファインダー	計3種				ブックリスト「留学生在留者を支援する人のための本」「日本語を教える人のための本」「にほんごをべんきょうするための本」「多読で英語を学ぶ」「English books(英語の本のブックリスト)」作成。パスファインダー「日本での暮らしに困ったら」を作成。ほかに別担当との連携でブックリスト「外国から来た人と一緒に働く」作成。「やさしい日本語」で書かれた利用案内に関する補足リーフレットを作成した。	
普及活動	各種催しなどの開催	外国語絵本の読み聞かせやおはなし会、外国の文化についての講演会等、地域で生活する外国の方との交流を図るための催しなどを開催します。	開催日	講座名	参加者数(人)	【成果】 ○主催のおはなし会では動画配信を行い、非来館でも楽しめる新たなサービスを実施し、多文化理解の促進に繋がった。 ・やさしい日本語の館内ツアーなどのイベントを行い、在住外国人の利用促進に繋がった。 【課題】 ・共催事業の定義を明確にできていないため、数年先の貸し施設の確保の基準があいまいであったり、貸し施設を早くおさえるための共催打診等、申込時の混乱があり、全館的に調整する必要がある ・新型コロナウイルスの影響でイベントが制限されている	・新型コロナウイルスの感染状況をみながら、非来館型サービスを検討しておく。	開催日	講座名	参加者数(人)	【成果】 ○主催のおはなし会では多文化理解の促進に繋がる内容を行い、好評を得た。 【課題】 ・新型コロナウイルスの影響でイベントが制限されている	今後の取組 ・新型コロナウイルスの感染状況をみながら、非来館型サービスを検討しておく。	【成果】 ○国際交流に関心を持つきっかけとなるおはなし会やイベント在留外国人向けの館内ツアーなどを行い、利用促進にもつながっている。 【課題】 ・新型コロナウイルスの影響でイベントが制限されている
			①4/5, 7/5, 8/2, 9/6, 11/1, 12/6, 1/17, 2/7, 3/21 ②7/19, 8/16, 9/20, 10/18, 11/15, 12/20, 2/21, 3/28 ③7/29, 10/18, 10/27	①外国語のおはなし会 ②English Nook ③多文化館内ツアー	①計205 ②計300 ③40			①4/5, 5/17, 6/7, 7/5, 8/2 ②4/18, 5/16, 6/20, 7/18, 8/15 ③7/28, 7/29	①外国語のおはなし会 ②English Nook ③図書館活用講座	①計102 ②計227 ③計12			

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check) 今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check) 今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの	
	【成果】冒頭に達成状況を○△×で			【成果】冒頭に達成状況を○△×で			
他機関等との連携	高知県国際交流協会や県内の国際交流員等と連携し、高知在住の外国人が必要としている情報の把握に努め、資料収集に反映します。	連携先 6団体	【成果】 ○ 高知県国際交流協会の日本語教室と連携して、日本語学習中の外国人を対象とした館内ツアーを開催し、図書館利用につながり、好評だった。県国際交流課によるJETプログラム中間研修にて図書館案内等を配布した。 【課題】 既存の他機関との連携定例行事が多く、新規の連携が入る余裕がない。	【成果】 ○ 現在の共催事業について、見直しをする。 ・ボランティアの活用について検討する。 ・館内の日本語表示について、日本語学習者を含めた全ての人に分かりやすい文言に見直す	連携先 6団体	【成果】 ○ 新型コロナウイルスのため長時間にわたる館内ツアーが実施できなくても、ヴァーチャル館内ツアーなど、館外で既存のコンテンツを活用することでオーテピア館内の状態を体験してもらうことができた。 ・館外で実施した図書館活用講座の参加者が後日利用登録し、実際の利用に結びついた。 他機関との事業に係る業務量に対し、マンパワーが不足している。 【課題】	【成果】 ○ 他機関と連携し、館内外でイベントを実施し利用に結びついた。連携団体の協力によりニーズの把握や館内サインの見直しも実施した。 【課題】 連携行事が多く、マンパワーが不足しているため、業務の取り組み方の見直しが必要。
連携	・高知県国際交流協会発行多言語生活情報誌「TOSA WAVE」へ電子図書館の紹介記事(外国語資料のリクエストについて)を掲載(執筆は高知県国際交流課国際交流員) ・高知県国際交流協会の日本語学習者向け館内ツアーを実施した ・JICA四国と連携した期間展示を行った ・国際交流課と連携して姉妹都市展示をリニューアルした ・JETプログラム中間研修で、図書館の利用案内、パスファインダー等を配布した ・国立国会図書館外国語情報の探し方研修で、講師と多文化担当の情報交換会を行った ※連携団体 高知市総務課、高知県国際交流課、高知県国際交流協会、高知S G G善意通訳クラブ、龍馬学園日本語学科、GlovalEducationLab高知			【取組】 高知県国際交流協会主催の日本語教室の参加者に対し、同会の地域活動の一環としてオーテピア高知図書館の活用講座をやさしい日本語を用いて実施した。			

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの	
英会話のできる職員の育成とボランティアの活用 図書館の利用について、英語で案内や説明ができるよう、英会話の勉強会を開催するなど、職員の資質向上に努めます。あわせて、外国語で案内等ができるボランティアの活用を図ります。	勉強会 1回	【成果】△ KIA主催の研修「使ってみよう!『やさしい日本語』」セミナーに参加し、館内掲示等の見直しに繋がった。 【課題】 オーテピア全体を対象とした研修が行えていない。	英語・中国語・韓国語については高知県通訳コールセンターを利用することができるため、職員が外国語を学ぶための勉強会は実施しない。 外国語を一から学ぶ機会を設けるよりは、「やさしい日本語」研修や多文化への理解を深めるための職員研修に重点を置く。	勉強会 1回	【成果】△ やさしい日本語に対する職員の関心が高まった。 【課題】 ・一度の研修だけではまだ「やさしい日本語」が職員に浸透していないので、引き続き研修を行う。 ・ボランティア等、館外の人的資源の活用を検討する。	今後の取組 ・引き続き「やさしい日本語」研修や多文化への理解を深めるための職員研修に重点を置く。	【成果】△ 英会話よりやさしい日本語でのコミュニケーションが全館的に必要と考え、サービス担当等が国際交流協会主催のセミナーに参加した。また全館職員向けにもやさしい日本語の研修を行ったことで、やさしい日本語に対する職員の関心が高まった。 【課題】 ・一度の研修だけではまだ「やさしい日本語」が職員に浸透していないので、引き続き研修を行う。 ・ボランティア等、館外の人的資源の活用を検討する。

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
在留外国人のための多種多様な資料を収集し、「ことばと国際コーナー」等で提供した。多言語や優しい日本語での利用案内を作成し、日本語学習者向け館内ツアーの実施など利用促進に努めた。関係機関と連携し、おはなし会や異文化理解のための各種イベント等も実施した。計画に沿って取り組んでいるが、購入ルートが限られる言語の資料の収集や在留外国人の具体的なニーズ等について、さらに情報収集や関係機関との協力が必要。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で	
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日			
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3.3の実績 (数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)			
大活字本・LLブックの収集・提供	積極的に収集し、提供します。	・大活字本、LLブックは引き続き全点を購入している。 ・大活字本、LLブックなどについて館内2階総合カウンター前で展示を行った(12月1日～27日)。 ・SNSや県市行政揭示板で大活字本(2月10日)、LLブック(3月20日)について広報を行った。 ・特別支援学校を訪問し、大活字本・LLブック等資料についてPRを行った。	【成果】 ○ ・大活字本の年間貸出点数はオーテピア開館前の平成29(2017)年の3,426点(県市合計)と比べると大幅に増えており、よく利用されている。 【課題】 LLブックについては、まだ認知度が低い。	・出前図書館の際に展示や貸出しをする、ブックリストを充実させてウェブ・サイトで紹介するなど、大活字本やLLブックの周知につとめる。	・大活字本、LLブックは引き続き全点を購入している。	【成果】 ○ ・大活字本の貸出点数は、オーテピア開館前の3,426点(平成29年度県市貸出点数合計)と比べると、貸出点数がひと月当たり平均2.1倍に増加している。 LLブックについては、まだ認知度が低い。	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組(取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
		大活字本貸出実績	7,085点	大活字本貸出実績	3,050点	【課題】 ・LLブック(わかりやすく、やさしい表現の読みやすい本)について認知度が低いため、見学時に紹介するなどPRの工夫が必要。	【成果】 ○ ・大活字本の年間貸出点数はオーテピア開館前の平成29(2017)年の3,426点(県市合計)と比べると大幅に増えており、よく利用されている。 ・展示や出前図書館、見学時時のサービス説明などでPRしている。	
録音図書(デイズ等)	高知声と点字の図書館やサビ図書館が提供する利用制限付き録音図書、図書館の窓口においても対象者に利用登録、貸出しできるようにします。 録音図書の周知のため、関連団体へのサンプルの貸出しについても検討します。	・デイズ図書については、バリアフリーサービスの役割分担の中で高知声と点字の図書館が役割を担っているが、連携・協力して利用者への提供・周知を実施している。 ・高知声と点字の図書館と連携し、『さくらバリアフリー文庫』(大活字本、LLブック、録音図書などをセットにしたもの。読書が困難な方でも読書を楽しめるさまざまな資料があることを知ってもらうことを目的に、市町村図書館等でコーナー展示してもらう。)を作成し、市町村図書館等へ貸出している。 ・さくらバリアフリー文庫貸出し時に録音図書等の説明に赴くとともに、近隣図書館へも訪問してPRした。 ・平成30年3月のプレ開始から令和3年3月末までに、県内公共図書館(分館除く)27館中、15館にさくらバリアフリー文庫の貸出しを実施し、広くPRしている。	【成果】 ○ ・貸出先の市町村の職員やその地域の利用者から、バリアフリー資料の貸出し希望があり、好評だった。 ・近隣図書館に訪問してPRしたさくらバリアフリー文庫は、その場で貸出希望があり、市町村の職員および利用者への周知の機会を作ることができた。 ・貸出先の市町村立図書館では、小学校の授業での活用のため学校へのアピールに使用された。資料の貸出希望もあり、協力貸出しにもつながった。 【課題】 対象となる当事者に必要な情報が届いているか不明。 必要な人に情報が届くような仕組み作りが必要。	・さくらバリアフリー文庫貸出し館を中心に、その市町村内の学校や福祉課などに対してオーテピアのバリアフリーサービスについて説明会の勧誘を実施する。 ・録音図書を利用者に提供する方法の説明等も、引き続き高知声と点字の図書館と連携・協力して行っていく。	・デイズ図書については、バリアフリーサービスの役割分担の中で高知声と点字の図書館が役割を担っているが、連携・協力して利用者への提供・周知を実施している。 ・高知声と点字の図書館と連携し、『さくらバリアフリー文庫』(大活字本、LLブック、録音図書などをセットにしたもの。読書が困難な方でも読書を楽しめるさまざまな資料があることを知ってもらうことを目的に、市町村図書館等でコーナー展示してもらう。)を作成し、市町村図書館等へ貸出している。 ・県内ブロック別図書館研修で活用。 ・平成30年3月のプレ開始から令和3年4月末までに、県内公共図書館(分館除く)27館中、15館にさくらバリアフリー文庫の貸出しを実施し、広くPRしている。	【成果】 ○ ・市町村図書館で『さくらバリアフリー文庫』が定期的に展示されることで、バリアフリー資料の周知の機会を作ることができた。 ・貸出先の市町村立図書館で、教員向けの研修においてバリアフリー資料の活用がされ、資料の周知の機会を作ることができた。 【課題】 ・バリアフリー資料の更なる周知が必要。 ・新型コロナウイルス感染状況が悪化している間は『さくらバリアフリー文庫』の新たな巡回声がけは困難。 ・何度か声がけするも、『さくらバリアフリー文庫』の利用がない図書館がある。	【成果】 ○ ・録音図書を含むバリアフリー資料をセットにした『さくらバリアフリー文庫』を県内の市町村図書館に貸出し、各図書館で展示することで、バリアフリー資料の周知の機会を作ることができた。 ・また、『さくらバリアフリー文庫』の貸出しにより、市町村図書館においても、バリアフリー資料の需要があることがわかり、資料の購入やコーナー新設につながった。 【課題】 ・オーテピア高知図書館とサビ図書館の所蔵検索が一括でできるシステム運用の検討(2期計画) ・『さくらバリアフリー文庫』利用の声掛けなどをして、バリアフリー資料に対してあまり関心のない図書館がある。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度			令和3年度			令和3年度			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった																	
	令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度4月以降			令和3年4月1日～令和3年8月31日				令和3年度9月以降																
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績 (数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)			【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績 (数値は8月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check)																
資料 朗読CD、カセットブック、音声ガイド・字幕付きDVDの収集・提供	積極的に収集し、提供します。	購入点数		【成果】 ○ ・視覚障害者等へのDVDの貸出しは、2018年は0点だったが、令和2年度は43点の利用があった。	【課題】 ○ ・音声ガイド・字幕付きDVDのブックリストを定期的に更新し、ウェブ・サイトで公開するとともに当事者につながる各障害者団体などに提供をする。 ・バリアフリー映画会でPRするほか効果的なPR方法を検討する。	購入点数		【成果】 ○ ・視覚障害者等へのDVDの貸出しは49点で、令和2年度の年間貸出し43点と比べてひと月あたり2.7倍と増加している。	【課題】 ○ ・音声ガイド・字幕付きDVDのリストを定期的に更新し、ウェブ・サイトで公開する。 ・当事者につながる各障害者団体などにリスト等を用いて情報提供をする。 ・バリアフリー映画会でPRするほか効果的なPR方法を検討する。	朗読CD	63点	【成果】 ○ ・朗読CD、音声ガイド・字幕付きDVDのリストを更新し、ウェブ・サイトで公開した。 ・SNSや県市行政掲示板でバリアフリーDVDの紹介記事を投稿。	朗読CD	0点	【成果】 ○ ・朗読CD、音声ガイド・字幕付きDVDのリストをウェブ・サイトで公開している。	カセットブック	0点	【成果】 ○ ・朗読CD、音声ガイド・字幕付きDVDのリストをウェブ・サイトで公開している。	カセットブック	0点	【成果】 ○ ・朗読CD、音声ガイド・字幕付きDVDのリストをウェブ・サイトで公開している。	音声ガイド・字幕付きDVD	31点	【成果】 ○ ・朗読CD、音声ガイド・字幕付きDVDのリストをウェブ・サイトで公開している。	音声ガイド・字幕付きDVD	6点	【成果】 ○ ・朗読CD、音声ガイド・字幕付きDVDのリストをウェブ・サイトで公開している。
	さわる絵本、手話付き絵本、布絵本の収集・提供	さわる絵本、手話付き絵本、布絵本の収集・提供積極的に収集し、提供します。	布絵本受入点数	23点		【成果】 ○ 2Fゲート入口すぐの場所に常設展示をすることにより、貸出点数が増加した。 さわる絵本の貸出点数： 4月から7月の月平均 22点。 8月から3月の月平均 43点。	布絵本受入点数	17点		【成果】 ○ ・さわる絵本の貸出点数： 展示開始前の月平均 22点 令和3年4～8月の月平均 47点 展示するとともに配架場所の周知も行き、常設展示の開始前と比べ貸出しが大幅に増加している。	今後の取組 ・新型コロナウイルスが落ち着いてからの保健師との連携について、協議を進める。		【成果】 ○ ・県立春野高等学校の協力で新しい布絵本が増え、よく利用されている。 ・手に取りやすい場所で常設展示をすることにより、貸出点数が増加した。 ・展示や県立春野高等学校での制作の様子をFacebook等でPRすることにより、貸出点数が増加した。 ・出前図書館等でも展示や貸出しを実施することで、資料の周知と貸出しにつながった。	さわる絵本(布絵本含)貸出点数		435点	【課題】 ○ ・保健師との連携は、新型コロナウイルスの影響があり進んでいない。		さわる絵本(布絵本含)貸出点数	235点		【課題】 ○ ・保健師との連携は、新型コロナウイルスの影響があり進んでいない。	【課題】 ○ ・保健師との連携は、新型コロナウイルスの影響があり進んでいない。		【課題】 ○ ・保健師との連携は、新型コロナウイルスの影響があり進んでいない。		
	マンガによる解説書等の収集・提供	文字情報が苦手な方にとって、マンガは重要な情報源になるという認識に立って、マンガで情報を伝えられる資料を収集し、提供します。	収集・提供している。	【成果】 △ 資料の収集・提供を実施しているが、計画的ではない。		【課題】 ○ 計画的に収集できていない。	資料の収集・提供を実施している。	【成果】 △ マンガでわかりやすく表現されているものを収集し、提供している。資料を紹介したところ、聴覚障害者当事者の利用につながった。		【課題】 ○ マンガでわかりやすい資料については該当する分類の書架に混排し、それぞれの分類で利用ができるよう利用者の便宜を図っているが、マンガという形態で探せば便利とのニーズもある。	【成果】 △ マンガでわかりやすく表現されているものを収集し、提供している。資料を紹介したところ、聴覚障害者当事者の利用につながった。		【課題】 ○ マンガでわかりやすく書かれた資料がまとまっていない。 ・アクセスしやすい工夫が必要。														

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で															
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日																	
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3.3の実績 (数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)																	
電子書籍の導入	電子書籍は、来館が困難な方や文字情報が苦手な方の利便性が向上するため、メリットやデメリットを見極めながら導入します。	(タイトル数等 資料1-①に掲載)	【成果】○ (資料1-①に記載) 【課題】機器の取り扱いが苦手な当事者が多い。	視覚障害者等を対象に高知声と点字の図書館で「電子書籍体験講座」(個別対応)を開催しているため、出前図書館や施設訪問・見学対応等の機会を活用し、広報等連携・協力する。	(タイトル数等 資料1-①に掲載)	【成果】○ (資料1-①に記載) ・電子書籍のアプリ「Kono Libraries」試行提供により、利用者から問い合わせがあるなど、関心が高かった。 【課題】機器の取り扱いが苦手な当事者が多い。	今後の取組 (Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) や手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例: ニーズがない) ・R4年度予算に計上するもの	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった														
来館が困難な方への宅配貸出サービスの実施	障害や病気によって図書館への来館が困難な方には、図書館の負担による宅配便で自宅等に資料を届けます。	<table border="1"> <tr><td>実利用者数</td><td>9人</td></tr> <tr><td>利用件数</td><td>32件</td></tr> <tr><td>貸出冊数</td><td>116冊</td></tr> </table>	実利用者数	9人	利用件数	32件	貸出冊数	116冊	【成果】○ ・さんSUN高知7月号で広報を行ったことにより、希望者から問い合わせがあった。 ・アンケート実施時に団体に送付したサービスチラシを見た方からの申込みがあった。 ・宅配サービスが必要な人に情報が届くよう、周知を強化する必要がある。 【課題】	・障害者手帳新規交付・更新時のバリアフリーサービスのチラシを配付を継続して行う。 ・各団体に訪問の際、宅配サービスについてのPRを強化する。 ・過去に実績のあった利用者へ、再度の利用を勧誘する。	<table border="1"> <tr><td>実利用者数</td><td>4人</td></tr> <tr><td>利用件数</td><td>13件</td></tr> <tr><td>貸出冊数</td><td>49冊</td></tr> </table>	実利用者数	4人	利用件数	13件	貸出冊数	49冊	【成果】△ ・チラシ等の閲覧やサービス紹介を受け、新規利用者が増加。 ・利用を通して、利用者の新たな活動意欲(ボランティア活動)を刺激したという声がある。 【課題】・さらなる利用者増加につなげる必要がある。 ・申込手続きが困難な利用希望者が申込を断念する可能性がある。	今後の取組 ・多様な機会を捉え、サービス対象者及び障害者の支援者に向けて効果的な広報を実施する。 ・申込手続きの見直しの検討。	【成果】△ ・利用者大変好評。利用を通して利用者の新たな活動意欲の刺激にもなっている。 【課題】・サービスが十分に周知されていない。		
実利用者数	9人																					
利用件数	32件																					
貸出冊数	116冊																					
実利用者数	4人																					
利用件数	13件																					
貸出冊数	49冊																					
対面音訳サービスの実施	対面音訳室を3室整備し、複数のニーズに応えられるようにします。参考図書やインターネットで調べることができるように必要な設備を用意します。	<table border="1"> <tr><td>利用回数</td><td>672回</td></tr> <tr><td>うちボランティア利用</td><td>638回</td></tr> <tr><td>月平均利用</td><td>56回</td></tr> <tr><td>ボランティア登録者</td><td>96人</td></tr> </table>	利用回数	672回	うちボランティア利用	638回	月平均利用	56回	ボランティア登録者	96人	【成果】○ ・リモート音訳を実施することにより、遠方や病気等で来館が困難な方に対しても音訳が可能になっている。携帯電話に加え、スカイプでの音訳を実施することで、聴覚障害等により、電話での音訳サービスを受けることが難しい利用者にも対応が可能になった。 ・スカイプでの音訳サービスを始めたことで、恒常的にリモートを活用する人や、新規登録者が増加した。 ・リモートや別室での音訳など、感染対策を講じたサービス提供を継続することで、利用者や音訳ボランティア双方が安心してサービスを利用できた。 【課題】 ・来館での対面音訳を希望する利用者があるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の対面音訳室では十分な距離が確保できず、使用できない。	・当面は、利用者やボランティア別室で、対面音訳サービスを実施する。 ・高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安のステージに応じて、感染対策を講じながら非来館を含めた利用しやすいサービスを提供する。 ・対面音訳サービスチラシを活用するなどし、新規利用者獲得を図る。	<table border="1"> <tr><td>利用回数</td><td>389回</td></tr> <tr><td>月平均利用</td><td>78回</td></tr> <tr><td>ボランティア登録者</td><td>85人</td></tr> </table>	利用回数	389回	月平均利用	78回	ボランティア登録者	85人	【成果】○ ・継続的にサービスを提供し、コロナ禍でも利用したいというニーズに応えた。 ・リモート音訳サービスにより、分館が休館中でも、利用者がサービスを利用できている。 【課題】・必要とする人に届くPRがさらに必要。	・感染防止のため当面は、利用者やボランティア別室で、対面音訳サービスを実施する。 ・高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安のステージに応じて、感染対策を講じながら非来館を含めた利用しやすいサービスを提供する。 ・サービスPRの際に対面音訳サービスチラシを活用するなどし、新規利用者獲得を図る。	【成果】○ ・コロナ禍でも感染症対策を実施しながら来館及び非来館によるサービス提供をすることで、利用者の情報取得に寄与できている。 ・継続的に利用されている。 【課題】・必要とする人に届くPRがさらに必要。
利用回数	672回																					
うちボランティア利用	638回																					
月平均利用	56回																					
ボランティア登録者	96人																					
利用回数	389回																					
月平均利用	78回																					
ボランティア登録者	85人																					

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度			令和3年度			令和3年度			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で			
	令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度4月以降			令和3年4月1日～令和3年8月31日				令和3年度9月以降		
	【これまでの取組状況】(Do) R 2.4～R3.3の実績 (数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)			【これまでの取組状況】(Do) R 3.4～R3.8の実績 (数値は8月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check)		
各サービス	上映会・体験会の開催 字幕付き映画、手話付き映画、音声解説付き映画、マルチメディア・デザイン、音声付き電子書籍等の上映会・体験会を企画し、開催します。	開催日 (予定)	内容	参加者数	【成果】 ○ 満席となった。 ・バリアフリー映画の周知ができた。(アンケート結果：バリアフリー映画を知らない…60%) ・サービスの利用相談につながった。 【課題】 ・障害者を含めた、幅広い世代が参加しやすい作品選定。 ・定例の映画会は、午前と午後の2回実施しているが、民間から資料借受する場合、1回しか上映できない。	【成果】 ○ 高知声と点字の図書館と連携・協力し、実施する。定例の映画会でもバリアフリー対応の作品を上映するなど、回数を増やすことも検討する。 ・子ども向けバリアフリー上映会の検討。 ・館内上映可能な資料の充実を図る。	開催日 (予定)	内容	参加者数	【成果】 未実施 【課題】	【成果】 ○ 満席になるなど、好評。上映作品が資料貸出しにつながっている。 【課題】 ・障害者を含めた、幅広い世代が参加しやすい作品選定。 ・子ども向けバリアフリー上映会の検討。		
		11月29日	東野圭吾ドラマシリーズ"笑"	51			10月10日	影裏					
		・11月29日(日)に実施した。 ・映画会の会場で、大活字本や布絵本などバリアフリー図書や、バリアフリー仕様のDVDの展示を行った。					未実施						
手話によるお話し会の開催	児童等を対象にした手話によるお話し会を企画し、開催します。	実施回数		2回	【成果】 ○ 読み聞かせの前の練習で手話に親しみができ、参加者が手話を真似ながら楽しんでいた。保護者からも好評でリピーターもあった。展示した手話関連本の貸出しがあった。 【課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限等と広報のバランス調整が必要。	【成果】 ○ 令和3年度は、8月29日(日)、1月23日(日)に実施予定。 ・人数制限を設ける場合は、障害者ができるだけ参加できるような広報・運営を実施する。 ・チラシの配布など、効果的な広報を実施する。	実施回数		回	【成果】 未実施 【課題】	【成果】 ○ 手話で楽しむおはなし会を定期的に開催している。 ・手話に興味がある利用者や聴覚に障害がある利用者などのリピーターを含む参加があり、障害のある児童もおはなし会を楽しみ、貸出しにもつながった。 【課題】 ・コロナ禍での実施においては、人数などの制限と広報とのバランス調整が必要となる。 動画をウェブで公開するなど、非来館で利用できるサービスも充実させる必要がある。		
		参加者 延べ		22名			参加者 延べ		名				
		・8月29日(日)・1月31日(日)に手話で楽しむおはなし会を実施。 ・コロナ対策で人数制限等を行って実施した。 <今回> 組数：5組。前日までの申込制。 対象：3歳～小学生までの方とその保護者。(8月は聴覚障害のある方を対象) <従来> 組数：制限なし。申込不要。 対象：3歳～小学生までの方とその保護者、手話に興味のある方 ・おはなし会で読む絵本のポイントとなる単語を練習したのちに読み聞かせを行った。					・8月29日(日)手話で楽しむおはなし会は高知県のステージが非常事態(紫)となったことにより、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止した。 ・チラシをろう学校へ配布等、広報実施済み。						
団体貸出の実施	来館が困難な方が資料を利用できるように、病院・社会福祉施設等への資料の団体貸出を行います。	新規登録団体		3団体	【成果】 ○ 昨年度のさくらバリアフリー文庫PR時に利用登録につながった団体は、継続して利用がある。 【課題】 新型コロナウイルスの影響でイベントが中止になり、PRをする機会が少なくなった。	【成果】 △ さくらバリアフリー文庫を図書館や団体に貸出すことで資料について周知をはかり、継続利用につなげる。 ・貸室やアウトリー担当と協力して、バリアフリーサービスに関係したイベントの情報を集め、その場で団体貸出しのPRも実施できないか働きかける。	利用回数 (サービス担当把握分)		15回	【成果】 △ ・登録した団体は継続的な利用につながり、ニーズに応えられている。 【課題】 ・新規団体の獲得が必要と考えられるがカウンターで登録・利用される場合の利用動向が把握できない。 ・サービスを利用したいが、人的・時間的制約があり来館する余裕のない事業所等の声がある。(配送希望あり)	【成果】 △ 登録した団体は継続的な利用につながり、ニーズに応えられている。 【課題】 ・新規団体の獲得が必要と考えられるがカウンターで利用する場合の利用動向が把握できない。		
		さくらバリアフリー文庫のPRをきっかけに、団体貸出しについてのPRも行っている。					※リピーター利用が主のため、利用回数を指標とする。 ・高知声と点字の図書館と連携して実施。 ・貸室や障害者関係の会議等でサービスPRを実施。						

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度			令和3年度			令和3年度			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で			
	令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度4月以降			令和3年4月1日～令和3年8月31日				令和3年度9月以降		
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)			【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check)		
ボランティア	高知声と点字の図書館と連携し、ボランティアなどの養成、スキルアップ講習会等を実施	新図書館の資料について、高知声と点字の図書館と連携し、リクエストに応じて点訳や音訳、「テキスト・データ」化等の変換ができるようボランティアや協力者の養成、スキルアップ講習会等を実施	講習会開催数 延べ 20回	参加者数 延べ 267人	【成果】 ○ 読みの調べ方講座、スキルアップ研修ともにアンケート結果は、参加者全員が「たいへん良かった」または「良かった」と回答があり、好評だった。 【課題】 音訳ボランティア養成では、当館の対面音訳について詳しく説明する機会がないため、対面音訳ボランティアとして活動を希望する方には、対面音訳ボランティア活動について追加で研修が必要。	・音訳ボランティア養成講座受講生のうち、対面音訳ボランティアとして活動を希望する方に実践研修(視覚障害者(声と点字の図書館職員)の前で資料を読む)を実施し、対面音訳ボランティアとして登録を行う。 ・引き続き研修の機会が少なかったボランティアにスキルアップの研修機会を提供する。	講習会開催数 延べ 3回	参加者数 延べ 29人	【成果】 △ デモンストレーションを実施することで、対面音訳に必要な技術を体感でき、ボランティアの意欲向上にもつながった。 【課題】 ・ボランティア毎に技術差が大きいため、昨年度に引き続きボランティア全体の実践経験を積む必要がある。 ・昨年度に引き続き、演習を含んだスキルアップ研修の実施が必要である。	今後の取組 ・利用者のニーズに応じたスキルアップ研修を実施する。 ・12月5日 読みの調べ方研修 ・12月26日 スキルアップ研修 ・ボランティアの実践経験を上げるため、引き続き依頼が偏らないように調整する。	【成果】 ○ 新規ボランティアの養成及び登録ボランティアのスキルアップ研修を毎年実施することにより、ボランティアの技術の向上ができ、サービスの質の確保及び向上につながっている。 【課題】 ・サービス利用者のニーズに対応できるよう、ボランティアの技術レベルの確保及び維持が必要。		
	さわる絵本や布絵本等について、ボランティアによる作成を支援します。	・授業で布絵本の縫製も実施している県立春野高等学校に、布絵本キットを提供した。 ・布絵本作成中の写真をブログで公開、館内でも展示してFacebookやTwitterで紹介するなど、図書館と県立図書館が連携した取組を紹介した。	【成果】 ○ 県立春野高等学校から、作成キットを提供した12点とオリジナルの5点の計17点寄贈いただいた。 【課題】 ・布絵本の贈呈式は、高知新聞・読売新聞から取材があり、図書館と県立学校が連携した取組が掲載された。 オリジナルの布絵本を中心に作成したいと学校側から話があり、材料提供や作成にかかる支援方法の検討が必要。	・オリジナルの作成を依頼するにあたり、布の提供やアイデアとして本の提供など支援方法を検討する。	・授業で布絵本の縫製も実施している県立春野高等学校に、布絵本キットを提供した。	【成果】 ○ オリジナルの布絵本を中心に作成したいという要望をもとに材料提供方法について検討し、学校との連携を進めた。 ・オリジナルの布絵本作成にかかる支援方法の検討が必要。	今後の取組 ・オリジナルの布絵本作成に向けて、材料提供等作成支援を行う。	【成果】 ○ 県立春野高等学校との連携により、生徒作成の布絵本が継続して寄贈されることにより、貸出点数が増加している。 【課題】 ・オリジナルの布絵本作成にかかる支援方法の検討が必要					
わかりやすいパンフレットの作成	障害者サービスを知っていただき、必要としている方に必要な情報をお届けするため、わかりやすく、使ってみてわかるきつかけづくりを大切にパンフレットなどを作成します。また、マンガ等の活用も検討します。	【取組】 ・6月に点字版・音声版の利用案内等を盲学校など関係機関への配布を開始した。 ・対面音訳サービスチラシを作成。 ・高知県国際交流協会主催『やさしい日本語』の研修を受講し、LL版利用案内作成に役立てた。 ・近畿視覚障害者情報サービス研究協議会作成のひな型を使用した誰にでもわかりやすいLL版利用案内を作成。	【成果】 △ 関係機関に点訳版・音声版の利用案内等の配布を行ったが、これといった反応がない。 【課題】 ・バリアフリーサービスが必要な人に情報が届くよう、周知を強化する必要がある。 ・広報物の内容と対象者がマッチする効果的な周知が必要。	・LL版利用案内を特別支援学校などに配布する。 ・宅配貸出サービス等、サービス毎のわかりやすい案内を作成する。 ・多様な機会を捉え、効果的な広報を実施する。	【取組】 ・「やさしい利用案内」を特別支援学校、障害者関係施設等に配布。 ・宅配貸出サービスチラシを作成、障害者・高齢者関係施設等に配布。 ・パンフレットやチラシを出前図書館・サービスPRの場で配布し、積極的な広報の実施に活用	【成果】 △ ・パンフレット閲覧やサービス紹介を受け、新規利用者が増加。 【課題】 ・さらなる利用者増加につなげる必要がある。	今後の取組 ・障害者手帳交付時のバリアフリーサービスのチラシの配布を継続して行う。 ・事業者研修会など多様な機会を捉え、効果的な広報を実施する。	【成果】 ○ 障害の特性に応じたパンフレット等が作成でき、サービスの利用者増加につながった。 【課題】 ・パンフレットに加えて、動画などの多様な媒体をPR対象者に等を効果的に活用し、更なるサービスの周知・利用の増加につなげる必要がある。 ・マンガの利用案内の作成					
ホームページでの情報発信	当館のホームページで、音声・動画を活用し、音声・映像資料のサンプル提示等により、情報発信します。	音声・動画 23本	【成果】 ○ 来館せずに利用できるコンテンツを提供することができた。 【課題】 字幕がついていないものがほとんどであり、バリアフリー対応ができていない。	・今後作成する動画には字幕を入れる。 ・『手話でおはなしを楽しむ動画』を作成後発信するなど、当事者がわかりやすい媒体での情報提供も行う。 ・手話による利用案内動画作成に取り組む。 ・定期的に情報発信し、バリアフリーサービスの周知を図る。	音声・動画 30本(うち新規2本)	【成果】 ○ 来館せずに利用できるコンテンツを提供することができた。 【課題】 自館作成・編集分は字幕をつけていないものがほとんどであり、バリアフリー対応が十分でない。(利用しているYoutube自体の自動字幕機能は使用可能)	今後の取組 ・今後作成する動画には字幕を入れる。 ・『手話でおはなしを楽しむ動画』を作成後発信するなど、障害者等がわかりやすい媒体での情報提供も行う。 ・手話による利用案内動画作成に取り組む。 ・定期的に情報発信し、バリアフリーサービスの周知を図る。	【成果】 ○ ウェブ・サイトやSNS、YouTube等の多様な媒体できめ細かな情報発信ができ、利用者の情報獲得に寄与できている。 【課題】 ・多様な障害に対応した情報発信を拡充していく必要がある。					

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で	
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日			
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績 (数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績 (数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績 (数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)		
利用者アンケート調査の実施	図書館利用に障害のある利用者へのアンケート調査を3年に1回程度実施します。	アンケートを実施した。 <バリアフリーアンケートの対象> ・特別支援学校 ・視覚障害者団体 ・聴覚障害者団体 ・身体・肢体障害者団体・事業所・支援施設 ・知的障害・発達障害者団体 ・難病等団体 ・高齢者介護事業所	【成果】 ○ 【課題】 ・当事者本人が自ら書くことが難しい場合、施設等担当者に当事者に対して聞き取りをしてもらうなど、施設の協力が必要。	今後の『取組』(Action) ・課題に対する取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容 (回数含む) や手法を見直す取組 (見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も (例：ニーズがない)	R2年度実施済	【成果】 ○ 【課題】 ・対象者本人が自ら書くことが難しい場合、施設等担当者に本人に対して聞き取りをしてもらうなど、施設の協力が必要。	今後の取組 ・アンケート結果をもとに、これからのサービスのあり方について検討する。 ・バリアフリーサービスの認知度の低さが顕著であり、サービス周知を強化する。 ・実際の利用者の声をひろいあげられるよう、バリアフリー映画会などイベント時にアンケート調査を実施する。	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった 【成果】 ○ 高知声と点字の図書館と協力し、幅広い障害を対象にアンケートを実施した。 【課題】 ・障害者の状態等に応じて、施設等担当者による本人への聞き取りなど、施設施設の協力が必要。 ・アンケート結果をもとに、サービスの改善等に生かし、オーテピア館内を含めたイベント等でのPRの機会を捉え、さらなるサービス周知が必要。
多様な障害特性の理解や接遇研修の実施	障害特性を理解し、適切な配慮のできる職員を養成します。また、接遇研修を行うことで、圧迫感のない、やさしい窓口を目指します。	【取組】 ・6月19日のオーテピア全体会で『障害のある人への配慮について』研修を行い、現場での各障害者への対応を、DVD視聴などを通して学習した。 ・毎年年度当初に接遇研修を実施している。	【成果】 ○ ・毎年度受講することにより、障害に対する理解が深まっていく。 ・6月19日の研修では現場での筆談対応例などを動画で見ることができ、実際の窓口対応での参考になった。 【課題】	年度途中から採用の職員もやさしい対応ができるよう、日常的に研修の復習や障害特性等を話題にし、職員みんなが理解できるきっかけをつくる。	【取組】 ・6月13日のオーテピア全体会で『やさしい日本語』研修を行い、障害や外国語が母語等により日本語でのコミュニケーションが取りにくい方へやさしい日本語による言い換えを行うことでコミュニケーションをとる基礎的な学習を行った。 ・7月16日のオーテピア全体会で『読書バリアフリーサービス』研修を行い、読書バリアフリーについての基礎的な学習を行った。 ・毎年年度当初に接遇研修を実施している。	【成果】 ○ ・毎年度受講することにより、多様な障害に対する理解が深まっていく。 ・6月13日の研修では実際の窓口対応での参考になった。 【課題】 ・理解することと実践できることは異なる。研修を繰り返し、随時行う必要がある。	今後の取組 ・毎年度、途切れることなく職員向けの研修をおこなっていく	【成果】 ○ 毎研修を実施することで、多様な障害に対する理解が深まっている。 【課題】 ・理解することと実践できることは異なることや、新しい情報へのアップデートを随時行う必要がある。
筆談等の研修の実施	筆談、音訳や資料の変換を実施。コーディネートできる職員を養成します。	【取組】 ・筆談については、平成30年度に研修を実施、全窓口で対応できるようにしている。 ・音訳については、高知声と点字の図書館が音訳者の養成講座を実施し、コーディネートもしている。	【成果】 ○ ・筆談は随時実施している。 ・高知声と点字の図書館がコーディネートを行い、養成したボランティアは、音訳等資料の変換を実施しており、変換された音訳資料はサビエ図書館に登録し、全国的に利用されている。 【課題】	コーディネートは高知声と点字の図書館で行っており、引き続き研修の実施等、連携・協力して行う。	【取組】 ・筆談は、平成30年度に研修を実施、全窓口で対応可能。 ・音訳は、高知声と点字の図書館が音訳者の養成講座を実施し、コーディネートも実施。	【成果】 ○ ・筆談は随時実施している。 ・高知声と点字の図書館がコーディネートを行い、養成したボランティアは、音訳等資料の変換を実施しており、変換された音訳資料はサビエ図書館に登録し、全国的に利用されている。 【課題】	今後の取組 ・コーディネートは高知声と点字の図書館の実施等、連携・協力して行う。	【成果】 ○ 筆談：全窓口で対応可能。 音訳：高知声と点字の図書館と連携・協力して実施。作成した音訳資料はサビエ図書館に登録し、全国的に利用されている。 【課題】 ・職員の入替後も筆談対応できるように館内で啓発していく必要がある。
手話勉強会の実施	高知市では、手話言語条例を制定しています。手話によるコミュニケーションに理解のある図書館を目指し、手話に関する職員勉強会を行います。	【取組】 ・月1回のオーテピア全体会で全職員対象に、高知市職員向けの手話講座受講者によるミニ手話研修を実施している。 ・手話版利用案内のシナリオを作成し、10月からシナリオに沿った研修を実施している。	【成果】 ○ 毎月繰り返すことにより、手話が身近なものになっている。 【課題】	・手話の利用案内作成と合わせ、窓口でも使用頻度の高い手話を順次学んでいけるよう、引き続き全体会での研修を実施する。	【取組】 ・月1回のオーテピア全体会で全職員対象に、高知市職員向けの手話講座受講者によるミニ手話研修を実施している。 ・手話版利用案内のシナリオを作成し、R2年10月からシナリオに沿った研修を実施している。	【成果】 ○ 毎月繰り返すことにより、手話が身近なものになっている。 窓口で簡単な手話、筆談による対応につながっている。 【課題】	今後の取組 ・手話の利用案内作成と合わせ、窓口でも使用頻度の高い手話を順次学んでいけるよう、引き続き全体会での研修を実施する。	【成果】 △ ・オーテピア職員全体に向けた簡易な手話研修を繰り返し継続して実施することで、手話及び障害者への理解促進につながっている。 【課題】 ・手話研修機会が月1回の短時間であるため、動画の共有など研修機会を増加する必要がある。

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・各種のバリアフリー資料を積極的に収集・提供したが、当事者に届くPRにさらに工夫が必要と思われる。 ・各サービスやボランティア・職員それぞれの研修、PRなどについては、声と点字の図書館と連携し、ほぼ計画通り、実施できた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響があったが、リモート音訳も実施するようになり、選択肢が広がったのはよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンガを活用した利用案内について、検討する。 ・やさしい読み上げサービス（代読サービス）について、高知声と点字の図書館と検討を進める。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△× で				
	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度4月以降				令和3年4月1日～令和3年8月31日					令和3年度9月以降			
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）				【取組の成果と課題】(Check)				【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）					【取組の成果と課題】(Check)			
巡回訪問 や依頼訪問等による支援	巡回訪問	31	市町村 延	61 回実施	【成果】 ○ 電話やメールでの業務相談が増えているが、訪問による関係性を築くことができているので、電話やメールでの相談に結びついている。 ・コロナ禍での図書館業務について相談が寄せられたが、オーテピアの対策等を踏まえ対応することができた。 【課題】 市町村によっては、会計年度職員がインターネット端末へアクセスすることに制限があり、ブログやメールの情報が現場の職員に届きにくい場合がある。	・研修のお知らせや新規貸出セットの紹介など現場の業務に直結する情報については、紙媒体でも提供を積極的に行う。 ・確実な情報提供・情報共有のためにも、巡回訪問を積極的に行う。	巡回訪問	32	市町村 延	49 回実施	【成果】 ○ 実際に各市町村を訪問することで各館の立地や館内の様子などを把握でき、日々の業務相談やレファレンスの対応に活かされている。 ・FAXやメール等で通知している事柄が担当職員に届いていないことがあり、巡回訪問をすることでカバーしている。 ・訪問した図書館等をブログで紹介することで、展示の仕方や配架の工夫など、他の図書館と交流の少ない市町村職員にも参考にしてもらえた。 【課題】 ・図書館等によって、県立図書館からの情報へのアクセス環境が異なるため、巡回訪問以外にも情報提供、情報共有のフォローアップを検討する必要がある。	今後の取組 ・市町村職員との関係づくり、また各図書館等の状況確認も含め今後も積極的に巡回訪問を行う。 ・各図書館等が実施した取組みも含め、業務の参考になる情報もブログ・紙媒体等を活用して発信していく。	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった				
	依頼訪問	1	市町村 延	3 回実施			・新たに開館した図書室に対して事前に開館準備の支援や助言、訪問による状況確認を行った。 ・新型コロナウイルスの感染対策について実際に館内の様子を見ながら相談に応じた。 ・訪問した図書館についてブログで紹介した。 ・リニューアルを予定している図書館に対し、検討委員として当館職員を派遣した。	・各図書館等によって、県立図書館からの情報へのアクセス環境が異なるため、巡回訪問以外にも情報提供、情報共有のフォローアップを検討する必要がある。	・各図書館等の職員配置状況、情報へのアクセス環境等に配慮した、きめ細かい情報共有を行う必要がある。								
レファレンスへの協力	受付件数			21 件	【成果】 ○ オーテピアで専門書・データベース等の収集整備が進むことで、協力レファレンスへの回答にも活用できるようになり、市町村立図書館へのアンケート調査でも高い満足度を得ている。 【課題】 ・具体的に何を調べれば良いのか分からない状態でレファレンス依頼が来るなど、レファレンスの基本的な対応ができていない市町村が一部にある。 ・レファレンス・サービスが十分に行われていない市町村がある。	・レファレンスに回答するだけではなく、レファレンス・インタビューの必要性や方法などについても伝えていく。 ・レファレンスに役立つ情報の発信や、研修の実施についても検討する。	受付件数			8 件	【成果】 ○ 自館で調査した結果を踏まえて申し込む館が増え、アドバイスの成果が感じられた。 【課題】	今後の取組 ・レファレンス研修の実施や職員研修の受講より市町村、支援協力担当職員双方のスキルアップを図る。 ・市町村職員が自己研修できるよう、動画コンテンツを作成する。 ・協力貸出用のレファレンスブックや業務の参考となる資料を積極的に収集する。 ・来年度に向け、初任者向けの研修も企画していく。	○ 各図書館等の依頼に対応することができた。 【課題】 ・レファレンスサービスが十分に行えていない市町村も多い。 ・職員の研修も継続して必要。				
	各サービス担当の協力も得ながら対応できている。						・各サービス担当の協力も得ながら対応できている。 ・個別に相談があった時や研修を通して、調べ方やレファレンスインタビューの仕方などをアドバイスした。										

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度				令和3年度				令和3年度				第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△× で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった				
	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度4月以降				令和3年4月1日～令和3年8月31日					令和3年度9月以降			
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check)				【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)					【取組の成果と課題】(Check)			
研修の実施	市町村立図書館の職員等に対して、高知県図書館職員研修や個別テーマに応じた研修等を実施し、人材の育成を図ります。市町村立図書館等の職員を県立図書館に受け入れて行う研修を実施します。	研修会名等	開催数	参加者数	【成果】 ○ オンライン研修はコロナ対策として実施したもののだが、遠隔地である、勤務形態等の事情で集合研修への参加が難しい市町村職員の参加も多くあり、参加者数が例年より増加した。 ・いずれの研修も、実施後アンケートで「大変参考になった」「参考になった」の回答がほぼ100%となっている。 【課題】 オンライン研修では集中して学ぶことが難しくかったという受講者の意見もあり、集合研修と組み合わせて実施していく必要がある。	【成果】 ○ 基本的には集合研修としつつ、研修動画の作成・配信の取組を進めていく。 ・令和3年度の図書館サービス研修は「郷土資料のレファレンスブック」、ブロック別研修は「読書バリアフリー」と「本の簡易修理講座」を実施予定。 【課題】 オンライン研修へのニーズが高まる一方、集合研修は直接講師に質問できたり、参加者同士の情報交換の場になるなどメリットも多い。勤務体制等の事情で参加できない市町村職員のためにも、集合研修と動画配信とのハイブリッドな研修を企画していく必要がある。 ・動画編集に時間がかかり、配信が追いついていない。 ・参加者によってレファレンスのスキルに差があり、今回実施した研修ではレベルが高すぎた面もあった。	研修会名等	開催数	参加者数	【成果】 ○ 新型コロナの影響で参加者は少なかったが、内容への満足度は高く、いずれの研修も、実施後アンケートで「大変参考になった」「参考になった」の回答がほぼ100%となっている。 【課題】 ・オンライン研修へのニーズが高まる一方、集合研修は直接講師に質問できたり、参加者同士の情報交換の場になるなどメリットも多い。勤務体制等の事情で参加できない市町村職員のためにも、集合研修と動画配信とのハイブリッドな研修を企画していく必要がある。 ・動画編集に時間がかかり、配信が追いついていない。 ・参加者によってレファレンスのスキルに差があり、今回実施した研修ではレベルが高すぎた面もあった。	今後の取組 ・集合研修をベースに動画を作成する。 ・動画編集しやすいような研修の構成を考える。	【成果】 ○ 研修体系が整理できたことで、市町村職員にも定着してきた。 ・図書室や司書資格のない職員からのニーズが高い内容を「どこでも研修」のメニューとして提示した。このことにより、市町村からは自館の課題に合わせて選択することができ講師派遣を依頼しやすくなった。また、講師を担当する職員もメニューにそった研修材料を予め用意しておくことができるなど、負担が一定程度軽減できた。 ・研修動画の配信を実施することで、市町村職員の選択肢を増やすことができた。 【課題】 ・遠隔地や職員数の少ない館の職員は集合研修に参加しづらいため、新型コロナ対策に限らず動画配信も並行して検討する必要がある。 ・全国規模の、より専門性の高い研修への参加機会が非常に限られている。新型コロナを契機に、オンライン研修も増えているので、研修情報の提供にも力を入れる必要がある。					
		ブロック別研修会(高知県図書館協会事業)	4	135			図書館サービス研修(初任者研修) 児童サービス編	1	34				図書館サービス研修(中堅研修) 第1回「図書資料の選定・除籍」	1	39	ブロック別研修会「みんなであつなく読書バリアフリー」(高知県図書館協会事業)	3
どこでも研修	延べ4	52	・「図書資料の選定・除籍」の研修動画を作成し、YouTubeで公開した。 ・ブロック別研修会(1回)をオンラインにより実施した。	・集合研修を実施するとともに動画撮影も並行して行った。	・多数の図書館等から巡回展示への参加申込みがあった。展示には自館所蔵資料を使用し、リーフレット類の提供のみ希望する館もあり、各館の整備状況に応じた支援となっている。	・娯楽的な内容のセットへの需要も依然高い。											
企画展示	市町村立図書館等における企画展示の実施を支援するため、テーマに応じた資料の貸出しやブックリストの提供等、一括して行います。	セット貸出	97	セット延べ	2,851冊	【成果】 ○ 県民が今必要とする情報をいち早く提供することができた。 ・特にSDGsは貸出依頼が多く、ニーズが高かった。 【課題】 全体的には娯楽的な資料の利用が多い傾向が続いており、市町村のニーズへの対応と新たなニーズの掘り起しのバランスを取って資料提供を考えていく必要がある。	【成果】 ○ SDGs等需要のある資料は、引き続きセットを作成する。 ・課題解決に資するテーマのセット作成に重点を置き、内容等にも踏み込んだ紹介をするなど情報提供の工夫をして利用促進を図る。 ・社会情勢の変化や制度の見直し等に留意しながら、セットを作成していく。	セット貸出	20	セット延べ	473冊	【成果】 ○ 昨年実施したアンケートで医療健康に関心が高い市町村が多かったため、がん検診の啓発につながる巡回展示を企画し、実施に向けて貸出セットを作成した。また、県庁関係課の協力を得てリーフレット類を収集した(9月から実施予定)。 【課題】 ・娯楽的な内容のセットへの需要も依然高い。	今後の取組 ・がんの啓発に関する企画は、今年度の実施状況を参考に改善しながら、来年度以降も継続的に実施していく。 ・娯楽的な内容のものも一定数作成しつつ、課題解決支援サービスにつながるセットを重点的に作成する。	【成果】 ○ SDGsや健康づくりなど課題解決のテーマに沿ったセットを多数作成することができた。 【課題】 ・娯楽的な内容のセットも需要が高い。セット全体のバランスを考慮しつつ、市町村の課題解決サービスを後方支援できるように資料の提供を心掛ける必要がある。			

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度		令和3年度	令和3年度			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△× で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった	
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降	令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降		
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【取組の成果と課題】(Check)
課題解決支援サービスの実施	市町村立図書館等において課題解決支援サービスに取り組むことができるよう、専門機関の紹介や出張講座の共同実施等を支援します。	専門機関紹介 0回 出張講座 0回実施 ・外部機関の研修会(多文化サービス関係)の受講を、サービスに取り組んでいる市町村立図書館に働きかけた。	【成果】△ 多文化サービスへの取り組みを始めた館がある。オーテピアとの連携にも意欲がある。 【課題】 ・現状ではサービスを実施できる環境にある図書館に限られているため、まずは取組みモデルとなりうる館を重点的に支援する必要がある。 ・当該の図書館がオーテピアに期待する支援・連携のあり方を具体的に確認する必要がある。	市町村立図書館が主体的にサービスを実施できるよう、支援・連携方法について協議・検討を進める。	専門機関紹介 0回 出張講座 0回実施 ・在留外国人が多い市町村に対して県関係課の取組み紹介を行った。 ・市町村での多文化サービスの実施について、県関係課と協議した。 ・課題解決支援サービスの実施を検討している図書館に向けて情報提供を行った。	【成果】△ ・これまで課題解決支援サービス実施の実績がない市町村立図書館等でもサービスを進められるよう、課題解決関係のセットを積極的に作成した。 【課題】 ・多くの市町村にとっては人的・物的に限界があり、サービスを取り組むことにハードルが高い。	今後の取組 ・課題解決支援サービスの実施に関心のある図書館等に対して積極的に働きかけサポートしていく。 ・サービス実施のハードルを下げられるよう、魅力的な貸出セットを作成、PRしていく。	【成果】△ ・オーテピアでの取組が進んできたことで、市町村に対して具体的に事例を紹介できるようになりつつある。 【課題】 ・講座等の共同実施にまでは至っていない。
行政支援サービスの実施	市町村立図書館等において行政支援サービスが行えるよう、関連図書館の協力貸出に加えて、市町村立図書館等の職員に対する研修、レファレンスへの協力等の支援をします。	市町村立図書館から、行政支援サービスについて問い合わせがあり、参考としてオーテピア高知図書館の取組を紹介した。	【成果】△ 【課題】 市町村役場から直接オーテピアにレファレンス依頼が寄せられることがあるなど、市町村立図書館が十分に利用されていない例がある。	レファレンス依頼があった際には地元の図書館の利用を案内するとともに、当該図書館に対しても情報共有を行い連携を促す。	・自治体職員に役立つ資料を積極的に収集した。 ・行政支援の観点も踏まえ、行政資料・地域資料の収集・保存の重要性について研修を実施した(郷土レファレンス研修)。	【成果】△ 【課題】 ・各図書館等の行政支援サービスの動向を十分に把握できていない。	今後の取組 ・巡回訪問時の聞き取りやレファレンスなどから各図書館等の行政支援サービスの動向の把握に努める。 ・自治体職員が活用できそうな資料を継続的に収集していく。	【成果】△ ・オーテピアの取組等も参考に、行政職員への貸出サービスや新刊情報のメール配信を行った館があるなど、市町村でも首長部局との連携の必要性への認識が高まりつつある。 【課題】 ・首長部局での図書館の認知度が低い。
市町村のニーズに応える資料の収集・提供	協力貸出用の資料を収集し、提供します。	移動図書館用 6,015冊 協力貸出用 1,193冊 新規貸出セット 38セット 1,001冊 ・巡回訪問時に、利用傾向や展示テーマの希望等を聞き取り、資料収集の参考とした。 ・市町村での資料選定の参考としてもらうため、研修動画を作成しYoutubeに公開した。	【成果】○ 現場のニーズに合った資料の提供が、迅速にできている。 【課題】 ・市町村で購入すれば利用が見込まれるような本であっても、市町村立図書館が購入していない状況が散見される。 ・教科書改訂により、貸出依頼される資料に変化が見られるが、対応する資料の収集が不十分である。	・改訂教科書の内容を確認し、補充すべき資料の選定・収集を行う。 ・市町村立図書館等で収集した方が良い資料については引き続き購入を促す。	移動図書館用 2,134冊 協力貸出用 496冊 新規貸出セット 20セット 473冊 ・がん啓発や高齢者の健康など、課題解決のテーマに即したセットを多数作成した。 ・改訂された教科書の内容を確認し、資料の購入を行った。	【成果】○ ・現場のニーズに合った資料の提供が、迅速にできている。 【課題】 ・市町村で購入すれば利用が見込まれるような本であっても、市町村立図書館が購入していない状況が散見される。	今後の取組 ・市町村立図書館等で収集した方が良い資料については引き続き購入を促す。 ・市町村立図書館等の資料収集に参考になるようなセットや、市町村の職員の自己研鑽に役立つようなセットを作成する。	【成果】○ ・市町村からのニーズが高い資料、市町村が十分に収集できていない分野の資料など、バランスを考えた収集・提供を行った。 ・新刊情報週刊誌の提供を開始し、特に小規模館や図書室での選書に活用されるようになった。 【課題】 ・協力貸出の利便性向上が、各市町村の資料購入を弱めることがないよう、継続的なサービス説明等が必要。
情報提供の工夫	協力貸出の活性化のため、テーマに応じたブックリストを作成し、提供します。	時事に関するセットのほか、ビッグブックや高齢者紙芝居など、活用の少ない資料の紹介をブログで行った。	【成果】△ SDGsやステイホーム関連のセットは、広報への反応が大きかった一方、ビッグブックは利用につながらなかった。 【課題】 ・ブックリスト形式にこだわらず、想定される利用者に応じた紹介方法を検討する必要がある。 ・資料形態、内容と提供方法が見合っていない可能性がある。	・ブックリストについては、各サービス担当が作成するものも活用し、幅広いテーマで資料紹介を行う。 ・資料形態、内容に合わせて情報提供の方法を工夫する。 ・情報提供後の反応を資料提供方法の見直し等に反映させる(セット貸出→移動図書館等)	・新規セットのリストを作成しホームページで公開した。 ・所蔵資料について、貸出状況などから判断して資料提供方法を見直し、セット化した方が利用が見込まれるもの、移動図書館の方が利用が見込まれるものなどの分けを行った。	【成果】△ ・リストを公開するとすぐに貸出依頼があるなど、効果がみられる。 【課題】 ・ホームページを頻繁にチェックしていると話す市町村がある一方、ネットやメールをチェックする習慣がなく情報が十分に届いていない館もある。 ・利用する館が固定化している。	今後の取組 ・研修や巡回訪問、ブログなどで資料の活用を積極的に広報していく。 ・情報提供方法について検討していく。	【成果】△ ・セット資料については、リスト作成により、利用の活性化につながることができた。 【課題】 ・ブックリスト作成数が少なく、情報提供方法も検討の余地がある。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日			令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△× で ○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった											
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)												
	【成果】	冒頭に達成状況を○△×で			【成果】	冒頭に達成状況を○△×で														
相互貸借の活性化	図書館情報システム未導入の市町村立図書館等の所蔵情報を収集し、県内図書館横断検索システムで所蔵状況の検索ができるようにします。	【取組】	【成果】 未実施 【課題】	廃止	【取組】 廃止	【成果】 廃止 【課題】	廃止	【成果】 【課題】	・各市町村での図書館情報システム導入や横断検索への参加が進んだことで、所蔵検索の利便性が向上した。											
物流便による資料の配送	休館日を除き、毎日、協力貸出や相互貸借の資料を当館の負担で、市町村に配送します。	<table border="1"> <tr> <td>配送対象</td> <td>61</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>取扱冊数</td> <td>118,480</td> <td>冊</td> </tr> </table>	配送対象	61	箇所	取扱冊数	118,480	冊	【成果】 ○ 市町村立図書館の館内や図書館だより等で、相互貸借や遠隔地返却について周知されていることもあり、利用が定着してきている。 【課題】 相互貸借など利用できるサービスについて、引き続き周知していく必要がある。	・職員の異動があった市町村には早期にサービス説明を行うなど、利用の継続に努める。 ・定期的にサービスチラシ類の提供を行う。	<table border="1"> <tr> <td>配送対象</td> <td>61</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>取扱冊数</td> <td>49,494</td> <td>冊</td> </tr> </table>	配送対象	61	箇所	取扱冊数	49,494	冊	【成果】 ○ 市町村立図書館の館内や図書館だより等で、相互貸借や遠隔地返却について周知されていることもあり、利用が定着してきている。 【課題】 ・専任職員がいない図書室等では、積極的な利用につながっていないことがある。	今後の取組 ・引き続きサービスの維持、周知を行う。 ・職員が少ない市町村でも利用しやすいよう、改善案を検討する。	【成果】 ○ ・配送を毎日行えるようになり、セット資料なども増えたことで、利用冊数、満足度も高くなっている。 ・遠隔地返却が可能となり、オーテピア利用者の利便性も向上している。 【課題】 ・専任職員がいない図書室等では、積極的な利用につながっていないことがある。
配送対象	61	箇所																		
取扱冊数	118,480	冊																		
配送対象	61	箇所																		
取扱冊数	49,494	冊																		
アウトリーチサービスの実施	出前図書館等を通して、市町村立図書館職員等と一緒に外に出て、積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います。	巡回訪問時等に、当館での取組の紹介を行った。	【成果】 × 出前図書館等の実施には至っていない。 【課題】 図書館外での活動は困難とする声もあるため、段階的な展開が必要。	まずは図書館内で実施される課題解決系のサービスを充実させることを目指し、企画展示用資料の提供やオーテピアの取組み紹介に取り組む。	巡回訪問時等に、がん啓発展示など当館の取組みを紹介した。 ・企業に向けた団体貸出の実施など、新たなサービスの展開について市町村職員と検討した。	【成果】 △ 【課題】 ・新型コロナウイルスの影響もあり具体的な実施計画まで至っていない。 ・各図書館とも人的・物的リソースに限りがあるため、市町村の意向やサービス方針も考慮して進めていく必要がある。	今後の取組 ・大きな負担なく始められるよう関連図書をセットにして貸し出したり、効率的な業務の進め方を提案するなど、市町村立図書館等が自館に合わせた形で課題解決支援サービスを始められるよう、支援の仕方を工夫する。	【成果】 △ ・遠隔地域や近隣施設等へ配本サービスを始めるなど、オーテピアの事例や県立図書館職員の助言を参考にして、館外でのサービスに取り組み始めた市町村がある。 【課題】 ・アウトリーチサービスを実施できる市町村が少ない。特に出前講座等のサービスはハードルが高いのが現状。												
広報紙への掲載等	市町村立図書館を通して受けられる図書館サービスの情報を市町村の発行する広報誌に掲載するなど、周知を図ります。	・巡回訪問時等に、協力の依頼を行っている。 ・定期的に、広報誌・図書館だよりの確認を行っている。	【成果】 ○ 定期的に掲載されている。また、県立図書館の取組に対して、地域住民の理解が深まるような広報をしていただくなど、市町村立図書館と協力体制が築けている。 【課題】 市町村によって、取り上げ方に濃淡がある。	取り上げの弱い市町村や、担当者の異動があった図書館については、積極的に協力依頼を行う。	巡回訪問時等に、協力の依頼を行っている。 ・各広報誌・図書館だよりに目を通し、県立図書館のサービスがどのように取り上げられているか、定期的に確認を行っている。	【成果】 ○ 県立図書館のサービスについて地域住民の理解が深まるような広報をしていただくなど、市町村立図書館と協力体制が築けている。 【課題】 市町村によって、取り上げ方に濃淡がある。	今後の取組 ・当館のサービスについて具体的に案内し、継続的に広報依頼をしていく。	【成果】 ○ ・オーテピア開館により、各市町村の広報誌等で取り上げられる機会が増え、サービスの認知度が高まった。 【課題】 ・継続的に広報への協力を働きかけていく必要がある。												

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
ブロック担当職員の配置や協力貸出用資料の収集、物流等、市町村立図書館支援の土台となる部分について環境整備を進めることができた。	移動図書館の位置づけ、物流サービスとの差別化等について

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績（数値は8月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない） ・R4年度予算に計上するもの	
利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの提供 文献を調べたり、調査を自ら進めることができるように、作成されたブックリストやパスファインダーを分館や分室でも提供します。	【取組】 本館・分館・分室の区別なく、利用者に提供できるよう、業務協議研修会等で本館作成のブックリスト・パスファインダーを紹介し、活用を促した。	【成果】 △ ブックリスト89種類、パスファインダー12種類（ティーンズ2種類、ビジネス3種類、多文化3種類、健康安心4類）を本館で作成し、ウェブサイトで公開することで、随時利用者に提供できるようにした。 【課題】 上記ブックリスト、パスファインダーを分館・分室で活用する流れを作れていない。	利用者の情報リテラシーのためのブックリスト、パスファインダーをさらに充実させる。また、分館・分室で利用者に情報を提供するために、どのようなツールを必要としているか、ニーズの把握を行っていく。	【取組】 ブックリスト、パスファインダーを引き続き作成。4月以降8月末までに、ブックリストは20種類、パスファインダーは1種類(ビジネス1種類)を追加作成し、ウェブ・サイトで公開した。	【成果】 △ ブックリスト、パスファインダーの数は徐々に増えており、利用者に対する情報提供水準も向上している。 【課題】 分館・分室に対しては、ブックリスト・パスファインダーに関して情報共有のレベルに留まっている可能性があり、活用状況の実態把握はできていない。 分館・分室でニーズのあるブックリストの作成	【成果】 △ ブックリスト、パスファインダーの作成が進むにつれ、様々なテーマの情報提供が可能となった。 【課題】 本館のブックリストやパスファインダーの提供について、分館・分室での実行可能な運用の流れを作ることが必要。 今後、分館・分室が必要とするテーマに沿ったブックリストやパスファインダーの作成に取り組む。
レファレンス	レファレンスサービスの充実 分館や分室でもレファレンスサービスの充実を図ります。	分館・分室でのレファレンス受付件数 ※件数については毎月の実績報告書から簡易カウントしたものの。 555 件	【成果】 ○ 分館・分室においては一定のレファレンスサービスが提供できている(※)。また、レファレンス調査に関する分館・分室からの相談・依頼については、速やかに対応できている。 ※月報での簡易カウント 555件 事例①：瓦について（日本と韓国の瓦の比較、東日本大震災後の日本の瓦の変化） 事例②：「せたらう」という言葉が土佐弁であることを確認できる文献が見たい 【課題】 分館・分室で受けるレファレンスの実態(事項・所蔵の受付件数・月報記載以外のレファレンスの内容)の把握があまりできていない。	レファレンスに関する分館・分室との情報共有をさらにスムーズに行えるよう環境を整えるとともに、分館・分室におけるレファレンスの受付・回答実態を把握し、さらにレファレンス能力の向上を図る。	分館・分室でのレファレンス受付件数 ※件数については4・5月の実績報告書から簡易カウントしたものの。 100 件	【成果】 ○ グループウェアを活用し、分館室からのレファレンス相談を受けることで、速やかな対応が可能となっている。 【課題】 分館・分室におけるレファレンスの受付実態が把握できていないため、正確な件数を把握するための方策の検討が必要。 分館・分室では所蔵資料も限られているため、簡易なレファレンスであっても本館へ相談しなければならず、回答までに時間がかかる場合がある。	【成果】 ○ グループウェアの活用により、分館・分室においても速やかにレファレンスに対応することができ、利用者の利便性の向上につながった。 【課題】 レファレンスツールをより有効に活用できるよう、効果的な対策を検討する必要がある。 分館・分室のレファレンス件数について、正確な件数を把握するため、オーテピア高知図書館と同じく事項と所蔵のレファレンスの取り方について具体的な方法を検討し周知する必要がある。
連携	学校・学校図書館との連携 高知市内の小・中・義務教育・特別支援学校との連携を密にし、学校で求められる資料の団体貸出を行います。よく借りられるテーマの図書をもとめて貸し出すセット貸しの充実を図ります。	高知市教育研究会図書館部会研究会集いで図書館の活用について講義を実施した(10月)。 学校図書館支援員研修会に講師として参加した(11月)。 学校向け単元学習用団体貸出セットのリストを作成し、活用につなげた。 教科書改訂に合わせ、一部団体貸出セットの更新を行った。	【成果】 ○ 学校図書館担当教員に、図書館の活用について直接説明とPRができた。また、学校図書館支援員研修では、事前アンケートを踏まえ実態に合わせた効果的な研修ができた。 ■ 学校・児童クラブへの団体貸出件数 本館 分館室 全体 2019年度 40件 169件 209件 2020年度 39件 248件 287件 ○ 教科書改訂に対応した団体貸出セットの更新作業は大部分終了した。 △ コロナ禍のため数は減少したが、図書館見学や職場体験を実施できた(図書館見学：本館26回1,744人・分館室：24回794人、職場体験学習：本館1回2人、分館室：0回) 【課題】 コロナ禍での学校連携のあり方については検討が必要	コロナ禍であるからこそその図書館利用の促進を図るため、学校への働きかけを継続し、団体貸出セットの整備(更新)作業を進める。	学校図書館支援員研修会の講師を務めた(5月)。 教科書改訂に合わせた団体貸出セットの更新作業が完了した(6月)。	【成果】 ○ 学校図書館支援員に団体貸出の利用方法や図書館の活用について話をするとともに、分館・分室の利用をPRすることもできた。後日、SLAから研修資料を高知市以外の支援員に配布したいとの要望があった。 ■ 学校・児童クラブへの団体貸出件(8月末時点) 本館 分館室 全体 22件 129件 151件 【課題】 常に学校図書館のニーズの把握に努めることが肝要である	【成果】 ○ 学校図書館関係職員の研修会等を通じて、図書館の活用について直接的に説明やPRができた。 ○ 団体貸出セット改訂によって、学校図書館が単元学習で必要とする資料の提供が可能となった。また2020年度は、分館室での団体貸出件数が大幅に増加した。 ○ コロナ禍においても、平年よりも数は減ったものの、図書館見学(本館・分館・分室をすべて含む)や職場体験学習の受け入れを継続することができた。 【課題】 学校図書館のニーズの把握及び、ニーズに即した資料の提供については、常に考えていかなければならない。 学校図書館支援員の方とは話す機会が増えたが、現場の先生の声から聞かないため、先生に直接情報を見てもらえるようなツールの検討が必要。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	
P R	分館・分室の周知	身近な図書館である分館・分室について、もっと広く知ってもらい、利用してもらえよう当館のホームページやフェイスブック、パンフレットなどで積極的にPRを行います。	ウェブ・サイト上で随時、分館・分室に関する情報の掲示を行っている。また、分館・分室で作成した広報紙やちらしなどは本館でも配布するようにしている。 新規登録者への図書館利用の説明に際しては、分館・分室について説明している。	ウェブ・サイト上での分館・分室情報の掲示や広報紙の配布については、さらに効果的な方法を模索しつつ継続する。 新規登録者への窓口での利用説明時、分館・分室とのネットワークについて必ず説明を行うよう、図書館活用に係る研修等の際に職員に徹底する。	【取組】引き続き、ウェブ・サイト上で随時分館・分室情報を掲示するとともに、各館室で作成した広報紙やちらし等の配布に努めた。 高知市の広報誌『あかるいまち』2021年5月号特集で、分館・分室を紹介した。	【成果】○ 日常的な分館・分室情報の発信は、地域の図書館・図書室と分館・分室のPRに資することができている。特に、高知市の広報誌で、こども読書週間の記事と合わせ、分館・分室を紹介できたことは効果が大きいと考えられる。 【課題】オーテピア高知図書館と分館・分室のネットワークについて、理解が不足している利用者がいる。	○ . . . できた・概ねできた △ . . . 一部できた × . . . できなかった
	移動図書館の周知	移動図書館の巡回場所や時間を当館のホームページなどに載せて広く知ってもらい、利用の促進を図ります。	・図書館車による巡回先 ステーション 67 学校 10 ・配本車による巡回先 保育園等 88 計 165 箇所	○ 保育園用紙芝居セット利用の新規申込みが1件あった(6月巡回から貸出開始)。 ○ 配本所が1箇所増えた(11月から)	利用拡大のため、届きやすい方法でのPRにより一層力を入れる。 ・ステーション近隣住民 ・ネット環境を持たない住民 ・移動図書館について知らない住民	【成果】○ 高知市の広報誌で、こども読書週間の記事と合わせ、移動図書館を紹介できた。 【課題】移動図書館のPRについては、まだ十分とはいえない部分がある。	○ 分館・分室の存在について一定水準のPRはできている。また図書館見学を継続的に受け入れることにより、地域館としての分館・分室の認知度や理解は向上している。 ○ オーテピア高知図書館・分館・分室ネットワークを理解していない利用者がいる。 分館・分室が本館で借りた資料の単なる返却窓口になりつつある。魅力ある館室づくりが必要。
職員研修	接遇力の向上	分館・分室職員のコミュニケーション能力、傾聴力等の向上のため接遇研修を定期的実施します。	【取組】グループウェアや業務協議研修会の機会を活用し、接遇や利用者対応に関わる案件について情報や認識を共有し、また、各種事例に対する具体的な対応方法について説明を行った。 本館司書が分館・分室を巡回し、各館室の業務端末に(土佐史談用の検索ツール)「探三郎」を設定して、使い方のレクチャーを行った。	分館・分室のニーズに合ったきめ細やかな研修の実施	【取組】個人情報の取扱いと保護の重要性について研修を行った。 図書館職員向けの研修情報については、随時分館・分室へ周知し参加を促した。	○ 個人情報取扱いの重要性について、より深く認識を共有することができた。 【課題】以前は可能だった、本館・分館・分室職員ほぼ全員が集まった研修の開催が困難となり、意見交換などが十分に行えなくなっている。	○ グループウェアや業務協議研修会で情報を共有し、本館・分館・分室全体で、利用サービスに係る問題を共有し、解決を図ることができている。 【課題】分館・分室職員全員が集まった研修が難しい。また時間も限られており、十分な研修ができていない。
	調査能力の向上	レファレンス事例の情報共有や、定期的な研修の実施により、分館・分室職員の調査能力の向上に努めます。					

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
分館・分室について一定のPRはできている。 学校図書館との連携協力については研修会での活用や団体貸出資料の充実に取り組み強化を進めた結果、利用が伸びた。 さらなる利用サービス充実のため分館・分室の職員へのきめ細やかな指導や研修が必要である。	分館・分室・移動図書館の利用者数・貸出冊数は、オーテピア高知図書館開館前と比べて極端に落ち込んでいるわけではないが、低下傾向にある※のは事実であり、これをオーテピア高知図書館開館前(旧高知市民図書館時)レベルの数値に近づけることを目標に、地域のニーズや実情に合った利用サービスの充実や資料の整備を図っていく。 ※平成26年度を100%として令和元年度と2年度の1日利用者数、1日貸出冊数の平均値を比べた場合 利用者数△8%、貸出冊数△3%

(3)県立学校図書館との連携・協力（県立図書館機能）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）	令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日		
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）		【取組の成果と課題】(Check)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績 （数値は8月31日時点）		
学校図書館の要望に応じた資料のまとめ貸し	県立学校に、要望するテーマに応じた資料のまとめ貸しなどを行います。また、高知市以外の市町村立学校には、市町村立図書館等を通して行います。	セット数 38 セット 貸出冊数 45 件 778 冊	【成果】 ○ 学校訪問で学校司書や司書教諭に直接説明を行うことにより、貸出依頼や利用問い合わせの増加につながった。 ・ニーズの高いSDGsのセットを作成し、ブログで紹介したところ、県立学校からの多くの貸出依頼があるなど反応があった。 ・実習助手の未配置校へは訪問ができておらず、貸出利用がない学校も多い。 ・利便性の向上のために、高校からもインターネットで本の予約できるように準備を進める必要がある。 ・市町村立学校（小中学校）が要望する資料は、テーマや利用時期が重複する事が多く、要望どおりに貸出しできない場合がある。	【成果】 ○ 未訪問の学校へ積極的に訪問し、まとめ貸し等についてサービスの説明を行っていく。 ・要望が多いテーマに関しては、易しく理解しやすいものから、より内容を掘り下げるものまでセットの種類に幅を持たせることを検討していく。 ・ブログ等でサービスの活用事例などを紹介し、PRに努める。 ・インターネットから予約ができるようにシステム改修を進める。準備がてき次第、マニュアル等をまとめ高校へ案内をする。	セット数 20 セット 貸出冊数 24 件 308 冊	【成果】 ○ AIや環境問題、防災などニーズが高いテーマのセットを作成し、ブログや学校訪問時に紹介することで、依頼が増加した。 ・SDGsやLGBTQ等の、関心の高い社会問題に関する資料を積極的に購入することによって、貸出依頼に十分対応ができています。 ・校長にも同席いただき、サービス説明を行うことで、昨年度の同時期と比べて、利用する学校が2倍程度増加した。 ・県立学校用WebOPACの開設、Web予約サービスの開始が予定より遅れている。	【成果】 ○ 県立学校支援担当を配置し、学校訪問を行うことにより、サービスの周知が進み、貸出冊数が増加している。 【課題】 ・小規模校や学校司書未配置校等の利用が少なく、物流サービス等について周知が不十分である。 ・未訪問の学校の利用が少ない。
依頼訪問等による支援	学校図書館の要望に応じて、市町村立図書館職員等と一緒に依頼訪問等を行い、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。	22 校 25 回	【成果】 ○ 学校訪問をすることで、気軽に相談しやすい関係づくりにつながっている。 ・訪問することで図書館のサービスを説明する機会も増え、連携につながり、学校へのよりよい提案ができるようになった。 ・関係づくりができた学校からは、再度訪問の依頼がくるようになり、より多くのサービス情報を提供することができた。 ・3月現在、ティーンズ部へ18名の入部があり、本の紹介文の投稿等の活動を行っている。 ・「第25回全国高等学校観光教育研究大会」、「第9回全国高等学校観光サミット」において連携展示や、ブックリスト作成等を協力して実施することが決まった。 【課題】 ○ 未訪問の学校との関係づくりができておらず、要望が寄せられていない。 ・生徒による展示や学校PRなど、オーテピア高知図書館を活用する方法を学校へ周知する必要がある。	【成果】 ○ 市立学校、私立学校へも訪問し、図書館のサービス説明を行う。 ・高等学校課が実施する司書教諭・実習助手向けの研修で、サービスの周知を図る。 ・前年度にオーテピア高知図書館の活用実績がある学校と連携を深め、その事例などを他の学校等へ紹介し、学校の特色に応じた図書館活用について提案を行っていく。	16 校 16 回	【成果】 ○ 学校訪問をすることで、気軽に相談しやすい関係づくりにつながっている。 ・訪問等で得た情報等を参考に、学校や生徒の活動をPRする場としてオーテピアを活用してもらうような具体的な提案をすることができた。 ・ティーンズ担当とともに学校訪問を行うことで、ティーンズ部の新規メンバー獲得や、ブックリストやパスファインダーの周知につながった。 ・「第25回全国高等学校観光教育研究大会」では、動画やブックリストの提供、グループワークへの参加を通して、全国の高等学校や関係機関にオーテピア高知図書館の取り組みをPRすることができた。 【課題】 ○ 未訪問の学校との関係づくりができておらず、利用につながっていない。 ・生徒による展示や学校PRなど、オーテピア高知図書館を活用する方法を学校へ周知する必要がある。	【成果】 ○ 学校との関係づくりが進み、支援依頼や連携依頼が増えている。 【課題】 ○ 利用実績のない学校や、関係づくりが不十分の学校へのサービス説明等を早急に行う必要がある。 ・マンパワーに限界があり、一緒に県立学校図書館への支援に取り組むことが難しい。
レファレンスへの協力	県立学校へのレファレンスの支援を行います。また、高知市以外の市町村立学校には、市町村立図書館等を通して行います。	レファレンス貸出 45 件	【成果】 ○ 訪問を行い、顔が見える関係になった学校司書からは、高い確率で貸出依頼などのリアクションがあり、利用のハードルを下げる効果が表れている。 ・授業で出された課題について問い合わせがあり、参考資料の貸出しにつながった。 【課題】 ○ 次の授業までに参考資料を要求されるので、調査の時間が十分とれない。また、課題を丸投げするケースもみられる。 ・資料のまとめ貸しという形での回答が求められるため、貸出用資料がないテーマへの対応が困難（郷土資料、データベース等）。 ・使用している教科書の内容を把握できておらず、学校訪問の際に学校図書室の活用について踏み込んだ聞き取りができず、学習に役立つ資料等を紹介できない。	【成果】 ○ 学校図書室内で調べ学習に対応できるように、役立つ資料を紹介し、またテーマに沿ったブックリストやパスファインダーを作成し、提供する。 ・県立高校が使用している教科書の購入を検討していく。 ・実習助手と連絡を密することで授業の進行状況を確認し、前もってブックリスト等を作成してブログ等で提供する。	レファレンス貸出 24 件	【成果】 ○ 学校訪問した直後に、貸出依頼などリアクションがあり、その後も定期的に図書館の資料が活用されている。 【課題】 ○ 利用実績がある学校からは、探究学習用の資料について、継続して問い合わせが来ている。 【課題】 ○ 探究学習やICT活用を指導する教職員用の資料が少ない。	【成果】 ○ サービス説明が進むとともに、レファレンスや貸出も増加している。 【課題】 ○ 教職員への課題解決に役立つ資料を購入し、学校訪問やブログ等で積極的にPRしていく必要がある。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度		令和3年度		令和3年度		第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で		
		令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降		令和3年4月1日～令和3年8月31日			令和3年度9月以降	
		【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check)		【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3.8の実績 (数値は8月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)	
P R	サービスの周知	学校図書館職員等を対象とした図書館の利用ガイダンスを実施します。	訪問	22校	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ貸しだけでなく、図書館活用講座や、授業に役立つブックリストなど様々なサービスの案内を高等学校課等と連携し継続して提供していく。感染状況を鑑みながら必要に応じてオンライン等も含めた方法で対応する。 	訪問	16校	<ul style="list-style-type: none"> ・校長に図書館サービスを理解していただいたことによって、連携事業の依頼が多く寄せられた。 ・県高等学校課や高等学校振興課等、関係課との関係づくりが進んだ。 ・高知県公立高校産業教育PRイベントにおいて、参加校の教職員との関係づくり、サービスの周知を行うことができた。 ・高等学校課の紹介でICT活用講座に参加をし、教職員への貸出等について周知できた。 ・データベース研修会には、教職員や生徒、県高等学校振興課、県教育センター等から参加があり、データベース活用についてPRができた。 	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった	
			貸出	19校 1491冊		<ul style="list-style-type: none"> ・まとも貸しだけでなく、図書館活用講座や、授業に役立つブックリストなど様々なサービスの案内を高等学校課等と連携し継続して提供していく。感染状況を鑑みながら必要に応じてオンライン等も含めた方法で対応する。 	貸出			20校 632冊
		<ul style="list-style-type: none"> ・利用マニュアルやガイドブックを全校配布し、県立学校長会で説明を行った。 ・拠点校や近隣校を中心に学校訪問を実施し、実習助手の配属がある県立学校へは訪問が完了した。 ・学校訪問の際には可能な限り校長にも同席いただき、図書館の活用について説明を行った。 ・教育センターの教員を対象に図書館活用講座を実施した(アウトリーチ担当)。 ・12/22「令和2年度司書教諭及び司書の指導力向上事業に係るオンライン研修会」にて利用ガイダンスを実施。28校37名参加。 ・高知高等技術学校へ館長、アウトリーチ担当と共に訪問しサービス説明を行った。 ・2/1バーコードリーダー贈呈式 ・2/1-2/28連携展示「高知県立高知・中村高等技術学校」 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長に図書館のサービスを理解していただき、図書館の活用方法を提案するなど積極的な働きかけができた。 ・オンライン研修会を実施することで訪問ができていない学校へも、サービス説明を行うことができた。 ・高知県立高等技術学校との連携が深まり、バーコードリーダー贈呈式の広報や連携展示を通じて、県内の技術学校のPRを行うことができた。 ・「県内の高等学校図書館ブログ」を開設し、学校図書館活動に役立つ情報を発信できるようになった。 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた利用ガイダンスの中止や、学校訪問による打ち合わせが延期になり、円滑なサービスの周知ができない場合があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域にある県立学校へのサービス説明等が遅れており、貸出依頼が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教職員だけへのサービス説明では利用につながりにくいため、学校訪問の際は校長にも同席していただくなどして、学校として理解・協力を得ていく必要がある。 					

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
本格的な取組み開始が令和2年度からとなり、途上の部分もあるが、学校及び関係各課との関係強化が着実に進んでいる。貸出冊数については更に増やしていく必要がある。	学校との連携を強化し、産業系高校の特色や魅力を図書館でPRしていく必要がある。遠方の学校や、実習助手未配置校の職員でも受講できるように、動画による研修を検討し、学校司書等のスキルアップに協力する。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)		
						【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	
中心市街地活性化への寄与 観光情報の収集・発信	外国人観光客にも対応した、高知の観光に関するチラシやパンフレットを収集し、1階エントランス・ロビーで提供します。	【取組】 ・1階エントランス・ロビー、共同学習スペース、ことばと国際交流コーナー(外国語)、高知資料コーナー、移住関連の常設展示コーナー等にて観光に関するチラシやパンフレットを提供している。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)やサービス計画推進委員会(3/4)にて、所管課等と協議。 ・いただいたご意見を次期サービス計画に整理、反映した。	【成果】 ○ ・高知資料担当で依頼窓口を一元化し、開館当初の混乱は解消され、効率的な収集が行えている。 【課題】 ・配布希望が多く、場所に対して設置数を調整している。	【取組】 ・1階エントランス・ロビー、共同学習スペース、ことばと国際交流コーナー(外国語)、高知資料コーナー、移住関連の常設展示コーナー等にて観光に関するチラシやパンフレットを館内での配布調整のうえ提供。 ・3階ビジネス展示A「移住・地域展」にて、「竜とそばかすの姫」に関連したコンテンツ・ツーリズム等の本や新聞記事を展示した。 ・全国高等学校観光教育研究会のために図書館の観光支援を説明する動画を作成し、当館YouTubeで公開した。	【成果】 ○ ・県内外の観光ビジネスについて学ぶ高校生や教職員に当館の観光支援について知っていただけた。また、YouTubeに公開したことで、今後も恒常的に当館の観光支援をPRしていくことができる環境を構築することができた。 【課題】 ・こうち観光ナビ・ツーリストセンターとの連携が不十分。	【成果】 ○ 今後の取組 ・こうち観光ナビ・ツーリストセンターを定期的に訪れ、意見・情報交換の機会をふやし観光情報の収集に役立つ。 【課題】 ・関係機関との連携を継続していく仕組みが不十分。	○・・・できた・概ねできた △・・・一部できた ×・・・できなかった
商店街や日曜日等の情報発信	商店街や日曜日等に関する情報を収集し、1階エントランス・ロビーで提供します。	【取組】 ・高知市公式Webサイト中「おまちと商店街のイベント予定」(市商工振興課とりまとめ)が9月から再開。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、所管課等と協議。 ・いただいたご意見を次期サービス計画に整理、反映した。 ・「みんなのおびやまち 祝卒業プロジェクト」のポスターを館内に掲示した。 ・「タウンモビリティステーションふくねこ 令和2年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の新聞記事を館内に掲示した。	【成果】 ○ ・商店街関連の情報を館内で発信することで、商店街の魅力発信やイベント広報に寄与することができた。 【課題】 ・新聞記事の掲示をしたことにより、商店街の魅力を当館から発信できた。ふくねこ関係者からも感謝された。 いただいたアイデア等について検討する必要がある。	【取組】 ・高知市公式Webサイト中「おまちと商店街のイベント予定」(市商工振興課とりまとめ)にてイベント情報を発信。 ・日曜日事業を扱う産業政策課に、広報面での連携について打診した。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、委員からいただいた意見は、次期サービス計画等に反映、整理した。 ・高知資料担当が中心となって、商店街関連展示(11月)を企画中。	【成果】 ○ ・商店街関連の情報を館内で発信することで、商店街の魅力発信やイベント広報に寄与することができている。 【課題】 ・高知資料担当と協力して11月の展示に向けて準備をする必要がある。 ・いただいた意見のひとつ、オーテピア高知図書館ウェブ・サイトと商店街情報発信(よさこいタウン)ウェブ・サイトの連携(相互リンク等)について検討できていない。	【成果】 ○ ・商店街関係の情報については、関係課・機関と連携のもと、商店街の魅力発信やイベント広報に寄与することができている。 【課題】 ・日曜日に関する情報発信については、所管課と協議を続けてはいるものの、オーテピアを通じて積極的に情報を発信する仕組みをまだ構築できていない。	
インターネット利用(WiFi接続)環境の提供	利用者自身のタブレットやスマートフォンを使い、無料でインターネットに接続できるWiFi環境を全	【取組】 開館時に合わせ整備済み	【成果】 ○ 今のところ問題なく利用者で使用してもらっている。	【取組】 開館時に合わせ整備済み	【成果】 ○ 今のところ問題なく利用者で使用してもらっている。	【成果】 ○ 開館に合わせて整備済み。問題なく利用者で使用してもらっている。	
宿泊施設への団体貸出	団体貸出について、宿泊施設のニーズを把握しながら、実施に向け検討します。	【取組】 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、高知県旅館ホテル生活衛生同業組合・高知市旅館ホテル協同組合事務局長の西谷氏と宿泊施設への団体貸出について協議。 ・プロ野球キャンプ宿舎への団体貸出サービスの提案を行った。	【成果】 × ・サービスチラシ配布の時期を検討中 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症により、宿泊産業が打撃を受けており、振興事業が必要な一方、コロナウイルス感染症に伴う資料貸出しのリスク(不特定多数が同じものをさわる)もあり、図書館側から積極的なアプローチがしづらい。	【取組】 ・コロナ禍での連携が難しく、進んでいない。	【成果】 × ・特になし 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症により、宿泊産業が打撃を受けており、振興事業が必要な一方、コロナウイルス感染症に伴う資料貸出しのリスク(不特定多数が同じものをさわる)もあり、図書館側から積極的なアプローチがしづらい。	【成果】 △ 今後の取組 ・新型コロナウイルス感染症の影響を考え、取組時期や、実施の可否を検討。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症により、宿泊産業が打撃を受けており、振興事業が必要な一方、コロナウイルス感染症に伴う資料貸出しのリスク(不特定多数が同じものをさわる)もあり、図書館側から積極的なアプローチがしづらい。	
多目的広場の活用	商店街等との連携のもと、多目的広場を活用し、イベントなどを開催します。	【取組】 ・コロナの影響により、イベント等の利用実績なし。 ・お城下文化の日(11/15)イベント会場は多目的広場になる可能性もあったが、当初の予定通り、追手門前でのイベント実施となった。 ・オリンピック聖火リレーパートナーのイベントで使用はなかった(2/28)	【成果】 × 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症対策を考慮したうえでの多目的広場活用。	【取組】 ・コロナの影響により、イベント等の主な利用実績なし。 ・共催で実施中の「こうちのohanaプロジェクト」関連で、お花の即売会を多目的広場あるいは1階エントランス付近で開催できないか検討中。 ・高知市帯屋町アーケードで開催された「自衛隊Cafe」(8/7-8/8)のチラシを自衛隊職員が多目的広場で配布。	【成果】 △ ・商店街で実施するイベントへの広報協力を行うことにより、イベント及び商店街への回遊を促進することができた。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症対策を考慮したうえでの多目的広場活用。	【成果】 ○ ・よさこい鳴子踊り・しばてん踊り体験イベントやまちなかよさこい、お城下の日イベントなどで効果的に多目的広場を活用することができた。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症対策を考慮したうえでの多目的広場活用。	

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)		
		【成果】 冒頭に達成状況を○△×で		【成果】 冒頭に達成状況を○△×で		【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	
<p>【取組】</p> <p>・リクエストや利用者のニーズに応じて本や雑誌を選書、購入している。 ・ビジネス支援選書リスト(ビジネス支援図書館推進協議会ビジネス支援選書研究会作成)を参考に、参考図書を購入を行った。 ・労働の棚付近に、アフターコロナやメンタルヘルス関係の資料を展示する常設コーナーを新たに設けた。 ・5月の「得する街のゼミナール」は中止となったが、第14回まちゼミの内容をうちで再現できそうな本を展示した「うちゼミ」展示を実施するなどして、各店舗の情報を意識して、選書している。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)やサービス計画推進委員会(3/4)にて、商店街やまちゼミ実行委員の方と協議。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・ビジネス関係の資料が充実してきた結果、マーケティングや経済・経営資料などビジネス書が充実しているとの声を複数いただくようになった。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・オンライン形式で商店街の会合等に参加するなど、定期的に商店街の方と交流できる機会を増やしていく。 ・商店街にむけてリクエスト・サービス等の図書館サービスをPRしていく。</p>	<p>【取組】</p> <p>・リクエストや利用者のニーズに応じて本や雑誌を選書、購入している。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・商店街振興に役立つ選書を継続して行うことにより、魅力ある書架になりつつある。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、書庫入れ、展示、面だし等を継続的に実施してきたことで、商店街の方にとって魅力ある書架になりつつある。</p>	<p>【課題】</p> <p>・まちゼミも中止が続き、直接商店街の方と話す機会が減ってきているため、ニーズを把握しにくい状況にある。</p>	<p>○…できた・概ねできた △…一部できた ×…できなかった</p>
<p>【取組】</p> <p>・5/12～5/31 第14回得する街のゼミナールは中止となったが、各店舗のまちゼミ内容をおうちで再現できそうな本の展示「うちゼミ」を実施した。 ・今年度の土曜夜市は中止。土曜夜市に代わるイベント「おまちdeプチ夏祭り」のチラシを館内で提供した。 ・オーテピア来館者200万人達成のポスター掲示への協力(掲示場所:帯屋町1丁目と2丁目、中ノ橋通) ・金高堂書店が開催した図書館ブックフェア(児童図書・優良図書の展示会)への参加 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)やサービス計画推進委員会(3/4)にて、商店街やまちゼミ実行委員の方と協議。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・展示を見た商店街の方に喜ばれた。 ・意見交換会等での協議の結果、次回のまちゼミ開催の際に、参加店舗のイベント企画検討に役立つ資料を紹介することになった。図書館の強みである資料提供により、まちゼミのさらなる魅力向上に資する準備を整えた。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・コロナ禍の中、商店街の方と協働できることは何か、引き続きコミュニケーションを取りながら検討し取り組んでいく。</p>	<p>【取組】</p> <p>・7/31 協同組合帯屋町筋が主催する土曜夜市に参加し、こども対象の図書館くじを実施。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・土曜夜市では多くの方が来場され、商店街の活気に貢献するとともに、当館のデジタル化資料を活用した景品を配ることで、図書館のPRにもつながった。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・まちゼミや土曜夜市等の事業を実施し、商店街との協働をすすめたことも一因となり、オーテピア開館後、商店街の通行量が大幅に上昇した。(休日19%増)</p>	<p>【課題】</p> <p>・新型コロナウイルス感染状況によってはイベントが中止になる可能性がある。</p>	<p>○</p>
<p>【取組】</p> <p>5/20 まちゼミ参加店をつくるLINEグループにて、団体貸出の紹介を行う。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)やサービス計画推進委員会(3/4)にて、商店街やまちゼミ実行委員の方と協議。 ・商店街にある百貨店との連携について協議。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・商店街向けの貸出運用について、商店街の方と協議ができた。 ・意見交換会等での協議の結果、次回のまちゼミ開催の際に、参加店舗のイベント企画検討に役立つ資料を紹介することになった。図書館の強みである資料提供により、まちゼミのさらなる魅力向上に資する準備を整えた。</p>	<p>【成果】</p> <p>○ ・百貨店との連携については、先方に連絡をとり、今後の連携を検討する。</p>	<p>【取組】</p> <p>・百貨店との連携については進展なし。担当間で協議し、先方あるいは高知市商工振興課から連絡があれば対応する方針を決定した。</p>	<p>【成果】</p> <p>× ・特になし</p>	<p>【成果】</p> <p>△ ・実現にはいたってはいないが、まちゼミを通じて段階的に商店街の各店舗に本を貸し出す長期戦略で検討を進めてきたことで、まちなか図書館のビジョンが少しずつ関係者に浸透しつつある。次回のまちゼミ開催の際に、参加店舗のイベント企画検討に役立つ資料を紹介する予定。</p>	<p>【課題】</p> <p>・まちゼミは開催の目的がたつておらず、まちゼミを通じた各店舗への働きかけができていない。 ・まちなか図書館を実施するにあたって、商店街向けの貸出方法の検討が進んでいない。</p>	<p>△</p>

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度 令和3年度4月以降			令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日			令和3年度 令和3年度9月以降			第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)			【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check)			
	【成果】 冒頭に達成状況を○△×で			【課題】			【成果】 冒頭に達成状況を○△×で			【課題】			
周辺施設との連携	歴史的資料の展示	高知城歴史博物館等と連携しながら、図書館に収蔵されている歴史的な貴重資料の企画展示を行います。	【取組】 連携展示は行っていないが、県市両館所蔵の貴重資料を使った企画展示を開催。 ①昭和の博覧会と肖像写真(1/11～4/17) ②濱口雄幸と野村茂久馬(5/12～7/15) ※展示解説…6/6(1名)・6/20(4名) ③中城文庫展(7/21～9/22) ※展示解説…8/2(5名)・8/9(5名)・8/16(4名)・8/30(6名) ④三丁目の夕日の頃の高知-清岡義道写真文庫展-(9/29～12/27) ※展示解説…10/3(19名)・10/11(6名)・10/31(9名)・11/8(6名)・11/21(3名)・12/19(3名) ⑤「装いと粧い-眠りから覚めた 愛おしきものたち-」(1/9～4/18) ※展示解説…2/21(5名)・3/14(5名)	【成果】 △ 展示によって両図書館の貴重かつ多彩な資料の保存活動の啓発にもなった。 【課題】 コロナ禍によって周辺の文化施設が軒並み閉館および活動自粛となっており、連携展示はできなかった。この状況においても可能な他施設との連携方法を検討する必要がある。	各館と連携した貴重資料の展示予定はないが、展示以外の連携を検討中。	【取組】 ①「装いと粧い-眠りから覚めた 愛おしきものたち-」(1/9～4/18) ※展示解説…2/21(5名)・3/14(5名) ②「高知県神社明細帳と土佐の式内社」(4/27～7/18) ※展示解説…4/29・5/5・5/22・6/5・6/20・7/3・7/18 (計48名) ③「ようこそ！貴重資料の世界へ」(7/31～9/30) 内容は、常設展を視野に入れたパネル展示	【成果】 ○ (入室者数) ①装いと粧い-眠りから覚めた 愛おしきものたち-」 2380人(会期77日) ②高知県神社明細帳と土佐の式内社」 1114人(会期72日) ③ようこそ！貴重資料の世界へ 9月1日に8/31までの入場者数入力要(会期24日) ①は、読売新聞・毎日新聞・テレビ高知・NHK高知放送局(テレビ)・NHK高知放送局より取材があった。 ②は、高知新聞・毎日新聞・中外日報より取材があった。 【課題】 ・展示室の展示ケース内の環境整備。	今後の取組 ・展示ケース内の空気環境測定の外注。 ・展示ケース内の調湿材の設置。 ・有機物質を吸着するシートの設置。	【成果】 ○ ・多くの方に展示を見ていただき、またレファレンスや自己学習に繋がったものもあった。 【課題】 ・企画展に労力がかかり過ぎている。				
文化施設との連携	高知城歴史博物館や文学館、高知城等の歴史ある文化施設と連携しながら、観光や文化に関する情報を積極的に発信します。	日付 4/1～ 11/15	内容 周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信・『2020お城下文化手帳』配布 イベント「お城下文化の日」開催	連携先 周辺文化施設・お城下ネット	【成果】 ○ 各文化施設のイベント等を周知させることができた。 ※「お城文化の日」図書館のイベントと参加人数 【課題】 ①講演会 30名 ②リサイクル本配布 159名 ③プレゼント 140名 情報発信手段の検討	お城下ネットの会に参加し、各館の専門的な知識を生かした新しい事業の検討や情報交換を行う。 ⑤「各館主催のイベントでも、サブイベントとして連携できるものは行う。(スタンプラリーなど)令和3年6月と高知城歴史博物館で開催される企画展「地域展 仁淀川の人々」と連携した図書展示を実施予定。 令和3年11月に高知県立文学館で開催される企画展「生誕150年 幸徳秋水」と連携した図書展示を実施予定。	日付 4/1～ 6/8-9/5	内容 『2021お城下文化手帳』配布、各施設イベント等ポスター掲示およびチラシ配布 図書展示「永遠の清流 仁淀川」	連携先 周辺文化施設・お城下ネット 高知県立高知城歴史博物館	【成果】 ○ 各文化施設の情報を周知することができた。 ・連携イベントの開催によって、それぞれの施設の利用促進につながった。 【課題】 ・既存の取り組みの強化。 ・新たな取り組みの検討と実施。 ・コロナ禍における各施設との連携のあり方と中心市街地活性化についての方策の検討。	今後の取組 ・11/21 お城下文化の日開催 ・11/27～1/23 図書展示「生誕150年 幸徳秋水」(高知県立文学館と連携) ・各施設イベント等ポスター掲示およびチラシ配布。	【成果】 ○ ・周辺施設との連携によるイベント開催等により、中心市街地活性化の一端を担うことができた。また、当館を含めて、中心市街地における文化施設の存在をPRすることができた。 【課題】 ・既存の取り組みの強化。 ・新たな取り組みの検討と実施。 ・コロナ禍における各施設との連携のあり方と中心市街地活性化についての方策の検討。	
教育・産業支援施設との連携	ココプラ(高知県産学官民連携センター)などが行う講演会やセミナーなどにおいて、講師の著書やお薦め本など利用者のニーズにあった図書を提供します。	【取組】 ・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2 県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。	【成果】 ○ 貸出しには至らなかったが、会場内でご覧になっていた方はいた。イベントの魅力向上に寄与した。 【課題】 ・出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。	必要に応じて出前図書館は実施していくが、出前図書館の実施回数を増やすことにこだわらず、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。	【取組】 ・7/12～7/19 高知県産学官民連携センターが主催するビジネストrendセミナー(オンライン)で配布する関連ブックリストを作成し、提供。	【成果】 ○ オンラインなどのイベントが増える中、非接触型サービスとしてブックリストを提供することで、セミナーの魅力向上に寄与するとともに、連携を通じて効果的に図書館資料をPRすることができた。 【課題】 ・イベントの減少に伴う、出前図書館や活用講座を行う機会の減少。 ・オンラインイベントとの連携。	今後の取組 ・OPACと連動した形でのブックリストの作成・配布など、引き続き、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。	【成果】 ○ 出前図書館やブックリストの提供などにより、イベントの魅力向上に寄与することができた。 【課題】 ・OPACと連動した形でのブックリストの作成など、オンラインイベントに合わせた形での情報提供方法の検討。					

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度 令和3年度4月以降	令和3年度 令和3年4月1日～令和3年8月31日		令和3年度 令和3年度9月以降	第1期計画の総括評価 冒頭に達成状況を○△×で
	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【これまでの取組状況】(Do) R3.4～R3. 8の実績(数値は8月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	【取組の成果と課題】(Check)		
		【成果】 冒頭に達成状況を○△×で		【課題】		【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	
事業者が企画書等を作成する段階から、図書館の資料や情報を提供し、支援機関と一体となって支援を行います。	【取組】 ・産学官民連携センターが主催する土佐経営塾で図書館活用講座の動画を提供	【成果】 ○ ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館活用講座動画を提供し、経営塾受講者の利用を促進することができた。講師から非常にありがたいとの声をいただいた。 【課題】 ・動画を提供する連携先や動画コンテンツ数が少ない。	【取組】 ・ニーズに応じて図書館資料や情報の活用を促す動画を提供したり、オンライン配信を行う。	【成果】 ○ ・今年度オンライン受講を本格展開することとなった土佐MBA(実科として土佐経営塾を包有)の広報協力のため、連携展示を実施。展示本の貸出しは多くあり配布物もはげがよく、連携することで広報面で貢献するとともに、利用者のニーズに応えることができた。 【課題】 ・図書館資料や情報活用を促す動画等を提供する連携先や動画等のコンテンツ数が少ない。	【取組】 ・産学官民連携センターが主催する土佐経営塾で図書館活用講座の動画の提供を検討中。 ・5/1～5/30 高知県産学官民連携センターと連携し、土佐MBAの連携図書展示を実施。 ・図書館活用まんがVol.2として「起業編」のチラシ制作にむけて準備。	【成果】 ○ ・今年度オンライン受講を本格展開することとなった土佐MBA(実科として土佐経営塾を包有)の広報協力のため、連携展示を実施。展示本の貸出しは多くあり配布物もはげがよく、連携することで広報面で貢献するとともに、利用者のニーズに応えることができた。 【課題】 ・図書館資料や情報活用を促す動画等を提供する連携先や動画等のコンテンツ数が少ない。	【成果】 ○ ・開館当初から土佐経営塾と連携し、支援機関と一体となって受講者の情報収集を支援することができている。 【課題】 ・動画を提供する連携先や動画コンテンツ数が少ない。
学生をボランティアなどとして受け入れ、読み聞かせや学生のアートをいかした企画展示等を、中学・高校・大学等と連携しながら行います(再掲)。	【取組】 学生ボランティアによる館内ツアーや読み聞かせを企画したが、新型コロナウイルスの感染状況により、実施には至らなかった。	【成果】 なし 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、学生に学外での活動制限がある。	【取組】 ・オンラインのできる活動等の実施や、対象者を限定するなど、状況に応じた活動方法を検討する。	【成果】 ○ ・新型コロナウイルス感染症の影響により、非対面での活動に制限される中、学生自らがYouTubeでの読み聞かせを企画し、活動することができた。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、学生ボランティアが企画している対面での活動(大人への読み聞かせ等)が実施できていない。 ・オーテビアンズの活動の一つとして想定している館内ツアーの案内役は、R2年度以降、職員が行っている。	【取組】 ・大人を対象に「夏」をテーマにした読み聞かせ(12作品)をオーテビアンズ公式YouTubeチャンネルで公開。	【成果】 ○ ・新型コロナウイルス感染症の影響により、非対面での活動に制限される中、学生自らがYouTubeでの読み聞かせを企画し、活動することができた。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、学生ボランティアが企画している対面での活動(大人への読み聞かせ等)が実施できていない。 ・オーテビアンズの活動の一つとして想定している館内ツアーの案内役は、R2年度以降、職員が行っている。	【成果】 ○ ・「新聞バッグ作り」や「大人への読み聞かせ」など、学生独自のアイデアを生かした活動を具体化することができた。 【課題】 ・【オーテビアンズ】継続的な活動に資するよう、引き続き助言・提案等のサポートを要する。 ・【ボランティア活動全般】第2期サービス計画に基づき、多様なボランティア活動を受け入れるよう、ボランティア活動のメニュー化のための検討を要する。

第1期計画総合評価	第2期計画 検討事項 (上記表に記載のないもの)
まちゼミや土曜夜市等の事業を通して、商店街との協働をすすめることができた。商店街関連の情報を来館者の満足できるレベルで情報の収集ができた。コロナの影響によりイベント等が中止になることが多かったため、今後コロナ禍においても商店街等とどのように協働していけるのか検討が必要。	